

2017年度
岡山理科大学
入学試験要項

岡山理科大学

Okayama University of Science

2017年度入試のTOPICS

1 230名の入試特待生を採用

岡山理科大学では学業支援を目的に入試特待生制度を採用しています。

理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/生物地球学部)と文系学部(教育学部/経営学部)合わせて230名を入試特待生として採用します。

入試特待生は成績および入試区分に応じて、3種類が設定されており、入試区分毎の採用人数および特典は以下のとおりです。

特待生の種類	採 用 人 数					特 典
	推薦入試K方式	一般前期SA方式	一般前期SAB方式	一般前期SB方式	計	
特待生Ⅰ	—	29名	6名	—	35名	入学後4年間の学費を全額免除
特待生Ⅱ	—	69名	23名	11名	103名	入学後2年間の学費を全額免除
特待生Ⅲ	最大11名	47名	23名	11名	92名	入学後1年間の学費を全額免除
計	11名	145名	52名	22名	230名	

理系学部と文系学部では出題科目が異なることから、各特待生の採用人数は理系学部と文系学部の受験者数の比率で按分し算出します。(推薦入試K方式は全学部から選出)
 詳細な選出方法は各入試区分のページでご確認ください。

2 一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式が4時間制となりました。

入試区分、選択科目によりますが理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/生物地球学部)が1、2、3時間目が対象、文系学部(教育学部/経営学部)が2、3、4時間目が対象になります。

時間割	科 目 名
1時間目 (90分)	数学、地理
2時間目 (60分)	英語、数学Ⅲ
3時間目 (60分)	物理、化学、生物、地学、国語
4時間目 (60分)	日本史、世界史、現代社会、数学ⅠA

理系学部対象 { 1時間目, 2時間目, 3時間目 }
 { 2時間目, 3時間目, 4時間目 } 文系学部対象

上記一覧は最大設置科目を記載しています。

選択の可否については、各入試区分の志望学科の出題科目表でご確認ください。

3 倉敷芸術科学大学との入学手続き時納入金振替制度開始

納付金の転用制度の適用範囲が広がり、岡山理科大学と同一法人である加計学園が設置する倉敷芸術科学大学においても振替することが可能になりました。

詳しくは、44ページ納付金の転用制度でご確認ください。

CONTENTS

入試日程と募集人員

入試日程と選考方法	5
募集人員	7

アドミッション・ポリシー

理学部	9
工学部	12
総合情報学部	16
生物地球学部	18
教育学部	19
経営学部	20

出願・受験から合格・入学まで

出願にあたって	23
受験上および入学後の就学上の配慮等の申請について	23
提出書類	24
入学検定料について	25
提出方法	26
願書受付の締切について	26
理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/ 生物地球学部)と文系学部(教育学部/経営 学部)との第2志望指定の制限について	26
インターネット出願(たんQ出願)について	27
紙出願について(記入例および記入方法)	29
受験上の注意	39
合格発表について	41
追加合格(転科)について	42
成績の開示について	42
入学手続きについて	43
納付金	45
入学前教育について	45
奨学制度	45
教育ローン	46

推薦入学試験

推薦入学試験の概要と共通事項	49
特別推薦入試	
〈公募制〉特別推薦入試[専願制]	51
〈公募制〉専門学科・総合学科特別推薦入試[専願制]	53

推薦入試

推薦入試A方式[併願制]	55
推薦入試K方式(入試特待生制度)[併願制]	59

一般入学試験

一般入学試験の概要と共通事項	63
一般入試前期SA方式[3科目型]	67
一般入試前期SAB方式[高得点2科目型]	71
センター試験利用入試CⅠ	75
一般入試前期SB方式[高得点2科目型]	77
一般入試前期B1方式[1科目型]	81
センター試験利用入試CⅡ	85
一般入試後期	87
センター試験利用入試CⅢ	89

特別入試

帰国生徒入試	93
社会人入試	94
国際バカロレア入試	95

入試会場案内図

案内図	97
-----	----

コード表

高等学校等コード表	104
予備校コード表	114
受験資格コード表	115
都道府県コード表	115

2016年度 入学試験結果

巻末綴じ込み

- ・推薦書/特別推薦入試用
- ・推薦書/推薦入試A方式用
- ・推薦書/推薦入試K方式(入試特待生制度)用
 第2志望学科可否判定申請書
- ・経歴書(帰国生徒/社会人用)
- ・入学資格審査申請書

裏表紙の見返し

岡山会場案内図 バス時刻表

受験上の注意(受験生の皆さんへ)

入学試験時間中に監督者の指示に従わない場合や不正行為を行った場合は、疑わしい行為も含めて厳正に対処します。

受験生が試験時間中に机の上に置けるものは、本入学試験要項の39ページに記載していますので、試験前に必ず確認してください。

これら以外のものは、特別の許可がない限り使用することはできませんので、すべてかばん等に入れて座席の下(または、試験監督に指示された場所)に置いてください。

携帯電話等の電子機器の取り扱いについては、本入学試験要項の記載内容にかかわらず、試験開始前に、監督者から注意があった場合は、その指示に従ってください。

個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きにおいて、お知らせいただいた住所、氏名、その他の個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続き、入学前教育および入学者選抜研究と、これらに付随する統計資料作成のために利用します。また、その業務の一部を業者に委託する場合がありますが、岡山理科大学は、これらの個人情報について、責任をもって管理し、目的以外の用途には使用しません。なお、詳細は岡山理科大学のホームページ「個人情報の取り扱いについて」をご覧ください。

入試日程と募集人員

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

建学の理念

ひとりひとりの
よみが持てる能力を
無限に引き出し
技術者として
社会人として
社会に貢献できる
人材を養成する

創立者 加計 勉



入試日程と選考方法 ————— 5

募集人員 ————— 7

入試日程と選考方法

岡山理科大学の2017年度の推薦入学試験と一般入学試験では、以下の一覧表にある種類の入学試験を実施します。

また、下記一覧の入学試験以外に、特別入試として「帰国生徒入試」「社会人入試」「国際バカロレア入試」「私費外国人留学生入試」「編

●「帰国生徒入試」「社会人入試」「国際バカロレア入試」については、93～95ページをご覧ください。

●「私費外国人留学生入試」「編入学試験」については入試広報部までお問い合わせください。(TEL 086-256-8415)

入試名(入試区分)		願書受付期間(必着※1)	入 試 日	合格発表	試験地	
A O 入 試 [専願制]		日程・選考方法等詳細は別冊子の「2017年度AO入試入学試験エントリー要項」を参照して				
推 薦 入 学 試 験	専門学科・総合学科 特別推薦入試 [専願制]	I 期	日程・選考方法等詳細は別冊子の「2017年度専門学科・総合学科特別推薦入試 I 期入学			
		II 期	2016年10月6日(木) ┆ 2016年10月20日(木)	2016年11月3日(木)	2016年11月9日(水)	岡山
	特別推薦入試[専願制]		2016年10月6日(木) ┆ 2016年10月20日(木)	2016年11月3日(木)	2016年11月9日(水)	岡山
	特別推薦入試[専願制] 指定校選抜		2016年10月6日(木) ┆ 2016年10月20日(木)	2016年11月3日(木)	2016年11月9日(水)	岡山
	推薦入試A方式[併願制]		2016年10月27日(木) ┆ 2016年11月10日(木)	2016年11月19日(土) 2016年11月20日(日) (試験日自由選択制)※2	2016年11月28日(月)	岡山、名古屋、京都、 大阪、姫路、松江、広島、 福山、山口、徳島、高松、 松山、高知、福岡、那覇
	推薦入試K方式 (入試特待生制度) [併願制]		2016年11月18日(金) ┆ 2016年12月2日(金) 推薦入試A方式と同時出願の場合は 2016年10月27日(木) ┆ 2016年11月10日(木)	2016年12月11日(日)	2016年12月19日(月)	岡山、仙台、水戸、銚子、 千葉、東京、長野、 名古屋、大阪、姫路、 倉敷、広島、高松、松山、 福岡、那覇
一 般 入 学 試 験	一般入試前期SA方式 [3科目型] (入試特待生制度)		2017年1月5日(木) ┆ 2017年1月19日(木)	2017年2月1日(水) 2017年2月2日(木) (試験日自由選択制)※2	2017年2月10日(金)	岡山、東京、金沢、静岡、 名古屋、京都、大阪、 神戸、姫路、豊岡、鳥取、 松江、広島、福山、山口、 徳島、高松、松山、高知、 福岡、長崎、熊本、大分、 宮崎、鹿児島、那覇
	一般入試前期SAB方式 [高得点2科目型] (入試特待生制度)			2017年2月3日(金)		岡山、東京、名古屋、 京都、大阪、神戸、姫路、 松江、広島、福山、高松、 松山、福岡、那覇
	センター試験利用入試CI			本学独自の試験は 課しません		—
	一般入試前期SB方式 [高得点2科目型] (入試特待生制度)		2017年1月5日(木) ┆ 2017年2月10日(金)	2017年2月19日(日)	2017年2月27日(月)	岡山、東京、名古屋、 京都、大阪、姫路、広島、 福山、徳島、高松、松山、 小倉、福岡
	一般入試前期B1方式 [1科目型]			本学独自の試験は 課しません		—
	センター試験利用入試CII					—
	一般入試後期		2017年2月27日(月) ┆ 2017年3月13日(月)	2017年3月22日(水)	2017年3月25日(土)	岡山、仙台、銚子、東京、 名古屋、大阪、広島、 高松、福岡
センター試験利用入試CIII			本学独自の試験は 課しません		—	

※1 願書受付の締切については出願方法で取り扱い方が異なります。詳しくは26ページをご確認ください。

※2 1日のみ受験することも、両日とも受験することも可能です。

入学試験」を実施します。

選考方法※3				参照ページ
ください。				
試験エントリー要項」を参照してください。				
書類審査(調査書・推薦書)、基礎的な学力試問および面接				P.53
書類審査(調査書・推薦書)、基礎的な学力試問および面接				P.51
書類審査(調査書・推薦書)および面接 指定校対象かどうか、また実施の詳細は、在籍高等学校までお問い合わせください。				
調査書と基礎的な学力試問による選考 基礎的な学力試問は、英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、国語から学科が指定する2教科2科目を選択 調査書(評定平均値×10)	2科目で 80分	各科目50点 調査書50点 合計150点	P.55	
調査書と学力試問による選考 学力試問は、英語、数学、理科(物理・化学・生物)、国語から学科が指定する1科目を選択 調査書(評定平均値×10)	1科目で 60分	1科目200点 調査書50点 合計250点	P.59	
個別学力検査による選考 個別学力検査は、英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物・地学)、国語、日本史、世界史、地理、現代社会から学科が指定する3教科3科目を選択	数学、地理90分 その他60分	各100点 合計300点	P.67	
個別学力検査による選考 個別学力検査は、英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、数学Ⅲ、国語、日本史、世界史、地理、現代社会から学科が指定する必須1科目と選択1科目を選択	数学、地理90分 その他60分	各100点 合計200点	P.71	
平成29年度大学入試センター試験のうち学科が指定する4科目	本学独自の試験 は課しません	各200点 合計800点	P.75	
個別学力検査による選考 個別学力検査は、英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、数学Ⅲ、国語、日本史、世界史、地理、現代社会から学科が指定する必須1科目と選択1科目を選択	数学、地理90分 その他60分	各100点 合計200点	P.77	
個別学力検査による選考 個別学力検査は、英語、数学、理科(物理・化学・生物)、国語から学科が指定する1科目を選択	数学 90分 その他60分	1科目 100点	P.81	
平成29年度大学入試センター試験のうち学科が指定する3科目	本学独自の試験 は課しません	各200点 合計600点	P.85	
個別学力検査による選考 個別学力検査は、英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、国語から学科が指定する2科目を選択	2科目で 100分	各100点 合計200点	P.87	
平成29年度大学入試センター試験のうち学科が指定する2科目	本学独自の試験 は課しません	各200点 合計400点	P.89	

※3 選択科目は入試区分や学科によって異なりますので、各入試区分のページでご確認ください。

募集人員

学部	入試区分 学科	入学定員	A O 入 試	推 薦		一 般							帰国生徒・社会人・国際バカロレア留学生	
				特別推薦入試 注1)	専門学科総合学科特別推薦入試 注2)	推 薦 入 試 注2)	一般入試前期			一 般 入 試 後 期	センター試験利用入試			
							S A 方 式	S A B 方 式	S B 方 式・ B 1 方 式		C I	C II		C III
理学部	応用数学科	110	77 名 程 度	263 名 程 度	69 名 程 度	15	33	13	11	42 名 程 度	5	5	41 名 程 度	
	化学科	75				11	19	7	4		5	4		
	応用物理学科 物理科学専攻 注3)	45				7	12	5	2		2	2		
	応用物理学科 臨床工学専攻 注3)	30				5	7	3	2		2	2		
	基礎理学科	90				14	24	9	6		5	5		
	生物化学科	95				15	25	10	6		4	4		
	臨床生命科学科	95				15	25	10	6		4	4		
	動物学科	45				9	11	6	2		2	2		
理学部計		585				91	156	63	39		29	28		
工学部	バイオ・応用化学科	85	77 名 程 度	263 名 程 度	69 名 程 度	15	23	9	5	42 名 程 度	4	4	41 名 程 度	
	機械システム工学科	90				18	25	9	5		4	4		
	電気電子システム学科	70				13	18	6	4		3	3		
	情報工学科	95				18	26	10	6		4	4		
	知能機械工学科	55				7	14	5	2		3	3		
	生命医療工学科	60				11	16	5	4		3	3		
	建築学科	75				13	20	7	3		3	3		
	工学プロジェクトコース※	(20)				(3)	(4)	(2)	(2)		(1)	(1)		
工学部計		530				95	142	51	29		24	24		
総合情報学部	情報科学科	100	77 名 程 度	263 名 程 度	69 名 程 度	19	25	6	8	42 名 程 度	5	5	41 名 程 度	
	総合情報学部計	100				19	25	6	8		5	5		
生物地球学部	生物地球学科	140	77 名 程 度	263 名 程 度	69 名 程 度	23	41	14	12	42 名 程 度	7	7	41 名 程 度	
	生物地球学部計	140				23	41	14	12		7	7		
教育学部	初等教育学科	70	77 名 程 度	263 名 程 度	69 名 程 度	13	18	6	4	42 名 程 度	4	4	41 名 程 度	
	中等教育学科 国語教育コース 注4)	30				6	7	3	2		2	2		
	中等教育学科 英語教育コース 注4)	30				6	7	3	2		2	2		
	教育学部計	130				25	32	12	8		8	8		
経営学部	経営学科	130	77 名 程 度	263 名 程 度	69 名 程 度	24	33	8	8	42 名 程 度	7	7	41 名 程 度	
	経営学部計	130				24	33	8	8		7	7		
全学部合計		1,615	77	263	69	277	429	154	104	42	80	79	41	

※工学プロジェクトコースでは20名を募集します。なお、この20名は工学部の募集人員の内数です。

【注意事項】

注1) 特別推薦入試は、指定校選抜、附属高校選抜、関連校選抜を含みます。

指定校選抜、附属高校選抜、関連校選抜については、出願資格・選考方法が異なります。在籍校へ確認してください。

注2) 推薦入試の募集人員は、11月19日、20日実施の推薦入試A方式と、12月11日実施の推薦入試K方式(入試特待生制度)の合計数です。

注3) 応用物理学科は、物理科学専攻、臨床工学専攻の専攻毎に募集を行います。

注4) 中等教育学科は、国語教育コース、英語教育コースのコース毎に募集を行います。

アドミッション・ポリシー

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

理学部	9
工学部	12
総合情報学部	16
生物地球学部	18
教育学部	19
経営学部	20

アドミッション・ポリシー

理 学 部

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

理学部では、自然科学の基礎・応用に関する教育を学生諸君に用意し、本学の教育理念「学際領域に着目し、理論研究と応用技術の密接な関連により、創造力の開発と養成を目指す教育を行う」を踏まえ、幅広い教養と社会常識、国際性を持ち、広い視野と創造性をもつ人材の育成を目指しています。理学部は岡山理科大学創立以来の学部であり、「学生ひとりひとりの能力を最大限に引き出す」という建学の理念に基づき人材育成を行ってきており、すでに多数の卒業生が教育者、技術者、研究者として社会で活躍していますが、21世紀に入り、日本は科学技術立国としてさらなる発展を求められています。このような観点から、理学部では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 上記の教育理念および教育目標を理解し、数理学・自然科学の真理探究に強い関心をもつ人
- 学科の「求める人物像」については、各学科の項を参照してください。

〈学んでほしいこと〉

- 数理学・自然科学の基礎的な知識・技能を有すること
- 学科の「学んでほしいこと」については、各学科の項を参照してください。

〈入学者選抜の基本方針〉

●専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・勉学に対する意欲と、数理学・自然科学の真理探究に対する情熱を評価します。
 - ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度と、自ら課題を発見・探究・解決し、その成果の表現に必要な思考力・判断力・表現力を評価します。
 - ・高校で習得した基本的な知識・技能の成績を重視した評価を行います。
- 学科の「専門学科・総合学科特別推薦入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●特別推薦入試

- ・勉学に対する意欲と、数理学・自然科学の真理探究に対する情熱を評価します。
 - ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度と、自ら課題を発見・探究・解決し、その成果の表現に必要な思考力・判断力・表現力を評価します。
 - ・高校で習得した基本的な知識・技能の成績を重視した評価を行います。
- 学科の「特別推薦入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●推薦入試

- ・高校で習得した基礎的な知識・技能を評価します。
 - ・数理学・自然科学の基礎的な知識・技能の理解度を重視します。
- 学科の「推薦入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●一般入試

- ・高校で習得した基礎的な知識・技能を評価します。
 - ・数理学・自然科学の基礎的な知識・技能を重視します。
- 学科の「一般入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●帰国生徒入試

- ・勉学に対する意欲と、数理学・自然科学の真理探究に対する情熱を評価します。
 - ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度と、自ら課題を発見・探究・解決し、その成果の表現に必要な思考力・判断力・表現力を評価します。
 - ・高校程度の基礎的な知識・技能を評価します。
- 学科の「帰国生徒入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●社会人入試

- ・勉学に対する意欲と、数理学・自然科学の真理探究に対する情熱を評価します。
 - ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度を評価します。
 - ・基本的な知識・技能を活用し、自ら課題を発見・探究・解決し、その成果の表現に必要な思考力・判断力・表現力を評価します。
- 学科の「社会人入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●国際バカロレア入試

- ・勉学に対する意欲と、数理学・自然科学の真理探究に対する情熱を評価します。
 - ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度を評価します。
 - ・基本的な知識・技能を活用し、自ら課題を発見・探究・解決し、その成果の表現に必要な思考力・判断力・表現力を評価します。
- 学科の「国際バカロレア入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

●留学生入試

- ・勉学に対する意欲と、数理学・自然科学の真理探究に対する情熱を評価します。
 - ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度と、自ら課題を発見・探究・解決し、その成果の表現に必要な思考力・判断力・表現力を評価します。
 - ・日本語の能力および高校程度の基礎的な知識・技能を評価します。
- 学科の「留学生入試の基本方針」については、各学科の項を参照してください。

応用数学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

応用数学科では、現代社会の諸分野において広く応用される基盤科学としての数理学について、理論・応用両面の基礎的知識を修得した人材の育成を目指しています。具体的には、中学校・高等学校の数学および高等学校情報の第

一種教員免許状の取得による教員の育成および計算機を取り入れた授業・実習の充実による情報化社会に即した知識や技術を備えた人材の養成を目標としています。将来における数学・情報科学の発展を担う、また数学・情報教員として次世代の人材育成を担う意欲をもつ人材を重視しています。

このような観点から、応用数学科では以下のような学生を

求めています。

〈求める人物像〉

- 数学が好きで向学心と根気のある人
- 数学について基礎にまでさかのぼって疑問をもち、考え続けることができる人
- 中学・高校で数学を教えた人
- 数学の理論だけでなく、情報科学にも興味のある人

〈学んでほしいこと〉

- 高等学校において、基本的な数学の思考方法を学び、論理的な考え方を身につけ、確かな計算力を修得していること
- 高等学校における数学I、II、A、Bもしくはそれに相当する科目に関する基礎学力を有すること

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 数学についての学習に関する取り組み方と基礎的な学力を評価します。
- ・ 数学についての考え方、その情熱を重視した評価を行います。

● 特別推薦入試

- ・ 数学についての学習に関する取り組み方と基礎的な学力と計算力を評価します。
- ・ 数学についての考え方、その情熱を重視した評価を行います。

● 推薦入試

- ・ 数学に関する基礎的な学力と基本的な計算力を評価します。

● 一般入試

- ・ 数学の基本的な思考方法、論理的な考え方、計算力を評価します。

● 帰国生徒入試

- ・ 数学についての学習に関する取り組み方と基礎的な学力を評価します。
- ・ 数学についての考え方、その情熱を重視した評価を行います。
- ・ 日本の高校における数学I、II、A、Bに相当する知識・計算力を評価します。

● 社会人入試

- ・ 数学についての学習に関する取り組み方と基礎的な学力を評価します。
- ・ 数学についての考え方、その情熱を重視した評価を行います。

● 国際バカロレア入試

- ・ 数学についての学習に関する取り組み方と基礎的な学力を評価します。
- ・ 数学についての考え方、その情熱を重視した評価を行います。
- ・ 日本の高校における数学I、II、A、Bに相当する知識・計算力を評価します。

● 留学生入試

- ・ 数学についての学習に関する取り組み方と基礎的な学力を評価します。
- ・ 数学についての考え方、その情熱を重視した評価を行います。
- ・ 日本の高校における数学I、II、A、Bに相当する知識・計算力を評価します。
- ・ 日本語の能力および高校程度の基礎的な知識を評価します。

化学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

化学科では、さまざまなカリキュラムを通して化学の知識を伝えることにより、技術者・研究者・理科教員の養成を目指しています。そのために、多様化する学生の志望に応じて「バイオ有機薬品コース」、「環境分析コース」、「新エネルギーコース」の3コース制をとっています。2年次から学生を特定のコースに配属させ、最先端の研究に早期から触れさせることによって、十分な研究能力と創造性を体得させます。4年次の卒業研究においては、実践的な研究活動をさせることによって、より高い問題解決能力や創造力を身につけさせます。いずれのコースにおいても、化学の専門家を育てることはもとより、化学の素養をもった良識ある社会人や教員を養成することを目指しています。

このような観点から、化学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- ・ 化学のみでなく自然科学全般に興味のある人
- ・ 実験や研究が好きで、自ら積極的に取り組む人
- ・ 一つのことに強い関心を持ち、それに集中して取り組める人

〈学んでほしいこと〉

- ・ 化学の基礎学力を有すること
- ・ 物理、生物など理科全般の基礎知識を修得していること
- ・ 対数の計算、簡単な微分・積分の数学の知識を有すること

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 調査書と推薦書を評価します。
- ・ 基礎的な学力試問による基礎学力を評価します。
- ・ 面接による学習意欲と人物を重視した評価を行います。

● 特別推薦入試

- ・ 調査書と推薦書を評価します。
- ・ 基礎的な学力試問により知識や基礎学力を評価します。
- ・ 面接により人物の思考力や表現力を評価します。
- ・ 面接により人物の主体性や協調性を評価を行います。

● 推薦入試

- ・ 調査書を重視します。
- ・ 基礎的な学力や知識を重視します。

● 一般入試

- ・ 学力を重視します。

● 帰国生徒入試

- ・ 審査書類を評価します。
- ・ 基礎的な学力試問により知識や基礎学力を評価します。
- ・ 面接による学習意欲と人物を重視した評価を行います。

● 社会人入試

- ・ 審査書類とこれまでの社会経験を評価します。
- ・ 基礎的な学力試問により知識や基礎学力を評価します。
- ・ 面接により人物の思考力・表現力や主体性・協調性を重視した評価を行います。

● 国際バカロレア入試

- ・ 基礎的な学力試問による基礎学力を評価します。
- ・ 面接による学習意欲と人物を重視した評価を行います。

● 留学生入試

- ・ 日本語会話力を重視します。
- ・ 基礎的な学力を評価します。
- ・ 面接による学習意欲と人物を重視した評価を行います。

応用物理学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

応用物理学科では、物理科学や医用工学の基礎学力を備えて、それらに応用するための創造的思考力を有して社会に貢献できる人材の養成を目指しています。物理科学専攻では、さまざまな自然現象の理を解明し、新しい科学技術への応用を実現するための基礎的な能力を有する人材の養成を目指し、臨床工学専攻では、臨床工学に関する確かな知識・技術と優しい心を持ち、物理的センスを身につけた臨床工学技士および医療用ハイテク機器の開発や操作を通して医療に貢献できる人材を養成することを教育目標としています。

このような観点から、応用物理学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 物理科学が好きで、身近な自然現象や科学技術に興味がある・工作や創意工夫を好む・好奇心旺盛・論理的思考を好む、のいずれかに適合する人
- 学業成績を問わず、医用工学を学ぶ明確な目的意識がある・最新の医療機器や技術に関心がある・臨床工学技士の資格取得を積極的に目指している、のいずれかに適合する人
- 高等学校での課題研究に熱心に取り組んだ人

〈学んでほしいこと〉

- 数学I、II(または数学A、B)を学習しておくこと
- 物理基礎、化学基礎または生物基礎を学習しておくこと
- 国語、地理歴史、外国語(特に英語)も学習しておくこと

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 学業、人物に対する出身高校の調査書、推薦書などを評価します。
- ・ 面接により、数学・物理の基礎学力やコミュニケーション能

力などを評価します。

●特別推薦入試

- ・学業、人物に対する出身高校の調査書、推薦書などを評価します。
- ・面接により、数学・物理の基礎学力やコミュニケーション能力などを評価します。

●推薦入試

- ・事前に提出された調査書を評価します。
- ・数学、理科(物理、化学、生物)の基礎学力を重視します。

●一般入試

- ・理科(物理、化学、生物)の基礎学力を重視します。
- ・数学の基礎学力を重視します。

●帰国生徒入試

- ・志望動機や調査書を重視します。
- ・面接により、数学・物理の基礎学力やコミュニケーション能力などを評価します。

●社会人入試

- ・志望動機や調査書を重視します。
- ・面接により、コミュニケーション能力や勉強意欲などを評価します。

●国際バカロレア入試

- ・志望動機などの基礎資料を重視します。
- ・面接により、数学・物理の基礎学力やコミュニケーション能力などを評価します。

●留学生入試

- ・日本語能力や数学の基礎知識を重視します。
- ・面接により、コミュニケーション能力や勉強意欲などを評価します。

基礎理学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

基礎理学科では、自然科学、数理学、情報科学の基礎的かつ総合的な学習と複数の分野が融合する学際領域の研究体験を通して、教育界や産業界などで実践的に活躍できる人材の養成を目指しています。そのために、最初は各分野の基礎を、講義・演習・実習を通じてしっかり身につけてもらい、2年秋学期からは「総合理学コース」、「理数系教員コース」に分け、専門性も深めつつ、課題に対して多様で柔軟なアプローチのできる能力を育てていきます。

このような観点から、基礎理学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 総合的な科学知識を活かして、環境、情報、エネルギーなどの分野で活躍したいという意欲のある人
- 数学、理科、情報等に興味があり、理学的センスを備えた専門性の高い教員として、中・高等学校等の教育現場で活躍したいという意欲のある人、あるいは理数系に強い小学校の教員として活躍したいという意欲のある人
- 大学院に進学し、自然科学分野の高い能力を身につけたいという意欲のある人

〈学んでほしいこと〉

- 高等学校等の数学と理科の科目のうち、4科目以上を履修していること
- 数や図形に対する関心や探究心を有すること
- 自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解していること

〈入学者選抜の基本方針〉

●専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・調査書や推薦書を評価します。
- ・知的好奇心、積極性、行動力を評価します。
- ・数学と英語の基礎学力を評価します。

●特別推薦入試

- ・将来の目標に対する情熱やさまざまな分野を学びたいという意欲を重視した評価を行います。
- ・数学・理科(物理、化学、生物、地学)・英語の基礎的な知識・技能を備えているかを評価します。
- ・理系科目を学び、論理的思考力を身につけて筋道の立った表現力を養っているかを評価します。
- ・主体性をもち、多様な人々と協調しつつ学習・研究する態度を評価します。

●推薦入試

- ・調査書の評定を評価します。
- ・数学・理科・英語の基礎的な学力を評価します。

●一般入試

- ・理科、数学および英語の学力を重視します。

●帰国生徒入試

- ・基礎的な学力試問により知識や基礎学力を評価します。

●社会人入試

- ・基礎的な学力試問により知識や基礎学力を評価します。

●国際バカロレア入試

- ・基礎的な学力試問により知識や基礎学力を評価します。

●留学生入試

- ・数学および英語の学力を重視します。

生物化学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

生物化学科では、理学、医学、薬学、農学などの種々の分野で個別に進められていた生命科学に関する基礎的研究を相互に融合させ、バランスを配慮した教育、研究を行うことによって、個人の能力を可能な限り開発し、より高度なバイオサイエンスやバイオテクノロジーをサポートできる人材の養成を目指しています。すなわち、学科独自の講義や実習および卒業研究を通じて、現代社会が抱える医療・食糧・環境に関連する諸問題を解決する技術の開発・応用、機能性食品や新薬の開発、環境対策など生命科学やバイオテクノロジーに関連する幅広い分野で活躍するための知識や技術を修得できる教育を行っています。

このような観点から、生物化学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- バイオテクノロジーに関わる技術を開発したい人
- バイオテクノロジーなどの知識・技術を利用して社会に貢献したい人
- 実験を通して生命科学の諸問題を明らかにしたい人
- 生命科学分野の最前線で活躍する研究者になりたい人
- 理科教員として中学・高等学校の教育現場で活躍したい人

〈学んでほしいこと〉

- 生物や化学の基礎をしっかりと学んでおくこと
- 英語をしっかりと学んでおくこと

〈入学者選抜の基本方針〉

●専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・調査書や推薦書を評価します。
- ・知的好奇心、積極性、行動力を評価します。
- ・数学と英語の基礎学力を評価します。

●特別推薦入試

- ・調査書や推薦書を評価します。
- ・知的好奇心、積極性、行動力を評価します。

●推薦入試

- ・調査書を評価します。
- ・理科、数学および英語のうち、得意な2科目の学力を評価します。

●一般入試

- ・理科、数学および英語の学力を評価します。

●帰国生徒入試

- ・勉学への意欲と情熱を評価します。
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度を評価します。
- ・生物や化学、生命科学に関する基礎的知識を身につけていることを評価します。
- ・国際的な視点を評価します。

●社会人入試

- ・勉学への意欲と情熱を評価します。
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度を評価します。
- ・生物や化学、生命科学に関する基礎的知識を身につけていることを評価します。
- ・社会での経験を評価します。

●国際バカロレア入試

- ・勉学への意欲と情熱を評価します。
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度を評価します。
- ・生物や化学、生命科学に関する基礎的知識を身につけていることを評価します。

●留学生入試

- ・勉学への意欲と情熱を評価します。

- ・主体性をもって多様な人々と協働して学習する態度を評価します。
- ・面接により、日本語の能力および基礎的な生物や化学に関する知識を身につけていることを評価します。

臨床生命科学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

臨床生命科学科では、生命科学に関する幅広い知識と医学に関連する高度な専門性を備えた、医療や医薬品、福祉、食品系など多岐に渡る分野で活躍できる人材の養成を目指しています。また生命現象の真理探究に意欲的で、高い倫理観と問題解決能力を有した人材の養成を重視しています。本学科には2つのコースが設置されており、「臨床科学コース」では科学的な考え方を通じて臨床検査医学を学び、生体情報学的に判断できる臨床検査技師を養成します。「基礎医学コース」では理学的思考力と生命科学・基礎医学に関する知識を深め、研究力を養います。

このような観点から、臨床生命科学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 生物学、化学を中心とした科学全般に興味をもつ人
- 医学・医療に関心が強く、この分野に関連した職業に就きたいと考えている人
- ヒトの病気やその原因・予防などを深く追究したいと思っている人

〈学んでほしいこと〉

- 化学と生物をしっかりと学習しておくこと
- 外国語(英語)の力を十分身につけておくこと

〈入学者選抜の基本方針〉

- 専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・調査書や推薦書を評価します。
 - ・知的な好奇心、積極性、行動力、協調性を評価します。
 - ・数学と英語の基礎学力を評価します。
- 特別推薦入試**
 - ・調査書や推薦書を評価します。
 - ・知的な好奇心、積極性、行動力、協調性を評価します。
 - ・生物や化学、生命科学に関する基礎的な知識を評価します。
- 推薦入試**
 - ・調査書を評価します。
 - ・理科、数学および英語のうち、得意な2科目の学力を評価します。
- 一般入試**
 - ・理科、数学および英語の学力を評価します。
- 帰国生徒入試**
 - ・提出書類を評価します。
 - ・知的な好奇心、積極性、行動力、協調性を評価します。
 - ・生物や化学、生命科学に関する基礎的な知識を評価します。
- 社会人入試**
 - ・提出書類を評価します。
 - ・学習意欲、積極性、行動力、知的な好奇心、協調性を評価します。
- 国際バカロレア入試**
 - ・提出書類を評価します。
 - ・知的な好奇心、積極性、行動力、協調性を評価します。
 - ・生物や化学、生命科学に関する基礎的な知識を評価します。
- 留学生入試**
 - ・提出書類を評価します。
 - ・生物や化学、生命科学に関する基礎的な知識を評価します。
 - ・語学力、日本語コミュニケーション能力を評価します。

動物学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

動物学科では、自然科学の基礎的な知識に加えて、多様な動物やその環境について広く深い知識を備え、持続可能

な地球環境と人間社会への貢献を志向し、科学知識と社会倫理を調和させた判断力と行動力をもつ人材の養成を目指しています。

このような観点から、動物学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 動物やその環境について知的な好奇心・探究心をもつ人
- 広く自然科学の常識を備える人
- 科学的な知識と社会的な倫理を総合的に判断して思考しようとする人
- 自主的に学び、活動しようとする人
- 責任ある行動ができるような資質をもつ人

〈学んでほしいこと〉

- 高等学校レベルの現代日本語の会話力、読解力、作文力を身につけておくこと
- 理科・自然科学分野(特に生物学)の基礎知識をしっかりと学習しておくこと
- 英語の基礎知識をしっかりと学習しておくこと

〈入学者選抜の基本方針〉

- 専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・学科が求める人物像に合致していることを重視します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
 - ・質疑応答が的確であることを重視した評価を行います。
- 特別推薦入試**
 - ・学科が求める人物像に合致していることを重視します。
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
 - ・質疑応答が的確であることを重視した評価を行います。
- 推薦入試**
 - ・学科が求める人物像に合致していることを重視します。
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
- 一般入試**
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
 - ・外国語(英語)の知識を評価します。
- 帰国生徒入試**
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
- 社会人入試**
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
- 国際バカロレア入試**
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
- 留学生入試**
 - ・高等学校レベルの生物学関連の基礎的な知識を評価します。
 - ・自然科学について論理的な表現力を重視した評価を行います。
 - ・日本語の能力を評価します。

工学部

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

工学部では、科学技術を通して社会に貢献し、自然と調和する物心共に豊かな暮らしの実現に寄与する技術者を養成するという教育理念のもと、講義・実験・実習等を通して「ものづくり」に必要な理論と技術を身につけるとともに、卒業研究等を通して先端技術や研究を体感することで、地球の視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力と倫理観の養成を図っています。工学部の各課程を修めることで、具体的には次のような能力を身につけることができます。

- 1) 工学の基礎となる数学や自然科学および情報技術の基礎知識と、それらを活用し得る基礎能力
 - 2) それぞれの専門分野における基礎的および専門的知識・技術と、それらを活用し得る能力
 - 3) コミュニケーションを図って国際化社会に適応するための知識・技能や語学力に関わる基礎能力
 - 4) 要求や課題を分析し、与えられた制約の下で最適な解決方法を見つけ計画的に仕事を進めていく問題発見・解決能力や設計能力
 - 5) 研究内容などを整理し他者に伝えるための論理的な記述力と口頭発表力の基礎能力
 - 6) 社会の仕組みを理解し、社会人としての倫理観に基づいて国際化の進む社会で技術者としての責任を遂行する基礎能力
- このような観点から、工学部では以下のような学生を求めています

〈求める人物像〉

- 「夢づくり、ものづくり、自分づくり」に強い興味や関心がある人
 - 機械、電気、コンピュータ、情報、応用化学、バイオ、医工学、建築学などの工学分野で活躍したい人
 - 科学技術や理科あるいは数学に関心を持ち、それらの工学的な応用に興味がある人
 - 好奇心に富み、何事にも積極的、自主的に取り組むことのできる人
- 詳細は、各学科の「求める人物像」を参照してください。

〈学んできてほしいこと〉

- 工学の基礎を理解するために必要な数学と理科の学力を身につけていること
- 詳細は、各学科の「学んできてほしいこと」の項を参照してください。

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
 - ・ 専門学科および総合学科における特色ある学びや活動を評価します。
 - ・ 面接では、志望学科への関心度、学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能、これらを活用した課題解決能力、「ものづくり」に必要な協働力を評価します。
- 詳細は、各学科の「専門学科・総合学科特別推薦入試の基本方針」の項を参照してください。

● 特別推薦入試

- ・ 数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
 - ・ 高等学校における学びに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 面接では、志望学科への関心度、学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能、これらを活用した課題解決能力、「ものづくり」に必要な協働力を評価します。
- 詳細は、各学科の「特別推薦入試の基本方針」の項を参照してください。

● 推薦入試

- ・ 調査書の評定を評価します。
 - ・ 数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- 詳細は、各学科の「推薦入試の基本方針」の項を参照してください。

● 一般入試

- ・ 数学、理科、英語の学力を重視します。
- 詳細は、各学科の「一般入試の基本方針」の項を参照してください。

● 帰国生徒入試

- ・ 高等学校における学びに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 論文課題において、志望する学科への関心度を評価します。
 - ・ 面接では、志望学科への関心度、学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能、これらを活用した課題解決能力、「ものづくり」に必要な協働力を評価します。
- 詳細は、各学科の「帰国生徒入試の基本方針」の項を参照してください。

● 社会人入試

- ・ これまでの社会経験を踏まえ、学びに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 論文課題において、志望する学科への関心度を評価します。
 - ・ 面接では、志望学科への関心度、学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能、これらを活用した課題解決能力、「ものづくり」に必要な協働力を評価します。
- 詳細は、各学科の「社会人入試の基本方針」の項を参照してください。

● 国際バカロレア入試

- ・ グローバルな視点に基づいた学びに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 論文課題において、志望する学科への関心度を評価します。
 - ・ 面接では、志望学科への関心度、学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能、これらを活用した課題解決能力、「ものづくり」に必要な協働力を評価します。
- 詳細は、各学科の「国際バカロレア入試の基本方針」の項を参照してください。

● 留学生入試

- ・ 日本語、数学、理科の基礎学力を評価します。
 - ・ 面接では、志望学科への関心度、学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能、これらを活用した課題解決能力、「ものづくり」に必要な協働力を評価します。
- 詳細は、各学科の「留学生入試の基本方針」の項を参照してください。

バイオ・応用化学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

バイオ・応用化学科では、化学を基礎とした応用化学と生物学を基礎としたバイオテクノロジーを学ぶとともに、学際的な幅広い知識と社会性を身につけるための教育プログラムを用意しています。具体的には、物理化学、分析化学、有機化学、無機化学、化学工学、生物学、生化学、安全と倫理を2年次までの必修科目、または選択必修科目としてカリキュラムに組み込んでいます。本学科には、応用化学コース、バイ

オテクノロジーコース、アクアバイオコース、コスメティックサイエンスコースの4つのコースがあり、選択必修科目の多くが各コースで選択する専門科目の基礎になっています。2年次までに、将来選択するコースと卒業後の進路を意識して学修していくことを推奨しています。

4年次では卒業研究に取り組み、実験・考察・発表を繰り返すことにより科学的な思考力と実践力を養います。その過程を通じて高い専門能力と社会性を身につけ、国際化した社会で自立した社会人を養成することを目指しています。このよ

うな観点から、バイオ・応用化学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 化学とバイオテクノロジーを学ぶことへの強い意欲を有する人
- 実験が好きで、その事前学習や結果をまとめる過程を楽しく感じられる人
- 基礎的な学力を身につけ、それを応用して社会に役立てられる潜在能力を備えた人

〈学んでほしいこと〉

- 化学の基礎知識を有すること
- 英語と国語の基礎学力を有すること
- 指数や対数の計算、微分・積分の基礎知識を有すること
- 理科に関する科目をできるだけ多く修得していること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・ 高校における専門科での学びや活動を評価します。
 - ・ 高校における数学、理科、英語の評定を評価します。
 - ・ 入試で問われる基礎学力を評価します。
 - ・ 面接では、化学およびバイオテクノロジーに関する問題の解決能力を評価します。
- **特別推薦入試**
 - ・ 高校における自主的な学びや活動を評価します。
 - ・ 高校における数学、理科、英語の評定を評価します。
 - ・ 基礎学力を評価します。
 - ・ 面接では、高校における化学およびバイオテクノロジーに対する姿勢・意欲・問題解決能力を評価します。
- **推薦入試**
 - ・ 高校における評定を評価します。
 - ・ 基礎的な数学、理科、英語の学力試問を評価します。
- **一般入試**
 - ・ 数学、理科(物理・化学・生物)、英語の学力を重視します。
- **帰国生徒入試**
 - ・ 高校における化学およびバイオテクノロジーに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 論文課題では、化学およびバイオテクノロジーへの関心度を評価します。
 - ・ 面接では、化学およびバイオテクノロジーに関する問題の解決能力を評価します。
- **社会人入試**
 - ・ 社会生活を通して学んだ化学およびバイオテクノロジーに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 論文課題では、化学およびバイオテクノロジーへの関心度を評価します。
 - ・ 面接では、化学およびバイオテクノロジーに関する問題の解決能力を評価します。
- **国際バカロレア入試**
 - ・ 世界的な情勢から学んだ化学およびバイオテクノロジーに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
 - ・ 論文課題では、化学およびバイオテクノロジーへの関心度を評価します。
 - ・ 面接では、化学およびバイオテクノロジーに関する問題の解決能力を評価します。
- **留学生入試**
 - ・ 学力試問では、日本語、数学の基礎学力を評価します。
 - ・ 面接(口頭試問含む)では、化学およびバイオテクノロジーに関する問題の解決能力、日本語でのコミュニケーション力、理科の基礎学力を評価します。

機械システム工学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

機械システム工学は自動車・航空機やロボットなどの「ものづくり」に欠かすことのできない基幹の学問です。機械システム工学科は、進歩の著しい「ものづくり」社会に対応できるよう、基礎となる知識の修得とそれを応用する能力を身につけ、人と自然に優しい機械システムを構築できる創造性のあるエンジニアの養成を目指しています。そのために本学科では、自動車、電機をはじめ、各分野の製造業に柔軟に対応できる「機械(ME)コース」、さらに航空・宇宙関連の製造業にも対応できる「航空・宇宙(AS)コース」、および両コースを横断的に学習する「高等機械システム(MS)コース」(JABEE適合コース)の3教育コースを設けています。

このような観点から、機械システム工学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 機械および機械システムの「ものづくり」を通して社会に貢献したい人
- 機械システム工学を習得し、その知識を応用した仕事に従事したい人
- 数学と物理学(力と運動)の基礎教育に対応できる人

〈学んでほしいこと〉

- 数学(微分・積分を含む)の基礎学力を有すること
- 物理学(力と運動)の基礎学力を有すること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・ 工業製品のデザインとメカニズムに対する強い関心を評価します。
 - ・ 「ものづくり」を通して社会に貢献したい意欲を評価します。
- **特別推薦入試**
 - ・ 工業製品のデザインとメカニズムに対する強い関心を評価します。
 - ・ 「ものづくり」を通して社会に貢献したい意欲を評価します。
- **推薦入試**
 - ・ 調査書で、機械システム工学を習得するための学習能力を評価します。
 - ・ 数学、理科の基礎学力を評価します。
- **一般入試**
 - ・ 数学、理科の基礎学力を評価します。
- **帰国生徒入試**
 - ・ 工業製品のデザインとメカニズムに対する強い関心を評価します。
 - ・ 「ものづくり」を通して社会に貢献したい意欲を評価します。
- **社会人入試**
 - ・ 工業製品のデザインとメカニズムに対する強い関心を評価します。
 - ・ 「ものづくり」を通して社会に貢献したい意欲を評価します。
- **国際バカロレア入試**
 - ・ 面接(口頭試問を含む)で、機械システム工学を習得するための学習能力、数学、理科(物理など)の基礎学力を評価します。
- **留学生入試**
 - ・ 学力試問で、日本語、数学の基礎学力を評価します。
 - ・ 面接(口頭試問を含む)で、機械システム工学を習得するための学習能力、理科(物理など)の基礎学力を評価します。

電気電子システム学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

電気電子システム学科では、広範囲にわたる電気電子関連分野や膨大な雇用の期待される高度情報関連分野で社会を支えることのできる先導的な人材の養成を目指しています。このため、理数系科目に広く関心をもつとともに、電気、半導体、コンピュータ、通信等に関連した科学技術に興味があり、何事にも積極的、自律的に取り組むことのできる人を期待します。また、今日の社会産業基盤であるエネルギー技術、エレクトロニクス技術、情報通信技術などの幅広い教育研究を通して、グローバルな視点を持ち、柔軟で総合的な判断力、問題設定・解決能力、論理的思考力を身につけた電気電子技術者の育成を目指していることから、本学科では、広範囲にわたる専門技術者や研究者の養成を念頭に置いた4つの専門コース(電気エネルギーコース、電子デバイスコース、コンピュータ・情報コース、複合領域コース)を設け、これにより多種多様な考えをもった学生一人ひとりの能力を引き出し、さまざまな社会の要請に応える即戦力、実践重視の教育を行います。

このような観点から、電気電子システム学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 電気・電子・情報・通信工学の分野に興味をもち、これらの技術を利用し、社会に貢献したいと考える人
- 数学、理科について、高等学校卒業相当の学力を有している人
- 物事を多面的に考察、理解し、要点をまとめることができる人
- 与えられた課題について、自律的、継続的に取り組むことができる人

〈学んでほしいこと〉

- 電気電子システム学科入学後のさまざまな専門科目の習得のため、数学I、数学IIと理科を十分理解していること
- できれば、数学に関しては数学IIIおよび数学A、理科に関しては物理を学んでいること
- 学科内容として、さまざまな産業基盤としての応用が考えられるため、コミュニケーション能力としての英語や国語、他の理系科目などにも関心をもっておくこと
- 工業系学科の生徒に対しては、情報や電気系科目を学んでいること

〈入学者選抜の基本方針〉

●専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・数学、理科について、〈学んでほしいこと〉の基礎的項目を重視した評価を行います。
- ・与えられた課題について、自律的、継続的に取り組んできた実績を重視します。

●特別推薦入試

- ・数学、理科について、〈学んでほしいこと〉の基礎的項目を重視した評価を行います。
- ・与えられた課題について、自律的、継続的に取り組んできた実績を重視します。

●推薦入試

- ・数学、理科について、〈学んでほしいこと〉の基礎的項目を重視した評価を行います。
- ・調査書では、電気・電子・情報・通信工学に関連する科目の評定と社会貢献活動を評価します。
- ・数学、理科の基礎学力を評価します。

●一般入試

- ・数学、理科について、高等学校卒業相当の学力を重視した評価を行います。
- ・数学、理科だけでなくコミュニケーション能力としての英語を重視します。

●帰国生徒入試

- ・面接(口頭試問含む)では、数学、理科の基礎学力を評価します。
- ・与えられた課題について、自律的、継続的に取り組んできた実績を重視します。

●社会人入試

- ・面接(口頭試問含む)では、数学、理科の基礎学力を評価します。
- ・与えられた課題について、自律的、継続的に取り組んできた実績を重視します。

●国際バカロレア入試

- ・グローバルな観点から学びに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
- ・与えられた課題について、自律的、継続的に取り組んできた実績を重視します。

●留学生入試

- ・日本語能力および数学の基礎学力を評価します。
- ・与えられた課題について、自律的、継続的に取り組んできた実績を重視します。

情報工学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

情報工学は今日の情報化社会を支える基幹専門分野です。情報工学科では、情報システムの開発・運用、コンピュータや周辺機器の開発、組み込みシステムの開発、ネットワーク関連分野で活躍し、社会人としての倫理観と工学全般に対する広い知識をもった人材の養成を目指しています。このため情報工学科の教育課程では、ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークを含んだ情報システムに関連する理論の教授、システム構築のための実験実習教育および技術発展を目指す研究を行います。

このような観点から、情報工学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 情報工学科の教育目標と教育課程を理解し、数学の基礎学力を身につけている人
- コンピュータやネットワークの分野に興味があり、これらの分野で社会に貢献しようとする人
- 好奇心が旺盛で、興味の対象に対して積極的かつ自主的に取り組む人

〈学んでほしいこと〉

- 情報工学分野では論理的な思考が強く求められることから、数学の基礎学力を有すること
- 英語の基礎学力を有すること
- 工業系課程の卒業生は、情報系や電気系の科目を学んでいること

〈入学者選抜の基本方針〉

●専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・調査書、推薦書の内容と数学、英語の基礎学力を評価します。
- ・情報工学科の教育目標と教育課程を理解していることを重視します。
- ・コンピュータやネットワークの分野への興味と学習意欲を重視します。

●特別推薦入試

- ・調査書、推薦書の内容と数学、英語の基礎学力を評価します。
- ・情報工学科の教育目標と教育課程を理解していることを重視します。
- ・コンピュータやネットワークの分野への興味と学習意欲を重視します。

●推薦入試

- ・調査書の内容と数学、英語、理科の基礎学力を評価します。

●一般入試

- ・数学、英語、理科、国語の基礎学力を評価します。
- ・数学の学力を重視します。

●帰国生徒入試

- ・基礎資料の内容と、面接(口頭試問含む)により数学、英語の基礎学力を評価します。
- ・情報工学科の教育目標と教育課程を理解していることを重視します。
- ・コンピュータやネットワークの分野への興味と学習意欲を重視します。

●社会人入試

- ・基礎資料の内容と、面接(口頭試問含む)により数学、英語の基礎学力を評価します。
- ・情報工学科の教育目標と教育課程を理解していることを重視します。
- ・コンピュータやネットワークの分野への興味と学習意欲を重視します。

●国際バカロレア入試

- ・基礎資料の内容と、面接(口頭試問含む)により数学、英語の基礎学力を評価します。
- ・情報工学科の教育目標と教育課程を理解していることを重視します。
- ・コンピュータやネットワークの分野への興味と学習意欲を重視します。

●留学生入試

- ・出願書類の内容と数学、英語、日本語(小論文)の基礎学力を評価します。
- ・情報工学科の教育目標と教育課程を理解していることを重視します。
- ・コンピュータやネットワークの分野への興味と学習意欲を重視します。

知能機械工学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

知能機械工学科では、人に優しく人間社会の中で働くことのできる知能的機械システムを創造するために必要な専門知識を習得し、総合的に知能的機械システムを創造することができる技術者・研究者の養成を目指しています。具体的には、以下の5つのことを身につけます。

1. 専門知識習得に必要な数学・物理学・情報処理の基礎力を養成する。
2. 機械工学の基本概念を理解し、ロボティクス、メカトロニクス、知能情報工学、ユニバーサルデザイン、福祉人間工学の専門知識を習得する。
3. ものづくり実践科目および実験・演習で、主体的設計能力、問題発見能力、問題解決能力などの工学的実践力を養成する。
4. 語学教育、セミナー、卒業研究などを通して、プレゼンテーションやコミュニケーション能力を身につける。

5.社会における技術者の使命と責任(技術者倫理)を自覚できる能力を身につける。

このような観点から、知能機械工学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 人間親和型ロボットやホームロボット・メカトロニクス機器に興味がある人
- 新しい設計概念である「ユニバーサルデザイン」に興味がある人
- アミューズメント機器のヒューマンインターフェースに興味がある人
- ロボットを知能化するための知能情報処理に興味がある人

〈学んでほしいこと〉

- 数学・物理の基礎知識を理解していること

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 学力試問では数学、面接(口頭試問を含む)では物理の基礎知識を評価します。
- ・ これまでのものづくりの経験を評価します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

● 特別推薦入試

- ・ 数学と英語の基礎知識を評価します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

● 推薦入試

- ・ 数学と理科の基礎知識を評価します。

● 一般入試

- ・ 数学や理科の理解度を評価します。

● 帰国生徒入試

- ・ 面接(口頭試問を含む)では、数学と物理の基礎知識を評価します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

● 社会人入試

- ・ 面接(口頭試問を含む)では、数学と物理の基礎知識を評価します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

● 国際バカロレア入試

- ・ 面接(口頭試問を含む)では、数学と物理の基礎知識を評価します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

● 留学生入試(春入学)

- ・ 数学の基礎知識および日本語能力を評価します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

● 留学生入試(秋入学)

- ・ 学力試問では数学の基礎知識および日本語能力、面接(口頭試問を含む)では物理の基礎知識を評価します。
- ・ 総合的に数学の計算能力および物理の基礎知識を重視します。
- ・ ロボット・知能機械・アミューズメント機器や使いやすい機器の設計・製作に対する熱意を重視します。

生命医療工学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

生命医療工学は、工学技術と手法を利用して、生物・人体の構造、機能とその機構を解析、理解するとともに、得られる知見を医療・工学などへ応用する学問、研究領域です。社会の高齢化や健康増進などのために、高度な医療技術と医療機器の開発が活発に進められており、生命医療工学は非常に重要な領域になってきています。本学科では、工学全般の基礎知識を身につけるとともに、生命医療工学に関する最新の研究を進めることによって、医療・福祉産業、バイオ産業や病院などのバイオメディカル分野で、即戦力として活躍できる人材の教育・養成を行っています。

このような観点から、生命医療工学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 医療産業や病院、研究機関で活躍したい人

- 積極的に行動力と責任感のある人
- 好奇心に富み、科学的知的好奇心をもつ人

〈学んでほしいこと〉

- 専門としたい興味分野に関連する科目(物理、化学、生物など)のうち、いずれかの科目の内容を習得しておくこと
- 数学I(または数学A)を習得していること

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 医療技術への関心の高さを評価します。
- ・ 基礎的学力試問、面接を重視した評価を行います。

● 特別推薦入試

- ・ 学科の教育目標の理解度を評価します。
- ・ 基礎的学力試問、面接を重視した評価を行います。

● 推薦入試

- ・ 調査書を評価します。
- ・ 基礎的な学力を評価します。

● 一般入試

- ・ 学力試問の結果を重視します。

● 帰国生徒入試

- ・ 調査書を評価します。
- ・ 基礎的学力試問、面接を重視した評価を行います。

● 社会人入試

- ・ 基礎的学力試問、面接を重視した評価を行います。

● 国際バカロレア入試

- ・ 基礎資料を評価します。
- ・ 基礎的学力試問、面接を重視した評価を行います。

● 留学生入試

- ・ 基礎的な日本語能力と学力を評価します。
- ・ 基礎資料を評価します。
- ・ 基礎的学力試問、面接を重視した評価を行います。

建築学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

建築学は、工学と芸術を融合し、新たな文化を生み出す創造性豊かな学問領域です。建築学科では、建築、都市分野における現代社会の諸課題に対し、地域の文化を理解し環境に優しく安全で快適な建築、都市空間の創出を意欲的に考え、自らの成長と社会への貢献に真剣に取り組める人材の養成を目指しています。

このような観点から、建築学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 建築や都市および魅力的な空間・環境を創ることに情熱を持ち、豊かな感性で創造的なデザインを行える人
- 持続可能な未来社会の実現に向けて地球環境等に配慮し、安全で快適な建築を造る技術を習得できる人
- 現代社会の問題を自ら発見し、建築を通して、問題を解決し社会に貢献できる人

〈学んでほしいこと〉

- 高校で学んだ英語、数学、物理などの科目の内容を理解していること
- 解決しようとする問題点を自らの考え方で整理し、筋道を立てて説明できること
- 建築だけでなく、地球や都市の環境について日頃から考える習慣を身につけていること

〈入学者選抜の基本方針〉

● 専門学科・総合学科特別推薦入試

- ・ 学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。
- ・ 調査書および基礎学力を評価します。
- ・ 面接では高等学校生徒として特色ある学びや活動や建築分野への関心度を評価します。

● 特別推薦入試

- ・ 学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。
- ・ 基礎学力を評価します。
- ・ 面接では建築分野への関心度を評価します。

● 推薦入試

- ・ 学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。
- ・ 調査書および基礎学力を評価します。

● 一般入試

- ・ 学力を評価します。

● 帰国生徒入試

- ・ 学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。

- ・基礎学力を評価します。
- ・日本語を含む人とのコミュニケーション能力を評価します。
- 社会人入試**
- ・学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。
- ・社会での経験と資格を評価します。
- 国際バカロレア入試**
- ・グローバルな視点を持ち、学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。
- ・基礎的な知識と学力を評価します。
- ・建築分野への関心度と人とのコミュニケーション能力を評価します。
- 留学生入試**
- ・学科の〈求める人物像〉に合致しているかを評価します。
- ・基礎学力を評価します。
- ・日本語を含む人とのコミュニケーション能力を評価します。

工学プロジェクトコース

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

実社会におけるものづくりは、工学部の学科において教授される複数の専門知識を総合的に利用し、プロジェクトとして行われています。プロジェクトのリーダーとなるべき人材には、工学全般についての幅広い知識と視野を身につけたゼネラリスト的な資質だけでなく、プロジェクトの管理・運営能力も必要とされます。工学プロジェクトコースでは、学科横断的に工学科目を学ぶことにより、工学に関わるさまざまな知識を体系的に身につけ、かつ、グループによるものづくりプロジェクトを通して、実践力、コミュニケーション力、調整力、協調性などの管理・運営能力を兼ね備えたプロジェクトリーダーの養成を目指しています。

このような観点から、工学プロジェクトコースでは以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 将来ものづくりのプロジェクトリーダーを目指したい人
- 挑戦したい具体的なものづくりのテーマをもっている人
- 入学後、すぐに実践的なものづくりをしたい人
- 学科横断的に専門分野を学んでから、具体的なものづくりのテーマを決めたい人
- 工学分野を幅広く総合的に学びたい人

〈学んでほしいこと〉

- 工学部の基礎専門科目の理解に必要な理科系の科目(とくに数学と物理に関連したできるだけ多くの科目)を修得していること(必要に応じて入学前教育も利用すること)
- 文章などを通して、自分の意見を的確に伝える力を有すること
- 広く社会に関心を持ち、科学的な問題を常に意識し、かつ工学的な観点から分析できる力を有すること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
- ・面接(口頭試問を含む)および調査書では、数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・学力試問では、数学、英語の基礎知識を評価します。
- ・これまでのものづくりの経験を評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を的確に説明

できるかを評価します。

- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を実現するために必要な基礎知識を有しているかを評価します。

●特別推薦入試

- ・面接(口頭試問を含む)および調査書では、数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・学力試問では、数学、英語の基礎知識を評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を的確に説明できるかを評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を実現するために必要な基礎知識を有しているかを評価します。

●推薦入試

- ・高校における評定や数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・入試で問われる基礎学力を重視します。

●一般入試

- ・入試で問われる基礎学力を重視します。
- ・入試で選択した科目の得点を重視します。

●帰国生徒入試

- ・面接(口頭試問を含む)および調査書では、数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・高校における学びの姿勢・意欲や活動を評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を的確に説明できるかを評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を実現するために必要な基礎知識を有しているかを評価します。

●社会人入試

- ・面接(口頭試問を含む)では、数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・これまでの学び・技術習得等に対する姿勢・意欲や活動を評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を的確に説明できるかを評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を実現するために必要な基礎知識を有しているかを評価します。

●国際バカロレア入試

- ・面接(口頭試問を含む)では、数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・グローバルな観点から学びに対する姿勢・意欲や活動を評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を的確に説明できるかを評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を実現するために必要な基礎知識を有しているかを評価します。

●留学生入試

- ・面接(口頭試問を含む)では、日本語能力および数学、理科、英語の基礎学力を評価します。
- ・学力試問では、日本語能力、数学の基礎知識を評価します。
- ・高校における学びの姿勢・意欲や活動を評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を的確に説明できるかを評価します。
- ・挑戦したいものづくりのテーマの具体計画を実現するために必要な基礎知識を有しているかを評価します。

総合情報学部

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

総合情報学部では、情報科学技術を要にして、社会と調和の取れた高度情報社会の発展に貢献できる人材の養成を目指しています。現在の日本においては、高度情報化や少子高齢化の波が産業界のみならず、社会構造や私たちの生活にも大きな変革をおよぼしており、私たちが危機管理の行き届いた文化的な社会を築くためには、情報科学や社会に関心を持ち、情報技術を駆使して各自の専門分野で活躍できる人材が求められています。

このような観点から、総合情報学部では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 情報科学科の項を参照してください。

〈学んでほしいこと〉

- 情報科学科の項を参照してください。

〈入学者選抜の基本方針〉

下記入試における入学者選抜の基本方針は情報科学科の項を参照してください。

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
- **特別推薦入試**
- **推薦入試**
- **一般入試**

- 帰国生徒入試
- 社会人入試
- 国際バカロレア入試
- 留学生入試

情報科学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

情報科学科では、情報通信技術とその基礎となる数理を学び、論理的かつ数理的な思考力を身につけ、高度情報社会を支え発展させ、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。多様な習熟度の学生に対応したクラス分けにより基礎学力をつけます。情報と数学を基礎に4コース制による学生の目標に合わせた専門教育をします。卒業後に目指すのはWeb、モバイル分野のシステム開発者、デジタルメディア、ゲームの分野で活躍する情報処理技術者、大量データから有効な情報を引き出すデータサイエンティスト、科学技術計算やデータ解析を行う技術者、数学教員などです。

このような観点から、情報科学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- インターネットを利用した高度情報社会に強い関心をもつ人
- Web、モバイルなどの情報技術に強い関心をもつ人
- デジタルメディアやゲームの最新技術に強い関心をもつ人
- データから意味のある・役に立つ情報を探索することに強い関心をもつ人
- 情報技術を活かした科学技術計算やデータ解析に強い関心をもつ人

〈学んでほしいこと〉

- 数学に関しては、「数学I」または「数学I・数学A」を学んでいること
- 望ましくは、「数学II」と「数学B」を学んでいること
- 望ましくは、情報に関連した活動、経験、特にプログラムの作成やWebページ作成の経験のあること

〈入学者選抜の基本方針〉

- 専門学科・総合学科特別推薦入試
 - ・ 情報科学技術への関心が高いことを重視します。

- ・ 情報科学科での勉学の意欲を重視します。
- ・ 数学の基礎的な学力を評価します。

● 特別推薦入試

- ・ 情報科学技術への関心が高いことを重視します。
- ・ 情報科学科での勉学の意欲を重視します。
- ・ 高校での調査書および推薦書を評価します。
- ・ 数学の基礎的な学力を評価します。

● 推薦入試

- ・ 高校での推薦書および調査書を評価します。
- ・ 数学と、英語または理科より1科目の基礎的な学力を評価します。

● 一般入試

- ・ 数学と、英語または理科などの学力を評価します。

● 帰国生徒入試

- ・ 情報科学技術への関心が高いことを重視します。
- ・ 情報科学科での勉学の意欲を重視します。
- ・ 外国での経験を評価します。

● 社会人入試

- ・ 情報科学技術への関心が高いことを重視します。
- ・ 情報科学科での勉学の意欲を重視します。
- ・ 社会での経験を評価します。

● 国際バカロレア入試

- ・ 情報科学技術への関心が高いことを重視します。
- ・ 情報科学科での勉学の意欲を重視します。
- ・ IBの理念や「IBの学習者像」を深く理解していることを評価します。

● 留学生入試

- ・ 情報科学技術への関心が高いことを重視します。
- ・ 情報科学科での勉学の意欲を重視します。
- ・ 日本語と基礎的な数学の学力を評価します。

生物地球学部

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

生物地球学部では、建学の理念のもと、宇宙・地球・多様な生命に対してフィールドワークを主要な研究教育・研究方法とし、自然の仕組み、自然環境の変遷、人間と環境のかかわりの歴史に関する幅広い知識を習得し、複雑な社会ニーズに応えうる人材の育成を目指しています。20世紀においては、高度産業・情報化社会は快適な生活の実現をもたらしましたが、一方では地球温暖化、生態系の破壊、資源の枯渇、廃棄物の累積などの問題をも増大させてきました。このような状況から、豊かなフィールドワークの経験を通して、学生個人が解決すべき課題を発見し、その問題解決を図ることができる人材の育成を目指しています。

このような観点から、生物地球学部では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 自然の仕組みや変遷、環境問題および自然と人間との関わりについて強い興味や関心がある人
- 生物学、古生物学、地球科学、天文学および地理・歴史学に興味をもつ人
- 自然科学について広く基礎的な知識を備えており、これらを総合的に判断し、思考することができる人
- フィールドワークを伴うので、自主的に活動し、責任ある行動が可能なる人

〈学んでほしいこと〉

- 数学、理科および地理・歴史などの幅広い分野の基礎学力を修得していること
- フィールドに関係する自然や社会への関心を育てておくこと

〈入学者選抜の基本方針〉

- 専門学科・総合学科特別推薦入試
 - ・ 調査書と推薦書を評価します。
 - ・ 基礎的な学力試問により、基礎学力を評価します。
 - ・ 面接により、人物と勉学への意欲を評価します。
- 特別推薦入試
 - ・ 生物学、古生物学、地学、天文学および地理・歴史学などに関するフィールドワークや研究などの経験を重視した評価を行います。
 - ・ フィールドワークで大切な他者とのコミュニケーション能力を重視します。
 - ・ 基礎的な学力試問により、基礎学力を評価します。
- 推薦入試
 - ・ 調査書と基礎的な学力を評価します。
- 一般入試
 - ・ 今までに習得した学力を評価します。
- 帰国生徒入試
 - ・ 今までに習得した学力を評価します。

- ・フィールドワークに関する経験と基礎的な知識を重視した評価を行います。
- **社会人入試**
- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・フィールドワークに関する経験と基礎的な知識を重視した評価を行います。
- **国際バカロレア入試**
- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・フィールドワークを行うための国際的な広い視野と知識を重視した評価を行います。
- **留学生入試**
- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・日本語でのコミュニケーション能力を重視した評価を行います。

生物地球学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

生物地球学科では、われわれ人類を含む多くの生物とその生活の場である地球全体を1つの複合系として広い視野でとらえられる人材の育成を目指しています。この目標を達成するために、学科内部を「植物・園芸学」、「動物・昆虫学」、「地理・考古学」、「地球・気象学」、「天文学」および「恐竜・古生物学」の6コースに分け、それぞれが野外での観察と調査を基本に据えた教育を行うとともに、系列間でも密な連携を図り、フィールドワークと収集資料の解析を通じて、分野を超えた統合的な理解を目指しています。

このような観点から、生物地球学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 学科の「求める人物像」については、学部の項を参照してください。
- フィールドワークを学ぶことに強い意欲を有する人
- フィールドワークの事前学習や結果をまとめる過程を楽しみながら学習できる人
- 適切なコミュニケーション力と基礎的な学力を身につけ、それを応用して社会に役立てられる潜在的な能力を備えた人

〈学んでほしいこと〉

- 学科の「学んでほしいこと」については、学部の項を参照してください。
- フィールドワークに役立つ科目である理科(生物、地学、物理など)や社会(地理、歴史など)を、修得していること
- 英語、国語、数学の基礎学力を有すること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
- ・調査書と推薦書を評価します。
- ・基礎的な学力試問(数学・英語)により、基礎学力を評価します。
- ・面接により、人物と勉学への意欲を評価します。

- **特別推薦入試**

- ・調査書と推薦書を評価します。
- ・基礎的な学力試問(数学・英語)により、基礎学力を評価します。
- ・面接により、人物と勉学への意欲を評価します。
- ・生物学、古生物学、地学、天文学および地理・歴史学などに関するフィールドワークや研究などの経験を重視した評価を行います。
- ・フィールドワークで大切な他者とのコミュニケーション能力を重視します。

- **推薦入試**

- ・調査書を重視して評価します。
- ・基礎的な学力を重視して評価します。

- **一般入試**

- ・今までに習得した学力を評価します。

- **帰国生徒入試**

- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・フィールドワークに関する経験と基礎的な知識を重視した評価を行います。

- **社会人入試**

- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・勉学への意欲と社会での経験を評価します。
- ・フィールドワークに関する経験と基礎的な知識を重視した評価を行います。

- **国際バカロレア入試**

- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・フィールドワークを通じた国際社会への貢献に関する意欲を評価します。

- **留学生入試**

- ・今までに習得した学力を評価します。
- ・日本語でのコミュニケーション能力を重視した評価を行います。

教育学部

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、「探究する力」と「言葉の力」を学びの柱として、幅広い教養と高いコミュニケーション能力を備えた人材、そしてその能力を活かして子どもの人間的成長に責任をもち、同僚、保護者、地域と積極的に連携しながら次世代の担い手を育てることで社会に貢献していこうとする、強い使命感をもった教員の養成を目指しています。

このような観点から、教育学部では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 人の役に立ち、社会に貢献したいと思う人
- 知的好奇心旺盛で、人に知識を伝えることが好きな人
- 他者と協力して課題に取り組むことが好きな人
- 自主的に活動し、自分の言動に責任をもてる人

〈学んでほしいこと〉

- 高等学校レベルの基礎学力を有すること
- 新聞やニュース、書籍等を通じて社会の出来事や世界の動きへの関心を深めていること
- 人との関わりの大切さを理解していること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
- ・基礎的な学力を評価します。
- **特別推薦入試**
- ・高校における成績を重視します。
- ・自己研鑽に向けた意欲や目標を評価します。
- **推薦入試**
- ・調査書を評価します。
- ・高校までに習得した基礎的な学力を評価します。
- **一般入試**

- ・高校までに習得した学力を評価します。
- 帰国生徒入試**
 - ・海外における経験を評価します。
 - ・日本の初等教育および中等教育の志望コースの学修内容に関心があり、教職を目指していることを重視します。
- 社会人入試**
 - ・専門領域についての関心と意欲、自己表現力など、教育学部で学ぶ上での適性を総合的に評価します。
- 国際バカロレア入試**
 - ・論理的思考力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力や異文化を受容する力を身につけ、教職を目指していることを評価します。
- 留学生入試**
 - ・学校教育への関心の高さを重視します。
 - ・教育学部での勉学意欲を重視します。
 - ・日本語と英語によるコミュニケーション能力を評価します。

初等教育学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

初等教育学科では、体験や探究を通じた主体的な学びの意味や楽しさを理解し、使命感と情熱をもって小学校教育に関わり、現代的な教育課題にも進んで取り組むことのできる、教職への高い意欲をもった人材の養成を目指しています。

このような観点から、初等教育学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 子どもの成長と発達に関心のある人
- 小学校教育に携わることへの使命感と熱意のある人
- 小学校教育の現状に関心を持ち、様々な課題を解決する方法を探究できる人

〈学んでほしいこと〉

- 学校や地域の行事に積極的に参加し、地域社会の様々な人と関わる体験を積むこと
- 新聞等のメディアを活用して、教育、科学、政治、経済、文化、スポーツ等、世の中の動きに幅広い関心をもっていること
- 理想の教師像について、本を読むなどして考えておくこと

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・初等教育学科で学ぶ意欲を重視します。
 - ・的確にコミュニケーションがとれることを評価します。
 - ・基礎的な学力を評価します。
- **特別推薦入試**
 - ・初等教育学科で学ぶ意欲を重視します。
 - ・的確にコミュニケーションがとれることを評価します。
 - ・基礎的な学力を評価します。
- **推薦入試**
 - ・調査書を評価します。
 - ・高校までの基礎的な学力を評価します。
- **一般入試**
 - ・高校までに習得した学力を評価します。
- **帰国生徒入試**
 - ・海外における経験を評価します。
 - ・日本の初等教育に関心があり、教職を目指していることを重視します。
- **社会人入試**
 - ・専門領域についての関心と意欲、自己表現力など、初等教育学科で学ぶ上での適性を総合的に評価します。
- **国際バカロレア入試**
 - ・論理的思考力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力や異文化を受容する力を身につけ、教職を目指していることを評価します。
- **留学生入試**
 - ・教育および教育学への関心の高さを重視します。
 - ・初等教育学科での勉学意欲を重視します。
 - ・日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

中等教育学科 国語教育コース

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

日本語の高い運用能力をベースに、日本語の背景にある文化や歴史を尊重し、コミュニケーションの基盤としての言葉の大切さと活用法を次世代へと伝える人材の養成を目指しています。

このような観点から、中等教育学科国語教育コースでは以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 国語に深い興味をもっている人
- 人と語り合うことが好きな人
- 本を読んだり文章を書いたりすることが好きな人
- 言葉の力を通して人間力を向上させたい人
- 国語教師として適切な日本語の使い方・大切さを生徒に伝えたいと思う人

〈学んでほしいこと〉

- 国語の基礎学力を身につけていること
- 日本語検定や漢字検定等の資格取得に向けた努力を始めていること
- 読書の習慣を身につけていること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・国語および国語科教育への関心が高いことを重視します。
- **特別推薦入試**
 - ・国語および国語科教育への関心が高いことを重視します。
- **推薦入試**
 - ・調査書と基礎的な学力を評価します。
- **一般入試**
 - ・高校までに習得した学力を評価します。
- **帰国生徒入試**
 - ・海外における経験を評価します。
 - ・日本の中等教育および志望コースの学修内容に関心があり、国語科教員を目指していることを重視します。
- **社会人入試**
 - ・専門領域についての関心と意欲、自己表現力など、国語教育コースで学ぶ上での適性を総合的に評価します。
- **国際バカロレア入試**
 - ・論理的思考力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力や異文化を受容する力を身につけ、教職を目指していることを評価します。
- **留学生入試**
 - ・日本語および教育への関心の高さを重視します。
 - ・国語教育コースでの勉学意欲を重視します。
 - ・日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

中等教育学科 英語教育コース

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

英語の十分な運用能力をベースに、英語圏の多様な文化や歴史を理解し、グローバルなコミュニケーションの基盤としての英語の意義と活用法を次世代へと伝える人材の養成を目指しています。

そのため、中等教育学科英語教育コースでは以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 英語に深い興味をもっている人
- 世界について学ぶことが好きな人
- 英語で本や新聞を読みたい人
- 英語力を向上させたい人
- 英語教師として英語を学ぶことの大切さを伝えたいと思う人

〈学んでほしいこと〉

- 英語の基礎学力を身につけていること
- TOEIC、英検等の資格取得に向けた努力を始めていること
- グローバル社会への関心を持ち、本や新聞を読む習慣を身につけていること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・英語および英語科教育への関心が高いことを重視します。
- **特別推薦入試**
 - ・英語および英語科教育への関心が高いことを重視します。
- **推薦入試**
 - ・調査書と基礎的な学力を評価します。
- **一般入試**
 - ・高校までに習得した学力を評価します。
- **帰国生徒入試**
 - ・海外における経験を評価します。
 - ・日本の中等教育および志望コースの学修内容に関心があり、教職を目指していることを重視します。
- **社会人入試**
 - ・専門領域についての関心と意欲、自己表現力など、英語教育コースで学ぶ上での適性を総合的に評価します。
- **国際バカロレア入試**
 - ・論理的思考力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力や異文化を受容する力を身につけ、英語科教員を目指していることを評価します。
- **留学生入試**
 - ・英語および英語科教育への関心の高さを重視します。
 - ・英語教育コースでの勉学意欲を重視します。
 - ・日本語と英語によるコミュニケーション能力を評価します。

経営学部

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

経営学部では、建学の理念のもと、社会に対する理解力と創造的な能力、問題発見・解決能力を涵養して、新たな経済的価値を生み出す創造性豊かなマネジメント能力を有する人材の養成を目指しています。なお、本学部が考えるマネジメント能力とは、企業の経営に限ったものではなく、社会生活において発生する問題を解決する能力です。

このような点から、経営学部では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 経営学科の項を参照してください。

〈学んでほしいこと〉

- 経営学科の項を参照してください。

〈入学者選抜の基本方針〉

下記入試における入学者選抜の基本方針は経営学科の項を参照してください。

- 専門学科・総合学科特別推薦入試
- 特別推薦入試
- 推薦入試
- 一般入試
- 帰国生徒入試
- 社会人入試
- 国際バカロレア入試
- 留学生入試

経営学科

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

経営学科では、経営学部の養成する人材像および教育研究上の目的に基づき、マネジメント能力を基盤として、学生一人ひとりが自らの可能性に挑戦し、深い教養や専門知識および総合的な判断力を身につけた社会人基礎力を有し、企業や自治体などの組織を変革する能力および経営を担える人材の養成を目指しています。

このような観点から、経営学科では以下のような学生を求めています。

〈求める人物像〉

- 経営学および現代社会の制度、文化に強い関心を持ち、高い意欲と目的意識をもって学習を行おうとする人。
- 学部の掲げる人材育成目的・教育目標を理解し、岡山理科大学経営学部での勉学を強く志望する人。
- 企業や自治体等の組織体が抱える課題の解決に挑戦しようという意欲をもつ人。
- 広く高等学校卒業レベルの基礎学力を有している人。
- 自分なりの目標を持ち、そのために一歩ずつ前進しようとする人。

〈学んでほしいこと〉

- 文系・理系といった枠にとらわれずに幅広く科目を学ぶこと
- 社会のさまざまな事柄にアンテナを向けて、自分なりに考えてみる習慣をつけておくこと
- 社会問題や身近な社会・文化現象に興味・関心をもつこと
- 新聞を読む習慣を身につけていること

〈入学者選抜の基本方針〉

- **専門学科・総合学科特別推薦入試**
 - ・経営学および社会科学への関心が高いことを重視します。

- ・経営学科での勉学の意欲を重視します。
- ・面接により、現代社会(公民)および英語の基礎的知識を問います。
- **特別推薦入試**
 - ・経営学および社会科学への関心が高いことを重視します。
 - ・経営学科での勉学の意欲を重視します。
 - ・高校での調査書および推薦書を評価します。
 - ・英語の基礎的な学力を評価します。
- **推薦入試**
 - ・高校での推薦書および調査書を評価します。
 - ・英語、国語、数学、理科より1科目、もしくは2科目の基礎的な学力を評価します。
- **一般入試**
 - ・国語、英語および社会(日本史、世界史、現代社会)または数学などの学力を評価します。
- **帰国生徒入試**
 - ・経営学および社会科学への関心が高いことを重視します。
 - ・経営学科での勉学の意欲を重視します。
 - ・外国での経験を評価します。
- **社会人入試**
 - ・経営学および社会科学への関心が高いことを重視します。
 - ・経営学科での勉学の意欲を重視します。
 - ・社会での経験を評価します。
- **国際バカロレア入試**
 - ・経営学および社会科学への関心が高いことを重視します。
 - ・経営学科での勉学の意欲を重視します。
- **留学生入試**
 - ・経営学および社会科学への関心が高いことを重視します。
 - ・経営学科での勉学の意欲を重視します。
 - ・日本語と基礎的な英語の学力を評価します。

出願・受験から合格・入学まで

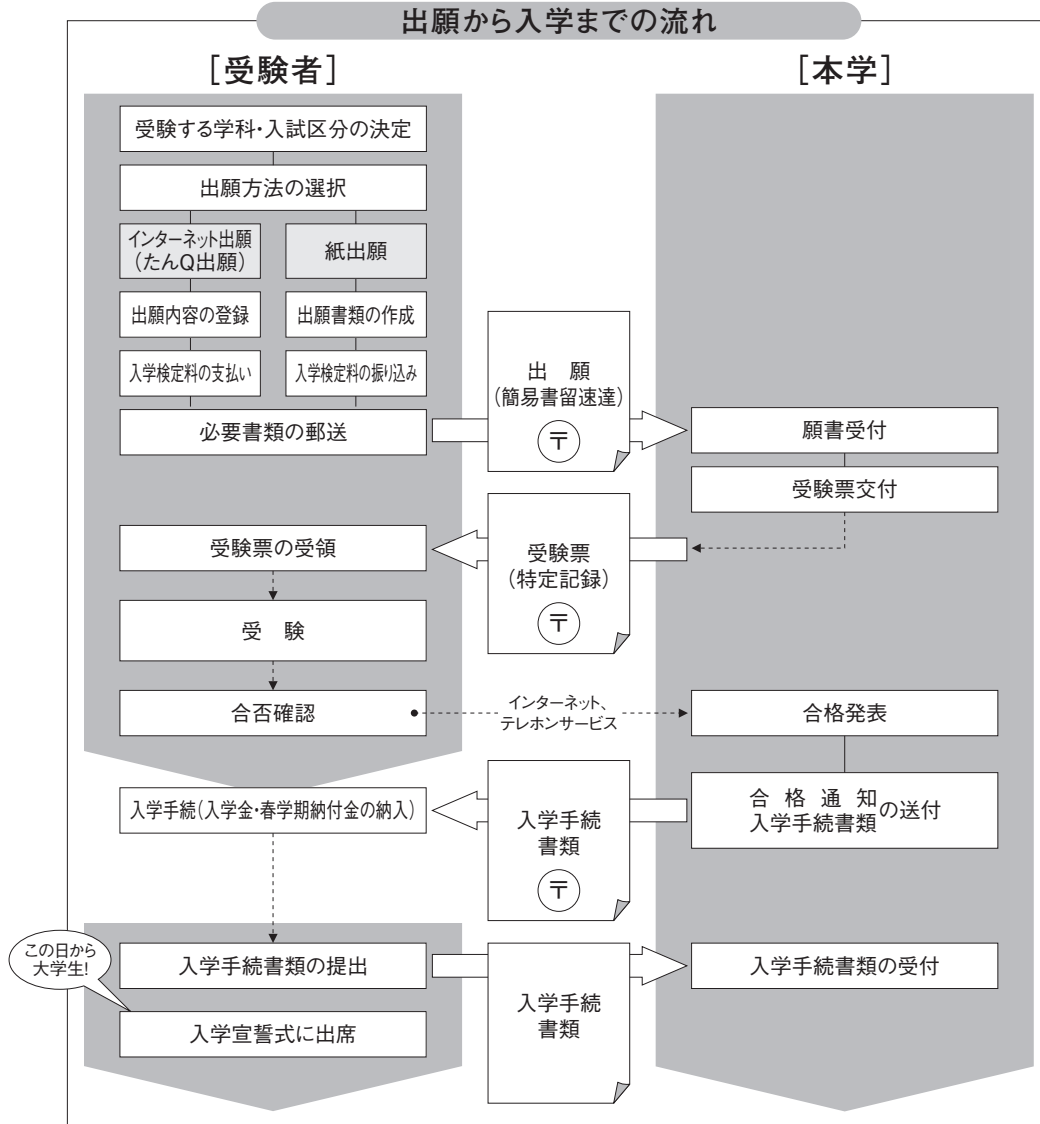
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

出願にあたって	23
受験上および入学後の就学上の配慮等の申請について	23
提出書類	24
入学検定料について	25
提出方法	26
願書受付の締切について	26
理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/ 生物地球学部)と文系学部(教育学部/経営 学部)との第2志望指定の制限について	26
インターネット出願(たんQ出願)について	27
紙出願について(記入例および記入方法)	29
受験上の注意	39
合格発表について	41
追加合格(転科)について	42
成績の開示について	42
入学手続きについて	43
納付金	45
入学前教育について	45
奨学制度	45
教育ローン	46

出願にあたって

出願にあたっては、以下の「出願から入学までの流れ」に基づき、48ページから95ページに掲載している各入試区分の内容を参考にして受験する学科および入試区分を決定してください。本学への出願方法は、所定の願書シートを使用する紙出願とインターネット出願(たんQ出願)※から選ぶことができます。各出願方法で、出願の流れが異なりますので次頁以降の出願手順を十分確認の上、出願してください。合格発表以降の流れは41ページ以降に掲載しています。

※AO入試、特別推薦入試、専門学科・総合学科特別推薦入試、特別入試、編入学試験ではご利用できません。



受験上および入学後の就学上の配慮等の申請について

障がい、急な事故、疾病等により、受験上の配慮や入学後の就学において特別な配慮を希望する場合、受験生は、以下の手順で事前に相談してください。なお、受験上の配慮の要望内容により、対応できる試験会場が岡山会場のみとなる場合があります。

① 障がい等があり、受験および入学後の就学において特別な配慮を希望する場合

- (1) 願書受付開始日の1ヶ月前までに入試広報部に連絡してください。センター試験利用入試の場合も、本学独自の試験はありませんが、必ず連絡してください。期限を過ぎると対応できない場合があります。
- (2) 事前相談では、試験当日の配慮だけでなく、志望学科および必要に応じて健康管理センターと、入学後の就学・生活環境に支障がないか相談を行います。
- (3) 相談時には、ア) 受験上の配慮等申請書 (<http://www.ous.ac.jp/exam/>よりダウンロード)、イ) 健康診断書(病院様式で可)、ウ) 障害者手帳または療育手帳の写し等を提出していただく場合があります。
- (4) 事前相談後、本学から受験および入学後の就学等の対応について連絡します。

② 急な事故・疾病等により受験時に配慮を希望する場合

至急入試広報部に申し出てください。

照会・送付先:岡山理科大学 入試広報部 〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 TEL 086-256-8415

提出書類

下表に示す必要書類を準備し、各入試の願書受付期間内に、25～26ページに従って提出してください。入試区分により必要な書類が異なります。

※インターネット出願(たんQ出願)で出願する場合も以下の書類は必ず提出してください。

●:必要 ×:不要

	書類名	内容	特別推薦	推薦	一般入試 (センター 利用以外)	センター 利用入試
1	紙出願 入学願書 (A票)	入学願書シートは5種類あります。出願する試験の要項の指示に従い、間違いのないように記入してください。入学願書(A票)下欄の取扱銀行領収印欄に押印のあることを確認してください。B票、D票は各自で保管してください。	● シート No.1	● シート No.2	● シート No.3 ～5	● シート No.3 ～5
	インターネット 出願 ネット出願 提出シート	インターネット出願登録・検定料支払い完了後に、管理画面から「ネット出願提出シート」を出力してください。(A4、白紙)	×	●	●	●
2	写 真	3ヶ月以内に撮影した、縦4cm横3cmの写真(裏面に氏名と生年月日を記入のこ)を、入学願書(A票)または、「ネット出願提出シート」の写真貼付欄に貼り付けてください。(カラー、背景無地)	●	●	●	●
3	調査書	①出身高等学校作成のもの(開封無効)。 ②高等学校卒業程度認定試験合格者および大学入学資格検定合格者は「合格成績証明書」を提出してください(見込み者は「合格見込成績証明書」)。 ③調査書が提出できない場合は、卒業証明書または成績証明書(成績通知簿)を提出してください。 ④同一の入学願書シートで複数日、複数学科出願する場合、調査書は1通で構いません。	●	●	●	●
4	推薦書	・巻末に綴じ込みのもの(開封無効)。 ・特別推薦入試用と推薦入試A方式用と推薦入試K方式(入試特待生制度)用の3種類があります。 ・推薦書は各入試区分毎に提出が必要です。	●	●	×	×
5	平成29年度 センター試験 成績請求票	センター試験利用入試(CI、CII、CIII)の出願者のみ必要です。 センター試験成績請求票のうち「私立大学・短期大学用」を「入学願書(A票)」または「ネット出願提出シート」の成績請求票の貼付欄に正しく貼り付けてください。	×	×	×	●

●入学願書を提出した後の志望学科(第2志望学科を含む)・試験日・会場等の変更や出願の追加・変更等は一切認められません。

●健康診断書の提出は必要ありません。ただし、入学後の健康診断により、加療が必要な場合は休学を指示することがあります。また、入学後の就学において特別な配慮を希望する場合は、必ず事前に相談してください。

●提出された書類は返却できません。

●調査書の提出について

出願書類を複数回提出する場合、調査書は、2回目の出願から提出する必要はありません。

- 1回目の出願時には、必ずすべての必要書類を同封してください。
- 2回目以降は1回目の「入試名(入試区分)」と「受験番号」を出願封筒の裏の欄に記入してください。
- 複数の入学願書シートを同封し出願する場合も、調査書は1通で構いません。

※インターネット出願(たんQ出願)で出願する場合は、ホームページ上のガイダンスページの指示に従ってください。

※「入学資格審査」

63ページの出願資格⑫に該当する一般入試の受験生は、事前に本学において出願資格の審査を行いますので、各試験の願書受付開始日1ヶ月前までに、巻末の入学資格審査申請書裏面の指示に従い、必要書類を入試広報部に提出してください。申請書類は必ず書留郵便として、封筒表面に「大学入学資格審査申請」と朱書してください。なお、審査結果は文書で通知します。

入学検定料について

● 入学検定料

推薦入試	特別推薦入試		35,000円	★センター試験利用入試	C I	20,000円
	専門学科・総合学科特別推薦入試				C II	
	★推薦入試A方式				C III	
	★推薦入試K方式(入試特待生制度)					
一般入試	AO入試		35,000円	帰国生徒入試	35,000円	
	★前期	SA方式		社会人入試		
		SAB方式		国際バカロレア入試		
		SB方式		私費外国人留学生入試		
		B1方式		編入学試験		
★後期						

●複数の出願をする場合、次の項目の条件を満たせば、入学検定料割引制度が適用されます。

● 入学検定料の割引制度

[たんQ割]

上記★の入試でインターネット出願(たんQ出願)を利用した場合、1出願毎に上記検定料から3,000円が割引されます。

また、以下の複数出願割引制度も併用可能です。

[複数出願割引制度]

割引制度は次の4種類あり、同一の入学願書(シート)を利用して出願を行った場合にのみ適用されます。

インターネット出願(たんQ出願)を利用した場合も以下の組み合わせで複数出願すると、本割引制度が適用されます。すなわち、たんQ割で1出願毎に3,000円割引の上、以下の複数出願割引が適用されます。

① 試験日自由選択制入試での複数試験日出願する場合

試験日自由選択制入試の推薦入試A方式(シートNo.2)および一般前期SA方式(シートNo.3)で複数試験日出願すると、2日目が10,000円割引となります。

② 同一入学願書で異なる入試区分へ同時に出願する場合

- (1) 推薦入試A方式(シートNo.2)と推薦入試K方式(入試特待生制度)(シートNo.2)を同時出願すると、推薦入試K方式(入試特待生制度)の入学検定料が10,000円割引となります。
- (2) 一般前期SA方式(シートNo.3)と一般前期SAB方式(シートNo.3)を同時出願すると、一般前期SAB方式の入学検定料が10,000円割引となります。
- (3) 一般前期SB方式(シートNo.4)と一般前期B1方式(シートNo.4)を同時出願すると、一般前期B1方式の入学検定料が10,000円となります。

③ センター試験利用入試で複数学科に同時に出願する場合

センターCI(シートNo.3)、CII(シートNo.4)、CIII(シートNo.5)のそれぞれで、複数学科に同時出願をすると、2学科目以降の入学検定料が10,000円となります。

④ 一般入試とセンター試験利用入試を同時に出願する場合

- (1) 一般前期SA方式(シートNo.3)または一般前期SAB方式(シートNo.3)とセンターCI(シートNo.3)を同時に出願すると、センターCIの入学検定料が1学科目から10,000円となります。
- (2) 一般前期SB方式(シートNo.4)または一般前期B1方式(シートNo.4)とセンターCII(シートNo.4)を同時に出願すると、センターCIIの入学検定料が1学科目から10,000円となります。
- (3) 一般後期(シートNo.5)とセンターCIII(シートNo.5)を同時に出願すると、センターCIIIの入学検定料が1学科目から10,000円となります。

● 割引制度に関する注意事項

- ① いずれの割引制度も、指定した入学願書シートを用い、同一シートで同時に(インターネット出願の場合は、同時に登録・決済)出願することが必須条件となります。別シートによる追加(インターネット出願の場合は決済後の追加)は割引対象になりません。
- ② 出願後の内容の追加・変更は一切できません。
- ③ 計算間違いによる金額不足等は書類不備になり受理できません。

● 入学検定料納付について(紙出願)

- ① 入学検定料をA票・B票・C票に記入する際は、D票で計算し、記入間違いのないようにしてください。修正の場合は各シート記入例のページにある注意事項を参照してください。
- ② 入学検定料は最寄りの金融機関の窓口において、必ず「電信扱」で振り込んでください。ATMでの振込は行わないでください。
- ③ 入学願書のA票・B票・C票・D票は、切り離さずに、必要事項を記入の上、入学検定料を添えて、金融機関に提出してください。
- ④ 入学願書のA票・B票・C票にある取扱銀行領収印欄の計3ヶ所に銀行の領収印を受けてください。A票は切り離して本学に提出し、B票の領収書およびD票は各自で保管してください。
- ⑤ 金融機関での振込は手数料が必要になります(出願者の負担となります)。

- ・願書受付期間最終日に持込出願する場合は、入学検定料は現金を持参しても構いません(出願書類と入学検定料を入試広報部へ直接提出してください)。なお、郵送出願期間内に本学に持ち込む場合は、入学検定料の振込を金融機関で行ってから本学に出願書類をお持ちください。
- ・一旦納入された入学検定料は、理由のいかんに関わらず返金できません。

提出方法

24ページの提出書類に漏れがないか確認の上、本学所定の封筒(巻末に貼付)を使い(インターネット出願の場合は市販の封筒でも可)、必ず「簡易書留速達」で郵送してください。

なお、平日(土・日・祝をのぞく)9:00から17:00の間は本学に直接お持ちいただいても構いません(ただし、最終日以外は入学検定料は金融機関で納付済みの状態のものを持参してください)。

※受付期間を過ぎて到着したもの、書類が整っていないものは受理できませんので、必ず期間内に届くよう早めに投函してください。

提出先

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学 入試広報部(A1号館2階)
TEL 086-256-8415

願書受付の締切について

インターネット出願(たんQ出願)と紙出願とで締切の取り扱い方が異なります。間違いのないように十分注意してください。

インターネット出願 (たんQ出願)

締切日の23:59までにインターネットでの出願登録と検定料の支払いが完了している必要があります。

提出書類は、締切日翌日の消印まで有効とします。

なお、本学へ持ち込まれる場合は、以下の紙出願と同様の扱いとします。締切日を過ぎたの提出は受理いたしません。

紙出願

締切日にすべての出願書類が本学に到着している必要があります(締切日必着)。

郵便事情を考慮の上、早めに出願してください。

出願期間中は、提出書類を本学入試広報部に直接お持ちいただいても構いません(平日9:00~17:00)。その場合、検定料を金融機関で支払った後にお越しください。なお、締切日当日は、入学検定料(現金)と合わせての提出も可能です(9:00~17:00)。

理系学部(理学部／工学部／総合情報学部／生物地球学部)と文系学部(教育学部／経営学部)との第2志望指定の制限について

理系学部と文系学部とでは出題科目が異なります。そのため、第2志望制度を採用した入試のうち一般入試前期SA方式、一般入試前期SAB方式、一般入試前期SB方式、一般入試前期B1方式、一般入試後期では、第2志望の組み合わせにおいては以下の制限がありますのでご注意ください。

①理系学部を第1志望とする場合

同じ理系学部内の他学科・専攻・コースを第2志望として指定することができますが、文系学部の学科・コースを第2志望として指定することはできません。

②文系学部を第1志望とする場合

同じ文系学部内の他学科・コースを第2志望として指定することはできませんが、理系学部の学科・専攻・コースを第2志望として指定することはできません。

指定できない組み合わせで出願した場合、第2志望は自動的に無効となります。なお、センター試験利用入試は、出願学科ごとに選考を行うため、複数の学科・専攻・コースに出願した場合、すべて第1志望として扱いますので、出願学科等の組み合わせに制限はありません。

インターネット出願（たんQ出願）について

岡山理科大学のインターネット出願（たんQ出願）は、

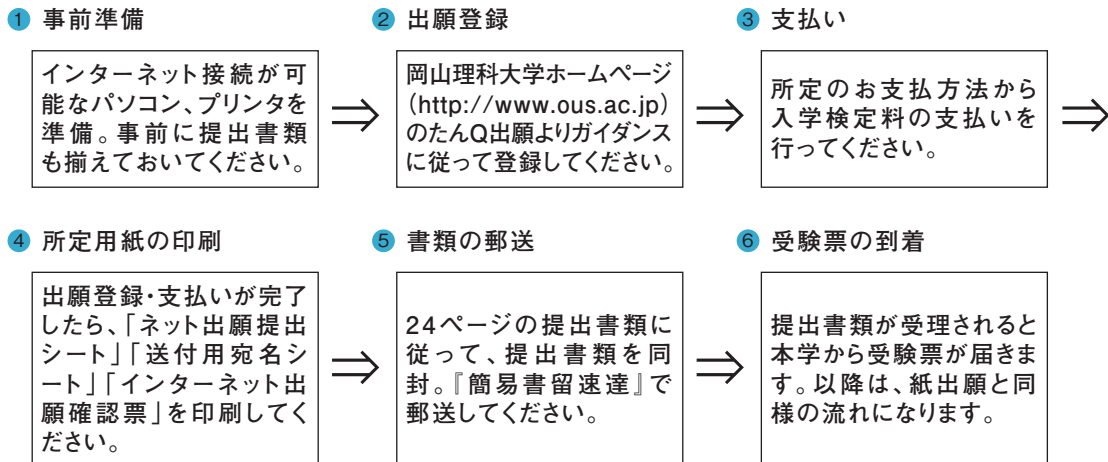
- ① インターネットのガイダンスに従って入力するだけで、スムーズに手続きをすすめることができます。
インターネット環境とプリンタがあれば、出願期間内24時間いつでも出願登録可能です。入力はガイダンスに従うだけなので登録内容の不備・漏れもなく安心です。
- ② オンラインですので、締切日でも出願が可能です。
出願登録（入力・決済）は、出願締切日の23:59まで可能です。調査書等の提出書類は翌日消印有効なので、遠方の受験生も平等にご利用いただけます。
- ③ たんQ割が適用されます。
1出願につき3,000円のたんQ割があります。これに加えて、複数出願すれば、複数出願割引制度も同時に適用されます。

インターネット出願（たんQ出願）対象入試

以下の入試区分がインターネット出願（たんQ出願）の対象になります。

- 推薦入試A方式、推薦入試K方式（入試特待生制度）
- 一般入試前期SA方式、SAB方式、センター試験利用入試CI
- 一般入試前期SB方式、B1方式、センター試験利用入試CII
- 一般入試後期、センター試験利用入試CIII

インターネット出願（たんQ出願）の流れ



① 事前準備

(i) インターネット環境の確認

- インターネットに接続されたパソコン
- プリンタ
- メールアドレス

※スマートフォン、タブレットPCでも出願登録は可能ですが、プリンタでの出力が必須になりますので、ご確認ください。
※パソコンの動作環境は、ホームページ上のガイダンスページで、ご確認ください。

※ドメイン指定を行っている場合、メールが受信できない場合があります。設定の解除を行うか、「@office.ous.ac.jp」を受信設定してください。

(ii) 必要書類の準備

- 写真
 - 調査書
 - 推薦書（推薦入試対象者のみ）
 - 平成29年度大学入試センター試験成績請求票（センター試験利用入試対象者のみ）
- ※詳細については、24ページの提出書類を必ずご確認ください。

② 出願登録

- (i) 岡山理科大学ホームページ (<http://www.ous.ac.jp/>) にアクセスしてください。
「たんQ出願」のバナーをクリックし、出願専用サイトへ。
- (ii) 岡山理科大学インターネット出願ガイダンスから画面に掲載されている注意事項を必ず確認してください。
- (iii) 入力手順に従って、以下①～⑤の項目をすべて登録してください。
- ① 試験区分の選択
 - ② 出願する学部・学科の選択
 - ③ 試験会場の選択
 - ④ 個人情報の入力
 - ⑤ 支払い方法の選択
 - (1) コンビニエンスストア支払い
 - (2) 銀行ATM(ペイジー支払い対応銀行) / ネットバンキングでの支払い
 - (3) クレジットカード決済
- ※ 支払い可能なコンビニエンスストア、クレジットカード会社等は、ホームページ上のインターネット出願ガイダンスのページで確認してください。

③ 支払い

- ② で選択した支払い方法により、入学検定料支払いの手続きを行ってください。
- ※ 出願締切日の23:59までに支払いを終えるようにしてください。午前0:00以降は出願受理となりません。
※ 各種支払いには手数料がかかります。手数料は出願者が負担してください。
※ クレジットカード決済の場合は、②の(iii)の⑤で必要事項を登録すると同時に入金完了となります。
※ 入学検定料の支払い後は、登録内容の変更はできませんので、注意してください。

④ 「ネット出願提出シート」、「送付用宛名シート」、「インターネット出願確認票」の印刷

- ③ の支払いが完了すると、支払い完了通知のメールが届きます。メール本文から登録確認ページにアクセスし、上記3つの書類を印刷してください。
- ※ 出願登録・支払いが完結するまで、「ネット出願提出シート」、「送付用宛名シート」、「インターネット出願確認票」は印刷できません。
- ※ インターネット出願確認票は、本人控になります。

⑤ 書類の郵送

- 24ページの提出書類を確認しながら、①の(ii)で準備した必要書類と「ネット出願提出シート」を、出願用封筒(市販封筒でも可)に同封し、「送付用宛名シート」を封筒表面に貼り、必ず『簡易書留速達』で郵送してください。
- ※ インターネット出願に限り、出願締切日の23:59まで出願登録・支払いが可能ですので、提出書類の提出は**出願締切日の翌日の消印まで有効です(紙出願は締切日必着です)**。
- ※ 書類の不備、提出期限後(出願締切日翌日を超えた日の消印)の郵送については受理できませんので、ご注意ください。

⑥ 受験票の到着

- ⑤ の書類が受理されると、本学から所定の受験票を送付します。
- ※ 受験票は、受験、合否発表、入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

インターネット出願(たんQ出願) 入力操作のお問い合わせ

インターネット出願サポートセンター
(出願期間中9:00～20:00)

フリーダイヤル **0120-752-257**

その他入試制度等のお問い合わせ

岡山理科大学受験生ホットライン
(平日9:00～17:00)

フリーコール **0800-888-1124**

入学願書(シートNo.1)の記入方法

●シートNo.1は、特別推薦入試および専門学科・総合学科特別推薦入試の出願者を対象とします。

■出願にあたって用意するもの

1. シートNo.1の入学願書 2. 写真(縦4cm×横3cm)
3. HBまたはBの黒鉛筆(A票記入用) 4. 黒ボールペン(B・C票記入用)

A票の記入の仕方

A票の記入要領を記入例(29ページ)に基づいて説明します。

- A票は直接読取装置にかかけますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
- HBまたはBの黒鉛筆を使用し、訂正するときはプラスチック消しゴムで消してください。
- 「記入文字例」を参考に丁寧に記入してください。

● **志望学科コード** 特別推薦入試(普通科選抜、特定教科・科目選抜)、専門学科・総合学科特別推薦入試の場合、志願する選抜区分に志望の学科のコードを記入します(学科コードはシートに掲載しています)。
※応用物理学科は専攻毎のコード、工学プロジェクトコースおよび中等教育学科はコースのコードを記入してください。

● 記入しないでください

● 記入しないでください

④～⑮には志願者の個人情報を記入します。

記入データに基づき、受験票や合格通知書を作成しますので、間違いのないように記入してください。

- **志願者氏名** ●フリガナは、姓・名それぞれ左詰めで記入します。濁点・半濁点は「ガ」、「ペ」のように「・」、「。」を含めて「マ」を使います。
●漢字は、戸籍簿本等に記載されている文字を使って正確に記入してください。
- **生年月日** ●年は、西暦下2桁を記入してください。
●月、日が1桁の場合は、04月02日のように0をつけて2桁で記入してください。
- **性別** ●コードを記入してください。(男:1/女:2)
- **志願者住所** ●郵便番号は、必ず7桁を正確に記入してください。
●電話番号は、必ず連絡が取れる番号を記入してください(本学より連絡する場合がありますので、携帯電話番号または自宅の電話番号を記入してください)。
●受験票や合格通知書を送しますので、必ず受け取ることのできる住所を必要最小限の長さに省略して正確に記入してください。

(例)1番1号理大ハイブ103号室 → 1-1-103
住所の1から3は目安ですので、住所1に記入しきれない場合は、住所2に続けて記入してください。
マンション名を省略できる場合は、住所2欄に丁目・番地に続いて室番号のみ記入してください。
1つの欄に郵便地などの数字が書き切れない場合は、ハイフン「-」以下を次の欄に記入してください。

● **出身高校** ●高等学校の所在地(都道府県名、県立・私立等)の区別、高校名、電話番号を記入してください。

● **卒業年** ●平成のコードを記入してください。平成は1を記入します。

●平成29年3月卒業見込みの場合は、2桁で9と記入してください。

104～113ページを参照し、該当する高校コードを記入してください。

● **受験資格** ●コードを記入してください。詳細については115ページの「受験資格コード」を参照してください。

種類	高卒	外国	指定	認定	在外認定
コード	1	3	4	5	6

● **出身学科** ●コードを記入してください。

種類	普通科	工業科	商業科	農業科	実業科	家庭科	総合学科	理数科	その他
コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9

● **予備校コード** 114ページのコード表を参照し、該当するコードを記入してください。

● **予備校名** ●予備校名を記入してください。

● **写真貼付** ●写真(カラー、背景無地、裏面に氏名と生年月日を記入のこと)は、本人の顔が確認できるものを貼付します。

● **B票** ●黒ボールペンで「氏名」を記入します。切り取らずに金融機関の窓口へ提出します。

● **C票** ●黒ボールペンで「依頼日」「氏名」「住所」「電話番号」を記入します。切り取らずに金融機関の窓口へ提出します。

最後に、記入漏れ・間違いがないか確認して出願してください。一度提出した内容は変更することができません。

銀行の受付終了後、**領収印を受けたA票のみ**を切り取り、他の出願書類を添えて出願します。
出願にあたっては、23～26ページを参考にしてください。B票とD票は本人が保管してください。

入学願書(シートNo.2)の記入方法

- 1) シートNo.2(兼部入り)は、推薦入試A方式、推薦入試K方式(入試特待生制度)および特別入試(帰国生徒入試、社会人入試、国際バカロア入試)の出願者を対象とします。
- 2) 次の場合、入学検定料割引制度が適用されます。
 - ① 推薦入試A方式を2日間出願する場合
 - ② 推薦入試A方式と推薦入試K方式(入試特待生制度)を同時に出願する場合

■出願にあたって用意するもの

1. シートNo.2の入学願書
2. 写真(縦4cm×横3cm)
3. HBまたはBの黒鉛筆(A票記入用)
4. 黒ボールペン(A票の⑤⑥、B・C票記入用)

A票の記入の仕方

A票の記入要領を記入例(31ページ)に基づいて説明します。

- A票は直接読取装置にかけますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
 - 黒鉛筆または、シャープペンシルを使用し、訂正するときはプラスチック消しゴムで消してください。
 - 記入文字例を参考に丁寧に記入してください。
- 第1志望学科コード 第1志望学科のコードを記入します(学科コードはシートに掲載しています)。
 ※応用物理学科は専攻毎のコード、工学プロジェクトコースおよび中等教育学科はコースのコードを記入してください。
 ※帰国生徒、社会人、国際バカロレア入試の志願者はこちらに志望学科のコードを記入してください。

- 第二志望学科コード 12月11日の推薦入試K方式(入試特待生制度)のみ第2志望学科を記入できます(記入のない場合は、第1志望のみとなります)。
- 他大学の学科を第2志望とする場合は、「別紙」と記入し、第2志望学科合格判定申請書(巻末載り込み)を提出してください。

受験地コードを記入します(受験地コードはシートに掲載しています)。

受験地名を記入します(受験地名はシートに掲載しています)。

⑤～⑩には志願者の個人情報を記入します。

- 記入データに基づき、受験票や合格通知書を作成しますので、間違いないように記入してください。
- フリガナは、姓・名それぞれ左詰めで記入します。濁点、半濁点は「ガ」「ペ」のように「 」を含めて1マスを使います。
- 漢字は、戸籍簿本等に記載されている文字を使って正確に記入してください。
- 年は、西暦下2桁を記入してください。
- 月、日が1桁の場合は、04月02日のように0をつけて2桁で記入してください。
- コードを記入してください。(男:1/女:2)
- 郵便番号は、必ず7桁を正確に記入してください。
- 電話番号は、必ず連絡が取れる番号を記入してください。(本学より連絡する場合がありますので、携帯電話番号または自宅の電話番号を記入してください)。
- 受験票や合格通知書を郵送しますので、必ず受け取ることできる住所を必要最小限の長さに着論して正確に記入してください。
 (例)1番1号理大ノイフ103号室 → 1-1-103
 住所の1から3は目安ですので、住所1に記入しきれない場合は、住所2に続けて記入してください。
 マンション名を省略できる場合は、住所2欄に丁目・番地を続けて室番号のみ記入してください。
 1つの欄に郵便などの数字が書き切れない場合は、ハイフン「-」以下を次の欄に記入してください。

- 出身高校 高等学校の所在地(都道府県名、県立・私立等の区別、高校名、電話番号)を記入してください。
- 卒業年 ● 平成または昭和のコードを記入してください(平成1/昭和2)。
- 平成29年3月卒業見込みの場合は、2桁で29と記入してください。

104～113ページを参照し、該当する高校コードを記入してください。なお、「●受験資格」で高卒以外の受験資格に該当する者は、115ページを参照し、高校コード記入欄に該当するコードを記入してください。

コードを記入してください。詳細については115ページの「受験資格コード」を参照してください。

種類	高卒	外国	指定	認定	在外認定
コード	1	3	4	5	6

コードを記入してください。

種類	普通科	工業科	商業科	農業科	実業科	家庭科	総合学科	理数科	その他
コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9

114ページのコード表を参照し、該当するコードを記入してください。

予備校名を記入してください。

● A票に⑨で確認した出願数1または2または3を黒ボールペンで記入します。

● A票・B票・C票の金額欄に出願数に応じて35,000円または60,000円または85,000円を黒ボールペンで記入します。

● 写真貼付 写真(カラー、背景無地、裏面に氏名と生年月日を記入のこと)は、本人の顔が確認できるものを貼付します。

● D票で出願数に基づいて入学検定料を確認します。

入学検定料は出願数により変わります(25～26ページ参照)。

- 1) 推薦入試A方式と推薦入試K方式(入試特待生制度)のうち、いずれか1日のみ出願する場合は出願数1、金額35,000円
- 2) 2日間出願する場合は出願数2、金額60,000円
- 3) 3日間出願する場合は出願数3、金額85,000円

● B票 黒ボールペンで「氏名」を記入します。切り取らずに金融機関の窓口へ提出します。

● C票 黒ボールペンで「依頼」「氏名」「住所」「電話番号」を記入します。切り取らずに金融機関の窓口へ提出します。

最後に、記入漏れ・間違いがないか確認して出願してください。一度提出した内容は変更することができません。

銀行の受付終了後、領収印を受けたA票のみを切り取り、他の出願書類を添えて出願します。
 出願にあたっては、23～26ページを参考にしてください。B票とD票は本人が保管してください。

入学願書(シートNo.3)の記入方法

- シートNo.3(黄色帯入り)は、一般前期SA方式、SAB方式およびセンター試験利用入試C-I(以下センターC-Iとする)の出願者を対象とします。2次の場合、入学検定料割引制度が適用されます。
 - ①SA方式、SAB方式とセンターC-Iを同時に出席する場合
 - ②SA方式、SAB方式と2日以上出席する場合
 - ③センターC-Iを2学科以上出席する場合

■出願にあたって留意するもの

- シートNo.3の入学願書
- 写真(縦4cm×横3cm)
- HBまたはBの黒鉛筆(A票記入用)
- 黒ボールペン(A票の⑤～⑦・B・C票記入用)
- センター試験成績請求票(センターC-Iに出席する場合)

A票の記入の仕方

A票の記入要領を記入例(33ページ)に基づいて説明します。

- A票は直接読取装置にかかけますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
- 黒鉛筆または、シャープペンシルを使用し、訂正するときはプラスチック消しゴムで消してください。
- 「記入文字例」を参考に丁寧に記入してください。

①～③にSA方式・SAB方式の出願内容を記入します。センターC-Iのみ出席する場合は記入しないでください。

- 第一志望学科コード 第一志望学科のコードを記入します。(記入のない場合は、第1志望のみとなります)。
- 第二志望学科コード 第二志望学科のコードを記入します。(記入のない場合は、第1志望のみとなります)。

※理系学部と文系学部との第2志望の組み合わせはできません。(26ページ参照)

学部	学 科	コード	学部	学 科	コード
応 用 学 科	数 学 科	11	情 報 学 科	学 科	31
理 学 部	物理科学専攻	12	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	学 科	21
学 部	応用物理科学専攻	13	工 学 部	電気システム工学専攻	22
基 礎 理 学 科	14	学 部	情報システム工学専攻	23	
生 物 化 学 科	15	学 部	情報工学専攻	24	
医 学 部	生命工学専攻	16	学 部	知能機械工学専攻	25
建 築 学 科	17	学 部	生命工学専攻	26	
動 物 学 科	18	学 部	建築工学専攻	27	
		学 部	工学プロジェクトコース	29	
		学 部	経営学	51	
		学 部	学 科	52	
		学 部	学 科	53	
		学 部	学 科	54	
		学 部	学 科	55	
		学 部	学 科	56	
		学 部	学 科	57	
		学 部	学 科	58	
		学 部	学 科	59	
		学 部	学 科	60	
		学 部	学 科	61	

※応用物理学科は専攻毎のコード、工学プロジェクトコースおよび中等教育学科はコースのコードを記入してください。

受験地コードを記入します。

受験地名を記入します。

受験地名	岡 山	東 京	金 沢	静 岡	名 古 屋	京 都	大 阪	神 戸	姫 路
コード	R1	H1	H2	H3	N1	N2	N3	N5	N6
受験地名	豊 田	鳥 取	松 山	福 山	山 口	徳 島	高 松	山 形	秋 田
コード	N4	C1	C2	C4	C3	C5	S1	S2	S3
受験地名	高 知	福 岡	長 崎	熊本	大 分	宮 崎	鹿 児 島	那 覇	沖縄
コード	S4	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8

※SAB方式(2月3日)では実施しません。

⑤～⑦はセンターC-I 出願者対象。SA方式・SAB方式のみ出席する場合は記入しないでください。

- 平成29年度センター試験成績請求票(私立大学・短期大学用)を郵付欄に貼ります。
- センター試験成績請求票のコード番号を記入します。
- センターC-Iの出願学科のマーク欄を鉛筆で黒く塗りつぶします。複数の出願学科をマークすることが可能です。1つの学科へのマークが1出願となり、記入漏れ・間違いないか確認してください。一度提出した内容は変更することができません。
- ⑧～⑩は志願者の個人情報を記入します。

記入データに基づき、受験票や合格通知書を作成しますので、間違いないように記入してください。

●志願者氏名

④ 生年月日

●月、日が桁の場合は、04月02日のように0をつけて2桁で記入してください。

●年、西暦下2桁を記入してください。

⑤ 性別

●志願者住所

●郵便番号は、必ず7桁を正確に記入してください。

●電話番号は、必ず接続が取れる番号を記入してください(本学より連絡する場合があります)。携帯電話番号または自宅の電話番号を記入してください。

●受験票や合格通知書を郵送しますので、必ず受け取ることできる住所を必要最小限の長さに着陸して正確に記入してください。

(例)1番1号理大ハイツ103号室 → 1-1-103

住所の1から3は目安です。住所1に記入しきれない場合は、住所2に続けて記入してください。

マンション名を省略できる場合は、住所2欄に丁目・番地に続いて室番号のみ記入してください。

1つの欄に番地などの数字が書き切れない場合は、ハイフン「-」以下を次の欄に記入してください。

高等学校の所在地府県名、県立・私立等の区別、高校名、電話番号を記入してください。

●平成または昭和のコードを記入してください(平成1/昭和2)。

●平成29年3月卒業見込みの場合は、2桁で29と記入してください。

104～113ページを参照し、該当する高校コードを記入してください。なお、「●受験資格」で高卒以外の受験資格に該当する者は115ページを参照し、高校コード記入欄に該当コードを記入してください。なお、「●受験資格」で高卒以外の受験資格に該当する者は115ページを参照し、詳細については115ページの「受験資格コード」を参照してください。

●出身高校

●卒業年

●高校コード

●受験資格

●出身学科

●予備校コード

●予備校名

D票の②で確認した出願数を参照し、該当するコードを記入してください。

D票の③で計算した出願数を参照し、該当するコードを記入してください。

114ページのコード表を参照し、該当するコードを記入してください。

予備校名を記入してください。

D票の②で確認した出願数を参照し、該当するコードを記入してください。

D票の③で計算した出願数を参照し、該当するコードを記入してください。

114ページのコード表を参照し、該当するコードを記入してください。

予備校名を記入してください。

予備校コードを記入してください。

●写真貼付

写真(カラー、背景無地、裏面に氏名と生年月日を記入のこ)は、本人の顔が確認できるものを貼付します。

D票で出願数に基づいて入学検定料を確認します。

入学検定料はSA方式の出願数とSAB方式の出願数の有無およびセンターC-Iの出願数により変わります。

1「SA方式・SAB方式」を受験する日数に該当する入学検定料を選び、D票の①欄に記入します。

2「センターC-I」は、1学科のマークが1出願となりD票の④欄に出願数、⑤欄に計算した金額を記入します。

3「D票③欄」に①と②の合計金額を記入します。

●黒ボールペンで「氏名」を記入します。切り取らずに金融機関の窓口へ提出します。

●黒ボールペンで「住所」「電話番号」を記入します。切り取らずに金融機関の窓口へ提出します。

最後に、記入漏れ・間違いがないか確認して出願してください。一度提出した内容は変更することができません。

●銀行の受付終了後、領収印を受けたA票のみを切り取り、他の出願書類を添えて出願します。

●出願にあたっては、23～26ページを参考にしてください。B票とD票は本人が保管してください。

受験上の注意

受験票の交付について

出願期間内に出願資格およびすべての提出書類の確認ができた者には、本学所定の受験票を以下の要領で交付します。

- ① 受験票は出願情報に基づき、本学で作成します。
- ② 受験票は、「特定記録」で受付順に発送しますので、**出願は早めに行ってください。**なお、**受験票発送開始日は、各入試区分のページで確認してください。**
- ③ 受験票は、本学で実施する入試については試験日ごと、センター試験利用入試は出願学科ごとに作成します。
- ④ 受験票を受けとった際、記載内容と注意事項を確認してください。
 - ※ 氏名はカタカナで表示し、カタカナ小文字は大文字となる場合があります。住所については、コンピュータ処理において表記できない漢字は、文字が置き換えられたり、カタカナで表記されることがあります。これらは登録上の誤りではありませんので、ご了承ください。本学入学時には正規の文字を登録します。
 - ※ 受験地については、受験地名が同じでも入試区分(方式)、日程によって会場が異なる場合があります。会場を間違えないように、各入試区分のページおよび97ページ以降の「入試会場案内図」で確認してください。
- ⑤ 受験票紛失等の場合、試験場で再発行します。受験票の再発行は、監督者に申し出てください。
- ⑥ **試験日の2日前になっても受験票が届かない場合は、入試広報部にお問い合わせください。**
TEL 086-256-8415
 - ※ なお、本学が出願書類受領後、受験票を郵送しても試験日に間に合わないと判断した場合は、本人に連絡後、郵送せず試験当日に試験会場で手渡します。試験当日、監督者に申し出てください。

試験当日の注意事項

- ① 開門時刻は午前9時00分を予定しています(本学会場は8時40分)。
- ② 各入試区分により定められた時間割と自分の受験科目を十分確認のうえ、入室完了時刻までに入室し、自分の受験番号の座席に着席してください。
- ③ 受験票は机上の受験番号シールのそばに置いてください。受験票を忘れたり、紛失した場合は、試験場の監督者に申し出てください。仮受験票を発行します。
- ④ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。SA方式は1科目でも欠席すると、全科目無効となります。SAB方式・SB方式の場合は、3科目のうち条件を満たす2科目を受験していれば問題ありませんが、1科目しか受験しなかった場合は無効となります。
なお、公共交通機関が遅れた場合は、遅延証明書など、遅延がわかるものを駅などでもらうようにしてください。
- ⑤ 時計は必ず持参してください。試験室には時計はなく、貸し出しもしません。

試験時間中

- ① 試験室においては試験監督者の指示に従ってください。時限ごとに試験に関する説明を行います。
- ② 試験時間中に机の上に**置けるもの**は次のとおりです。
 - ① 受験票 ② 黒鉛筆、黒芯のシャープペンシル ③ 消しゴム ④ 鉛筆削り(電動式は不可)
 - ⑤ 時計(時計機能だけのもの。通信機能付腕時計型携帯端末は不可。アラーム機能等は使用しないこと。)
- ③ 携帯電話等の電子機器(通信機能付腕時計型携帯端末を含む)は、試験室に入る前にアラーム等の設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中に携帯電話の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合には、監督者は受験者の許可を得ずに、かばんごと試験室の外に持ち出します。
- ④ 試験中の発病または用便等、やむを得ない場合には、手を挙げて、監督者の指示に従ってください。

不正行為に対する対応

入学試験において、監督者の指示に従わない場合や不正行為を行った場合は、疑わしい行為も含めて厳正に対処します。

試験会場

- ① 岡山会場以外の受験地では、同じ受験地名でも、入試区分(方式)および日程によって、試験会場が異なる場合があります。詳細は各入試のページで確認し、会場を間違えないようにしてください。
- ② 受験票に記載されている会場と異なる会場では受験することができません。また、出願後の会場の変更も認めることはできません。
- ③ 本学(岡山)会場以外での受験者は、試験会場となる施設への問い合わせはできません。不明な点がある場合は、入試広報部までお問い合わせください。
- ④ 本学会場の下見は、試験前日に行うことができますが、試験室内へは入れません。また、地方会場についても建物内に入ることはできません。
- ⑤ 試験会場付近で合否電報・下宿紹介等の勧誘を行っている場合がありますが、本学とは一切関係ありません。このことによりトラブルが発生した場合、本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。合否結果は41～42ページの方法で発表日に確認することができます。
- ⑥ 昼食は各自で用意してください。一般入試では1時間目と2時間目の間が昼食時間となります。ごみが出た場合は各自で持ち帰ってください。
- ⑦ 会場には駐車場はありませんので、入試会場案内図を参考に、公共交通機関等をご利用ください。
- ⑧ 本学(岡山)会場の案内図、バス時刻表は裏表紙の見返しを参照してください。

受験の際に宿泊が必要な受験生は、旅行会社や宿泊施設へ直接お申し込みください。

なお、本学学内にある旅行代理店(下記)においても、宿泊施設の案内をしています。

お問い合わせ先:株式会社トラベル日本(岡山理科大学トラベルセンター)

TEL(086)250-0310 / FAX(086)214-6180 e-mail: ous@travelnippon.co.jp

合格発表について

合格発表

合格発表は下記の2つの方法で行います。


- 合格通知書の発送
 - 合格は合格通知書を正式通知とします。
合格者には合格通知書および入学手続き書類を郵送します。
合格発表日に発送しますので、地域によっては2～3日かかる場合があります。
なお、下記の2.による合否案内で合格を確認したのち、合格の発表後3日たっても通知書が届かない場合はお問い合わせください。
 - 本学は不合格者には通知書を発行しません(特別入試はのぞく)。
 - 推薦入試(特別推薦入試、専門学科・総合学科特別推薦入試、推薦入試A方式、推薦入試K方式(入試特待生制度))の合否結果については、本人および推薦者である学校長宛に通知します。
- インターネット・テレホンサービスによる合否案内(発表日の午前10時より翌々日の午前10時まで)
本システムは、受験者個々の合否結果をインターネットおよびテレホンサービスにより通知するシステムであり、合格発表の補助的手段です。利用方法は以下のとおりですので、よく読んでから利用してください。
なお、追加合格発表には利用できません。

入試特待生の合格発表について

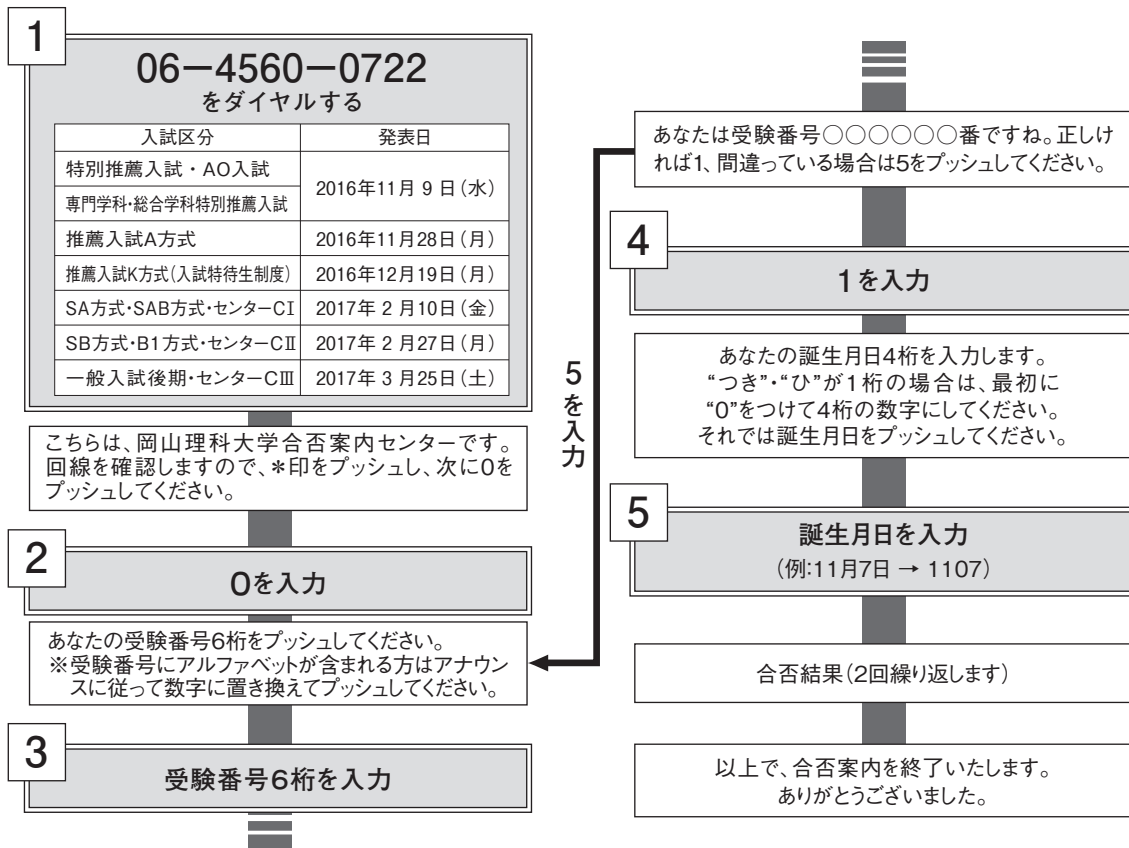
入試特待生合格となった合格者には、特待生合格通知書および入学手続き書類(入試特待生に関する書類を含む)を郵送します。インターネットおよびテレホンサービスによる案内においても確認できます(入試特待生合格の場合は「特待生○として合格されました」、それ以外の合格の場合は「一般合格されました」とメッセージが流れます)。

インターネット	パソコン・スマートフォン・携帯電話での閲覧	入試区分	発表日
		特別推薦入試・AO入試 専門学科・総合学科特別推薦入試	2016年11月9日(水)
		推薦入試A方式	2016年11月28日(月)
		推薦入試K方式(入試特待生制度)	2016年12月19日(月)
		SA方式・SAB方式・センターCI	2017年2月10日(金)
		SB方式・B1方式・センターCII	2017年2月27日(月)
		一般入試後期・センターCIII	2017年3月25日(土)

※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

1	URLを入力 http://www.gouhi.com/ous/ 
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>岡山理科大学 あなたの受験番号6桁を入力して下さい。</p> <p style="text-align: center;"><input type="text" value="F 23456"/></p> <p>よろしいですか？</p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/></p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>▲受験番号を入力してください。 半角で入力</p> <p>例) F23456</p> </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>受験番号(6桁)を入力。</p> </div>
3	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>岡山理科大学 あなたは、受験番号○○○○○○ですね。</p> <p style="text-align: center;">よろしいですか？</p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/></p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>▲学部・学科・受験番号が正しいことを確認してください。</p> <p>▲誤りがなければ、はいをクリックしてください。</p> </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>学部・学科・受験番号が表示されます。 確認の上、4に進む。</p> </div>
4	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>岡山理科大学 あなたの誕生日4桁を入力して下さい。</p> <p style="text-align: center;"><input type="text" value="1107"/></p> <p>よろしいですか？</p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/></p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>▲誕生日を入力してください。 半角で入力</p> <p>(例：11月7日→1107)</p> </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>誕生日(4桁)を入力。</p> </div>
5	<p>合否結果が画面に表示されます。</p>

テレホンサービス 操作とガイダンスの流れ(メッセージを聞いて操作してください)



《利用上の注意》

1. テレホンサービス以外の電話による合否の問い合わせには一切応じられません。
2. 利用開始直後の時間帯は混雑するため、電話が話し中になる場合がありますので、少し時間をおいてからかけなおしてください。
3. 操作方法や受験生個人の情報(受験番号等)に関しての問い合わせには応じられません。
受験生以外の方が本システムを利用する場合は、必要事項をあらかじめ本人に確認のうえ、利用してください。

※試験場近隣や駅、バス停周辺で、合否連絡のピラを配布している場合がありますが、本学とは、一切関係ありません。これによりトラブルが発生しても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

追加合格(転科)について

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験者が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡をします。追加合格対象の学科に入学意思がある場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な納付金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

成績の開示について

受験者に対して、成績開示を「入学試験成績情報開示申請書」の提出により行います。また、申請者(本人以外無効)は、身分証明書・印鑑、および受験票を本学へ必ず持参ください。

(注意)成績開示を行う場合、事前にご連絡ください。

- 1) 推薦入試A方式、推薦入試K方式(入試特待生制度)、一般入試

申請および開示期間：各入試の合格発表日の翌日から2017年4月24日(月)まで(土、日、祝日を除く) 9時～17時
条 件：上記期間内に申請した者。

- 2) センター試験利用入試

申請および開示期間：2017年4月17日(月)～4月24日(月)まで(土、日、祝日を除く) 9時～17時
条 件：本学のセンター試験利用入試を受験し、上記期間内に申請した者。

入学手続きについて

本学入学のために、必要な入学手続きは以下の3つです。

- ① 納付金(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)の納入
- ② 必要書類の提出
 - ・ 出身高等学校卒業証明書
 - ・ 大学入試センター試験受験票の写し(センター試験利用入試手続者のみ)
- ③ 入学宣誓式での署名

詳細につきましては、合格者に対して送付する入学手続き書類で確認してください。

入学手続きについての詳細は、合格者に対して送付する入学手続き書類で確認してください。

入試名(入試区分)		手続き内容	手続き期限
AO入試 / 特別推薦入試		一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2016年12月 1日(木)
専門学科・総合学科特別推薦入試		一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2016年12月 1日(木)
推薦入試A方式		1次手続:入学金	2016年12月 8日(木)
		2次手続:春学期授業料・春学期施設設備費	2017年 1月18日(水)
推薦入試K方式 (入試特待生制度)	特待生合格者	入学金納入および特待生同意書の提出	2017年 1月18日(水)
	一般合格者	一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2017年 1月18日(水)
SA方式	特待生合格者	1次手続:入学金	2017年 2月17日(金)
		2次手続:特待生同意書の提出	2017年 3月17日(金)
SAB方式	一般合格者	1次手続:入学金	2017年 2月17日(金)
		2次手続:春学期授業料・春学期施設設備費	2017年 3月17日(金)
センター試験利用入試CI		1次手続:入学金	2017年 2月17日(金)
		2次手続:春学期授業料・春学期施設設備費	2017年 3月17日(金)
SB方式	特待生合格者	1次手続:入学金	2017年 3月10日(金)
		2次手続:特待生同意書の提出	2017年 3月17日(金)
	一般合格者	1次手続:入学金	2017年 3月10日(金)
		2次手続:春学期授業料・春学期施設設備費	2017年 3月17日(金)
B1方式		1次手続:入学金	2017年 3月10日(金)
センター試験利用入試CII		2次手続:春学期授業料・春学期施設設備費	2017年 3月17日(金)
一般入試後期		一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2017年 3月31日(金)
センター試験利用入試CIII		一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2017年 3月31日(金)
帰国生徒・社会人・国際バカロレア入試(前期)		一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2016年12月 1日(木)
帰国生徒・社会人・国際バカロレア入試(後期)		一括納入(入学金、春学期授業料・春学期施設設備費)	2017年 3月10日(金)

※ 所定の期限までに手続きを完了(本学へ着金、特待生合格者の場合は「特待生同意書」が必着)していない場合は、**いかなる場合も入学資格が得られません。**

(手続き期限当日に入金した場合、送金が翌営業日となることがあり、本学への着金が締切日を超えることになります。この場合、期限遅れとなり、入学資格を失いますので、注意してください。)

納付金の転用制度

本学では、各入試区分毎に手続き時の納付金を転用する制度があります。

①岡山理科大学内での振替制度

①入学手続き後に合格した別の学科に入学を希望する場合

たとえば、推薦入試K方式で第2志望のB学科に合格し入学手続きを行った後に、一般入試で第1志望のA学科に合格した場合、B学科で納めた納付金をA学科に転用することができます。

※所定の期限までに「納付金転用願」の申請が必要になります。

※AO入試、特別推薦入試、専門学科・総合学科特別推薦入試の合格者は専願制ですので、本転用制度の対象外となります。

②1次手続きのみで辞退後、再受験して合格した場合

たとえば、推薦入試A方式で合格後1次手続きは行ったが2次手続きは行わず辞退。その後、一般入試で再受験し合格した場合は、先に手続きをした納付金を転用することができます。

※所定の期限までに「納付金転用願」の申請が必要になります。

※AO入試、特別推薦入試、専門学科・総合学科特別推薦入試の合格者は専願制ですので、本転用制度の対象外となります。

③AO入試で一括手続き完了後、一般入試SA方式で特待生合格した場合

たとえば、AO入試で一括手続きを行った後に、一般入試SA方式で同一学科に特待生合格した場合は、AO入試で納めた入学金をSA方式に転用することができ、期限内に「特待生同意書」の提出があれば2次手続き分の差額が返還されます。

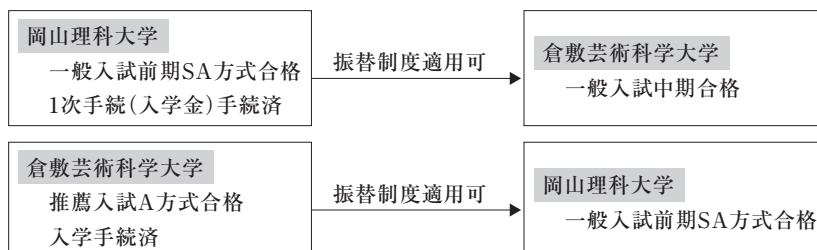
※所定の期限までに「納付金転用願」の申請が必要になります。

②倉敷芸術科学大学との振替制度

加計学園が設置する2大学(岡山理科大学、倉敷芸術科学大学)のいずれかに合格し、入学手続きをして学費を納入した者が、その後の入試で上記の別大学に合格した場合、納めた学費を新たに合格した大学に振り替えることができます。

※対象となる入試は、推薦入試、一般入試、センター試験利用入試です。

例



申請方法、期日等の詳細は、合格者に対して送付する入学手続きの書類をご覧ください。

入学辞退

入学手続き(春学期納付金の納入)を行った後に、やむをえない理由によって入学を辞退する場合、所定の期限(推薦入試は2017年3月17日、一般入試、センター試験利用入試は2017年3月31日)までに「入学辞退届」と「納付金返還申請書」の提出を行ってください。入学手続き時に納付された入学金以外の春学期納付金を返還します。なお、AO入試、特別推薦入試、専門学科・総合学科特別推薦入試は専願制のため、入学辞退は認められません。

詳細は、合格者に対して送付する入学手続きの書類をご覧ください。

注1) 入学手続きを行う場合は、入試区分毎の一括納入期限あるいは1次、2次手続き期限を十分確認の上、手続きを行ってください。

注2) この申請の対象となるのは入学金以外の春学期納付金です。入学金については、返還できません。

納付金

理学部・工学部・総合情報学部・生物地球学部

(単位:円)

	入学年次			2年次以降		
	春学期	秋学期	合計	春学期	秋学期	合計
入学金	220,000		220,000			
授業料	422,500	422,500	845,000	422,500	422,500	845,000
実験実習費		165,000	165,000	82,500	82,500	165,000
(臨床生命科学科) (臨床科学コース3・4年次)				97,500	97,500	195,000
施設設備費	150,000	150,000	300,000	230,000	230,000	460,000
計	792,500	737,500	1,530,000	735,000	735,000	1,470,000
(臨床生命科学科) (臨床科学コース3・4年次)				750,000	750,000	1,500,000

教育学部・経営学部

(単位:円)

	入学年次			2年次以降		
	春学期	秋学期	合計	春学期	秋学期	合計
入学金	220,000		220,000			
授業料	422,500	422,500	845,000	422,500	422,500	845,000
実験実習費		50,000	50,000	25,000	25,000	50,000
施設設備費	42,500	42,500	85,000	122,500	122,500	245,000
計	685,000	515,000	1,200,000	570,000	570,000	1,140,000

- ①入学金は入学年度のみ徴収します。
- ②2年次以降、施設設備費の額が変わります(3年次・4年次は、2年次と同額です)。
- ③教員免許状、博物館学芸員資格および国家試験受験資格等の取得を希望する場合は、学外における実習が必要となります。この実習に必要な費用については、資格の種類や学科により金額が異なりますが、「実習に必要な経費」として、別途徴収します。

入学前教育について

本学では、入学後に充実した学生生活を送れるよう、入学前から大学全体でサポートを行っています。

入学後は、高校までに学習した教科の内容を理解していることを前提に、より高度な内容で授業が展開されます。そこで、本学では、AO入試、特別推薦入試、推薦入試A方式、推薦入試K方式(入試特待生制度)で合格し、入学手続きをされたみなさんに対し、高校から大学へのスムーズな移行を目的として、入学までの期間を利用して「入学前教育」を実施しています。内容は学科によって異なりますが、学力の維持ならびにさらなる向上をはかり、順調に大学生活をスタートできるよう、この「入学前教育」に、熱心に取り組んでください。

詳細については、入学手続き後に送付する「入学前教育のご案内」でご確認ください。

奨学制度

入試特待生制度(入試成績上位合格者 計230名)

推薦入試K方式(入試特待生制度)、一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式では、学業支援を目的とした入試特待生制度を採用しています。全第1志望学科合格者のうち、推薦入試K方式(入試特待生制度)では成績上位者から最大11名、SA方式では成績上位145名、SAB方式では成績上位52名、SB方式では成績上位22名を特待生合格とし、以下の特典が与えられます。入学金は必要です。

特待生の種類	特待生の特典
特待生Ⅰ	入学後の4年間の学費全額(授業料、施設設備費、実験実習費)を免除
特待生Ⅱ	入学後の2年間の学費全額(授業料、施設設備費、実験実習費)を免除
特待生Ⅲ	入学後の1年間の学費全額(授業料、施設設備費、実験実習費)を免除

在学学生特待生制度(2015年度実績105名)

学部2年次以上の学生で、学年別に各学科・専攻から優秀者を選出し、当該年度の授業料の半額を免除します。

岡山理科大学同窓会奨学金(若干名)

原則4年次生対象で、300,000円を貸与します(卒業後の返済が必要です)。

日本学生支援機構奨学金

区分	貸与奨学金		備考
	自宅	自宅外	
第一種	54,000円	64,000円	無利息
	30,000円		
第二種	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円のいずれか		年利3%を上限とする利息付(在学中は無利息)

教育ローン

加計学園教育ローン

本学園には奨学制度の他に、市中金融機関で一般的に取り扱われている教育ローンよりも金利面で優遇された「加計学園教育ローン」があります。

このローンは、三菱東京UFJ銀行と提携した教育ローンで、学費等の納入の際に、最寄りの三菱東京UFJ銀行で申し込むことができます。

主な内容は以下のとおりです。申し込みにあたっては銀行所定の審査がありますので、利用を希望される方は、日程に余裕をもってお申し込みください。

使途	岡山理科大学に納付する学費等
融資金額	納付書の金額(1万円単位)
融資対象者	岡山理科大学に入学・在学する学生の保護者 年収200万円以上・勤続年数3年以上
融資金利	変動金利 3.475%(2016年4月現在)
返済方法	元利均等返済、1年以上10年以内 4年間は据え置き
融資金の振込	三菱東京UFJ銀行に開設された口座に入金
審査期間	2週間程度

教育貸付(国の教育ローン)

株式会社日本政策金融公庫による教育貸付(国の教育ローン)があります。詳しくは最寄りの金融機関にお尋ねください。

ホームページ <http://www.jfc.go.jp/k/>

MEMO

推薦入学試験

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

推薦入学試験の概要と共通事項 ————— 49

特別推薦入試

〈公募制〉特別推薦入試〔専願制〕 ————— 51

〈公募制〉専門学科・総合学科特別推薦入試〔専願制〕 — 53

専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅰ期 — 53

専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅱ期 — 53

推薦入試

推薦入試A方式〔併願制〕 ————— 55

推薦入試K方式(入試特待生制度)〔併願制〕 — 59

推薦入学試験の概要と共通事項

概要

入試日程、制度、選考方法等に応じて以下の種類の推薦入試を実施します。

入試区分		入試日程	専願・併願	評定基準	選考方法	第2志望	入試特待生制度	入学試験会場
特別推薦入試	普通科選抜	11月3日	専願	3.4以上	①書類審査 (調査書・推薦書) ②基礎的な学力試問 ③面接	なし	なし	本学のみ
	特定教科・科目選抜			指定科目について条件あり				
専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅱ期		11月3日	専願	3.7以上		なし	なし	本学のみ
推薦入試A方式		11月19日、20日	併願	条件なし	①調査書 (評定平均値の10倍) ②基礎的な学力試問 (80分2科目、各50点)	なし	なし	15会場
推薦入試K方式 (入試特待生制度)		12月11日	併願	条件なし	①調査書 (評定平均値の10倍) ②学力試問 (60分1科目、200点)	あり	最大11名	16会場

出願資格

いずれも出身高等学校長等が学業、人物ともに優秀と認め推薦する人物が対象ですが、各入試区分によって出願資格が異なります。

出願資格詳細については、各入試のページを参照してください。

募集人員

7ページ参照

選考方法

入試区分	調査書	推薦書	面接	(基礎的な)学力試問
特別推薦入試	○	○	あり	英語、数学、国語から学科が指定した科目
専門・総合特別推薦入試Ⅱ期	○	○	あり	英語、数学、国語から学科が指定した科目
推薦入試A方式	○ 評定平均値を点数化	○	なし	英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、国語から学科が指定した2教科2科目選択
推薦入試K方式 (入試特待生制度)	○ 評定平均値を点数化	○	なし	英語、数学、理科(物理・化学・生物)、国語から学科が指定した1科目選択

学力試問、基礎的な学力試問の範囲

特別推薦入試、専門学科・総合学科特別推薦入試

基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲
数 学	数学I
英 語	コミュニケーション英語I、英語表現I
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)

推薦入試A方式

基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲	基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲
数 学	数学I、数学II、数学A(場合の数と確率、図形の性質)、 数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎
数学I・A	数学I、数学A(場合の数と確率、 図形の性質)	化 学	化学基礎
英 語	コミュニケーション英語I、II、III、 英語表現I、II	生 物	生物基礎
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)		

推薦入試K方式(入試特待生制度)

学力試問の科目	学力試問の範囲	学力試問の科目	学力試問の範囲
数 学	数学I、数学II、数学A(場合の数と確率、 図形の性質)、数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎、物理
英 語	コミュニケーション英語I、II、III、 英語表現I、II	化 学	化学基礎、化学
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)	生 物	生物基礎、生物

基準点

推薦入試A方式、K方式においては、学力試問に基準点を設けています。学力試問の基準点は、各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。

第2志望制度

推薦入試K方式(入試特待生制度)においては、第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格になった場合でも、第2志望学科の記入があれば、その学科で再度判定を行う制度です。また、推薦入試K方式(入試特待生制度)のみ共同で実施する他大学の学科を第2志望として記入することができます。詳細は、61ページを参照ください。

入試会場

	岡 山	倉 敷	銚 子	仙 台	水 戸	長 野	東 京	千 葉	名 古 屋	京 都	大 阪	姫 路	松 江	広 島	福 山	山 口	徳 島	高 松	松 山	高 知	福 岡	那 覇	計	
特別推薦入試	●																							1
専門・総合特別推薦入試	●																							1
推薦入試A方式	●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15
推薦入試K方式(入試特待生制度)	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●				●	●		●	●		16

〈公募制〉特別推薦入試〔専願制〕

概要

公募制の特別推薦入試は、2017年3月高等学校を卒業する現役生を対象とし、高等学校での成績、取得資格、文化活動等の実績に基づき、高等学校長が優秀と認め推薦する志願者を対象とする入学試験です。選抜方法は普通科選抜と特定教科・科目選抜の2種類あります。専願制の入試となりますので、本学を第1志望とし合格した場合は必ず本学に入学することが条件となります。なお、合否結果については、本人および推薦者である学校長宛に通知します。

特別推薦入試の合格者は、入試特待生の権利を得るために、合格した学科に限り、推薦入試K方式（入試特待生制度）、一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式を受験することができます。

出願資格

1. 普通科選抜

高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)の普通科を主とする学科を2017年3月卒業見込みの者で、かつ以下の2つの要件を満たす者。

- ① 本学を専願とし、出身高等学校長等が学業、人物ともに特に優秀であると認め推薦する者。
- ② 調査書の全体の評定平均値が3.4以上の者。

2. 特定教科・科目選抜

高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を2017年3月卒業見込みの者で、かつ以下の2つの要件を満たす者。
高等学校等の在籍学科は問いません。

- ① 本学を専願とし、出身高等学校長等が学業、人物ともに特に優秀であると認め推薦する者。
- ② 志望する学科の指定する教科・科目の条件(下表)を満たす者。

学部	学 科	指定する教科・科目の条件
理 学 部	応 用 数 学 科	数学I、数学II、数学A、数学Bの4科目の評定平均値が4.0以上
	化 学 科	化学基礎、化学のいずれか1科目の評定が4以上
	応 用 物 理 学 科	物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれか1科目の評定が4以上
	基 礎 理 学 科	数学2科目、数学1科目と理科1科目、理科2科目のいずれかで、2科目とも評定が4以上
	生 物 化 学 科	理科と英語の教科のうち、いずれか1科目の評定が4以上
	臨 床 生 命 科 学 科	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語IIの2科目の評定がともに4以上
	動 物 学 科	英語の教科の評定平均値が4.0以上
工 学 部	バイオ・応用化学科	化学基礎を含む、理科と数学の教科のうち2科目の評定平均値が4.0以上
	機械システム工学科	数学の教科の評定平均値が4.0以上、または物理基礎、物理のいずれか1科目の評定が4以上
	電気電子システム学科	数学の教科の評定平均値が4.0以上
	情 報 工 学 科	数学の教科の評定平均値が4.0以上
	知能機械工学科	数学の教科の評定平均値が4.0以上
	生命医療工学科	簿記・会計、数学活用を除く数学、科学と人間生活と理科課題研究を除く理科の教科のうち、1科目の評定が4以上
	建 築 学 科	数学の教科の評定平均値が4.0以上、かつ英語の教科の評定平均値が4.0以上
	工学プロジェクトコース	数学または理科の教科のうち、1科目の評定が4以上
学 部 生 物 地 球	情 報 科 学 科	数学の教科の評定平均値が4.0以上
	生 物 地 球 学 科	地理歴史または英語の評定平均値が4.0以上、かつ理科の教科の1科目の評定が4以上
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	国語の教科の評定平均値が4.0以上
	中等教育学科 国語教育コース	国語の教科の評定平均値が4.0以上
	中等教育学科 英語教育コース	英語の教科の評定平均値が4.0以上
学 部 経 営	経 営 学 科	英語、国語、地理歴史、公民のいずれか1教科の評定平均値が4.0以上

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合格発表	手続締切日
2016年 10月6日(木)～10月20日(木) <10月20日必着>	2016年11月3日(木)	2016年11月9日(水) 午前10時 [41ページ参照]	2016年12月1日(木)

- 受験票の発送
出願書類確認後、10月6日より受験票を発送します。

選考方法

- 書類審査(調査書・推薦書)
- 基礎的な学力試問
- 面接

基礎的な学力試問の科目:以下に示す科目について、筆記による基礎的な学力試問を行います。

学部	学 科	基礎的な学力試問 の科目(30分)	学部	学 科	基礎的な学力試問 の科目(30分)	学部	学 科	基礎的な学力試問 の科目(30分)
理 学 部	応 用 数 学 科	数 学	工 学 部	バイオ・応用化学科	数学・英語	総 合 情 報 生 物 地 球 学 部	情 報 科 学 科	数 学
	化 学 科	数学・英語		機械システム工学科	数学・英語		生 物 地 球 学 科	数学・英語
	応用物理学科	数学・英語		電気電子システム学科	数学・英語		教 育 学 部	初等教育学科
	基礎理学科	数学・英語		情報工学科	数学・英語	中等教育学科 国語教育コース		国語・英語
	生物化学科	数学・英語		知能機械工学科	数学・英語	中等教育学科 英語教育コース		国語・英語
	臨床生命科学科	数学・英語		生命医療工学科	数学・英語	学 部 管 理	経 営 学 科	英 語
	動 物 学 科	数学・英語		建 築 学 科	数学・英語			
				工学プロジェクトコース	数学・英語			

提出書類

- 入学願書(シートNo.1:A票)、
- 写真、
- 調査書、
- 推薦書(特別推薦入試用:巻末綴じ込み) (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (25ページ参照)

出願方法

25～26ページ参照

・願書の記入にあたっては、29～30ページの入学願書(シートNo.1)の記入例および記入方法を参考にしてください。

入試時間割

入室完了	9時00分
基礎的な学力試問	9時30分～10時00分
面 接	基礎的な学力試問終了後、順次実施

基礎的な学力試問の範囲

基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲
数 学	数学I
英 語	コミュニケーション英語I、英語表現I
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)

入試会場

本学会場のみ

〈公募制〉専門学科・総合学科特別推薦入試〔専願制〕

概要

公募制の専門学科・総合学科特別推薦入試は、2017年3月に高等学校を卒業する現役生を対象とし、調査書の全体の評定平均値が3.7以上あり、高等学校長が優秀と認め推薦する志願者を対象とする入学試験です。専願制の入試となりますので、本学を第1志望とし、合格した場合は必ず本学に入学することが条件となります。なお、合否結果については、本人および推薦者である学校長宛に通知します。

本入試は10月実施のⅠ期と11月実施のⅡ期があります。Ⅰ期のエントリー方法、選考方法については「2017年度専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅰ期入学試験エントリー要項」(別冊子)を参照してください。

専門学科・総合学科特別推薦入試の合格者は、入試特待生の権利を得るために、合格した学科に限り、推薦入試K方式(入試特待生制度)、一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式を受験することができます。

専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅰ期

エントリー方法、選考方法等詳細については、別冊子「2017年度専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅰ期入学試験エントリー要項」でご確認ください。

専門学科・総合学科特別推薦入試Ⅱ期

出願資格

高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)の専門学科または総合学科を主とする学科を2017年3月卒業見込みの者で、かつ以下の2つの要件を満たす者。

- ① 本学を専願とし、出身高等学校長等が学業、人物ともに特に優秀であると認め推薦する者。
- ② 調査書の全体の評定平均値が3.7以上の者。

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合格発表	手続締切日
2016年 10月6日(木)～10月20日(木) <10月20日必着>	2016年11月3日(木)	2016年11月9日(水) 午前10時 [41ページ参照]	2016年12月1日(木)

- 受験票の発送
出願書類確認後、10月6日より受験票を発送します。

選考方法

- ① 書類審査(調査書・推薦書)
- ② 基礎的な学力試問
- ③ 面接

基礎的な学力試問の科目:以下に示す科目について、筆記による基礎的な学力試問を行います。

学部	学 科	基礎的な学力試問の科目(30分)	学部	学 科	基礎的な学力試問の科目(30分)	学部	学 科	基礎的な学力試問の科目(30分)
理 学 部	応用数学科	数学	工 学 部	バイオ・応用化学科	数学・英語	学 部 管 理 学 部	情報科学科	数学
	化学科	数学・英語		機械システム工学科	数学・英語		生物地球学科	数学・英語
	応用物理学科	数学・英語		電気電子システム学科	数学・英語		初等教育学科	国語・英語
	基礎理学科	数学・英語		情報工学科	数学・英語		中等教育学科 国語教育コース	国語・英語
	生物化学科	数学・英語		知能機械工学科	数学・英語		中等教育学科 英語教育コース	国語・英語
	臨床生命科学科	数学・英語		生命医療工学科	数学・英語	学 部 管 理 学 部	経 営 学 科	英語
	動物学科	数学・英語		建築学科	数学・英語			
			工学プロジェクトコース	数学・英語				

提出書類

①入学願書(シートNo.1:A票)、②写真、③調査書、④推薦書(特別推薦入試用:巻末綴じ込み) (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (25ページ参照)

出願方法

25～26ページ参照

・願書の記入にあたっては、29～30ページの入学願書(シートNo.1)の記入例および記入方法を参考にしてください。

入試時間割

入室完了	9時00分
基礎的な学力試問	9時30分～10時00分
面接	基礎的な学力試問終了後、順次実施

基礎的な学力試問の範囲

基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲
数 学	数学I
英 語	コミュニケーション英語I、英語表現I
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)

入試会場

本学会場のみ

推薦入試A方式 [併願制]

概要

- ① 推薦入試A方式は、高等学校長が優秀と認め推薦する志願者を対象とし、**全国15会場**で実施する入学試験です。
- ② 推薦入試A方式は**2日間の試験日自由選択制**で、一方の日を受験するだけでなく、2日間連続で受験することも可能です。
- ③ 第2志望制度はありませんが、2日間受験することで異なる学科を志望することも可能です。
- ④ 両日とも受験する場合、入学検定料割引制度が適用されます(2日間受験する場合、調査書・推薦書は各1通で構いません)。
※ 合否結果については、本人および推薦者である学校長宛に通知します。
※ 本入試は併願制(入学は任意)です。入試特待生の権利を得るために、推薦入試K方式(入試特待生制度)、一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式を受験することも可能です。

出願資格

出身高等学校長等が学業、人物ともに優秀であると認め推薦する者で、以下のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者、および2017年3月卒業見込みの者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)、および2017年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者、および2017年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2017年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手続締切日
2016年 10月27日(木)～11月10日(木) <11月10日必着※>	2016年 11月19日(土) 11月20日(日)	2016年 11月28日(月) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2016年 12月8日(木) 2次 2017年 1月18日(水)

※紙出願の場合は、入金完了すべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、10月27日より受験票を発送します。

選考方法

① 出身高等学校の調査書

全体の評定平均値を10倍に点数化します。

② 基礎的な学力試問(80分2科目、各50点)

推薦入試A方式の基礎的な学力試問は、2科目50点の合計100点満点で判定します。学科別の出題科目は、下表の●、○および△で示す通りで、学科の指定する必須科目は●、選択科目は○および△で示してあります。下表の出題科目表の中から2科目選択してください。ただし、△は2科目同時に選択することはできません。

合計150点満点

学 部	学 科	基礎的な学力試問の科目						
		英語	数学	数学I・A	物理	化学	生物	国語
理 学 部	応 用 数 学 科	○	●		○	○	○	
	化 学 科	○	○		△	△	△	
	応用物理学科 物理学専攻	○	○		△	△	△	
	応用物理学科 臨床工学専攻	○	○		△	△	△	
	基 礎 理 学 科	○	○		△	△	△	
	生 物 化 学 科	○	○		△	△	△	
	臨 床 生 命 科 学 科	○	○		△	△	△	
	動 物 学 科	○	○		△	△	△	
工 学 部	バイオ・応用化学科	○	○		△	△	△	
	機械システム工学科	○	○		△	△	△	
	電気電子システム学科	○	○		△	△	△	
	情 報 工 学 科	○	●		○	○	○	
	知能機械工学科	○	○		△	△	△	
	生命医療工学科	○	○		△	△	△	
	建 築 学 科	○	○		△	△	△	
	工学プロジェクトコース	○	○		△	△	△	
総合情報学部	情 報 科 学 科	○	●		○	○	○	
生物地球学部	生 物 地 球 学 科	○	○		△	△	△	○
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	○		○	△	△	△	○
	中等教育学科 国語教育コース	○		○	△	△	△	○
	中等教育学科 英語教育コース	○		○	△	△	△	○
経 営 学 部	経 営 学 科	○		○	△	△	△	○

※選択科目は、試験時に選択します。

提出書類

- ① 入学願書(シートNo.2:A票)もしくはネット出願提出シート、② 写真、③ 調査書、④ 推薦書(推薦入試A方式用:巻末綴じ込み)
(24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27～28ページ参照

紙出願については、31～32ページ参照

提出方法については、26ページ参照

● 出願パターン

推薦入試は以下のパターンで出願することができます。

- ① 推薦入試A方式のみ出願(複数日出願可能)
② 推薦入試A方式と推薦入試K方式(入試特待生制度)の同時出願

※推薦入試K方式(入試特待生制度)を同時出願する場合は、「推薦書(推薦入試K方式(入試特待生制度)用:巻末綴じ込み)」も必要です。

入試時間割

試験室入室完了	9時40分
英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、国語	10時00分～11時20分

基礎的な学力試問の範囲

基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲	基礎的な学力試問の科目	基礎的な学力試問の範囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(場合の数と確率、図形の性質)、 数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎
数学Ⅰ・A	数学Ⅰ、数学A(場合の数と確率、 図形の性質)	化 学	化学基礎
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	生 物	生物基礎
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)		

基準点

推薦入試A方式においては、基礎的な学力試問に基準点を設けています。基礎的な学力試問の基準点は各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。

第2志望制度

本入試では第2志望制度はありません。試験は2日間実施するため、同一学科に2日間出願することも、異なる学科に出願することもできます。

追加合格(転科)

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験者が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡をします。追加合格対象の学科に入学意思がある場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な納付金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

入試会場

会場は、11月19日、20日ともに共通ですが、使用する教室が異なる場合があります。

受験地	会 場 名	受験地	会 場 名
岡 山	岡山理科大学	山 口	YICビジネスアート専門学校
名古屋	TKP名古屋駅前カンファレンスセンター	徳 島	TEC予備校 南昭和本校(サトウ校舎)
京 都	TKPガーデンシティ京都	高 松	穴吹コンピュータカレッジ/ビジネスカレッジ
大 阪	新梅田研修センター	松 山	並木学院高等学校 松山学習センター
姫 路	姫路商工会議所	高 知	土佐塾予備校
松 江	松江予備校	福 岡	福岡商工会議所
広 島	並木学院高等学校	那 覇	沖縄県青年会館
福 山	リッチモンドホテル福山駅前		

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

MEMO

推薦入試K方式(入試特待生制度)[併願制]

概要

- ① 推薦入試K方式(入試特待生制度)は、2011年に50周年を迎えた学校法人加計学園が設置する3大学(岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学)が合同で全国16会場で実施する入学試験で、高等学校長等が優秀と認め推薦する志願者を対象とします。
- ② 第2志望制度を採用しており、本学だけでなく他大学(倉敷芸術科学大学、千葉科学大学)の学科を第2志望学科として出願することができます。
- ③ 入試特待生制度を採用しており、入試特待生(第1志望合格者のうち成績上位者から最大11名)には1年間の学費全額免除の特典が与えられます。特待生合格ラインに達しない場合でも一般合格ラインに達していると一般合格となります。
※合否結果については、本人および推薦者である学校長宛に通知します。
※本入試は併願制(入学は任意)です。また、本入試で特待生合格をする・しないにかかわらず、より上位の入試特待生の権利を得るために、一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式を受験することも可能です。

出願資格

出身高等学校長等が学業、人物ともに優秀であると認め推薦する者で、以下のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者、および2017年3月卒業見込みの者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)、および2017年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者、および2017年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2017年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手続締切日
2016年 11月18日(金)~12月2日(金) <12月2日必着※> 11月19日・20日の推薦入試A方式 と同時に出願する場合は、 10月27日(木)~11月10日(木) <11月10日必着※>	2016年 12月11日(日)	2016年 12月19日(月) 午前10時 [41ページ参照]	2017年 1月18日(水)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

●受験票の発送

出願書類確認後、11月18日より受験票を発送します。ただし、推薦入試A方式と同時出願した場合は、推薦入試A方式の受験票と同時に発送します。

選考方法

① 出身高等学校の調査書

全体の評定平均値を10倍に点数化します。

② 学力試問(60分1科目、200点)

推薦入試K方式の学力試問は、1科目200点満点で判定します。学科別の出題科目は、下表の○で示す通りです。下表の出題科目表の中から1科目選択してください。

合計250点満点

学部	学科	学力試問の科目					
		英語	数学	物理	化学	生物	国語
理学部	応用数学科	○	○	○	○	○	
	化学科	○	○	○	○	○	
	応用物理学科 物理科学専攻	○	○	○	○	○	
	応用物理学科 臨床工学専攻	○	○	○	○	○	
	基礎理学科	○	○	○	○	○	
	生物化学科	○	○	○	○	○	
	臨床生命科学科	○	○	○	○	○	
	動物学科	○	○	○	○	○	
工学部	バイオ・応用化学科	○	○	○	○	○	
	機械システム工学科	○	○	○	○	○	
	電気電子システム学科	○	○	○	○	○	
	情報工学科	○	○	○	○	○	
	知能機械工学科	○	○	○	○	○	
	生命医療工学科	○	○	○	○	○	
	建築学科	○	○	○	○	○	
	工学プロジェクトコース	○	○	○	○	○	
総合情報学部	情報科学科	○	○	○	○	○	
生物地球学部	生物地球学科	○	○	○	○	○	
教育学部	初等教育学科	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 国語教育コース	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 英語教育コース	○	○	○	○	○	○
経営学部	経営学科	○	○	○	○	○	○

※選択科目は、試験時に選択します。

入試特待生の特典

種類	人数	選出方法	特典内容	特典期間
特待生Ⅲ	最大11名	本学の第1志望合格者のうち成績上位者から志願者数の10%以内で、最大11名を選出。	学費全額(授業料・施設設備費・実験実習費)を右記の期間免除。ただし、入学金は除く。 [45ページ参照]	1年間

特待生としてふさわしくない行為があったときは、資格を取り消すことがあります。

提出書類

①入学願書(シートNo.2:A票)もしくはネット出願提出シート、②写真、③調査書、④推薦書(推薦入試K方式(入試特待生制度)用:巻末綴じ込み) (24ページ参照)

他大学(倉敷芸術科学大学、千葉科学大学)の学科を第2志望とする場合は、第2志望学科可否判定申請書

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27~28ページ参照

紙出願については、31~32ページ参照

提出方法については、26ページ参照

●出願パターン

推薦入試K方式(入試特待生制度)は以下のパターンで出願することができます。

①推薦入試K方式(入試特待生制度)のみ出願

②推薦入試K方式(入試特待生制度)と推薦入試A方式の同時出願

※推薦入試A方式と同時出願する場合は、「推薦書(推薦入試A方式用:巻末綴じ込み)」も必要です。

入試時間割

試験室入室完了	9時40分
英語、数学、理科(物理・化学・生物)、国語	10時00分～11時00分

学力試問の範囲

学力試問の科目	学力試問の範囲	学力試問の科目	学力試問の範囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(場合の数と確率、図形の性質)、数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎、物理
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ	化 学	化学基礎、化学
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)	生 物	生物基礎、生物

基準点

推薦入試K方式(入試特待生制度)においては、学力試問に基準点を設けています。学力試問の基準点は配点の10%で、基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。

第2志望制度

この制度は第1志望学科で不合格になった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度合否判定を行う制度です。第2志望学科の判定を志望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。第2志望学科の合否判定には、第1志望学科で受験した試験科目が適用されますので、科目の選択には注意してください。適用できない場合は、第2志望学科は判定できません。

また、共同で実施する他大学の学科を第2志望とする場合は、入学願書の第2志望記入欄に「別紙」と記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は「他大学」を選択)し、本学所定の「第2志望学科合否判定申請書」(巻末もしくは、ホームページからダウンロード)に大学名、学科名を記入し、出願書類とともに提出してください。他大学における第2志望学科での合否判定においても、第1志望学科で受験した試験科目が適用されますので、科目の選択には注意してください。適用できない場合は、第2志望学科の判定はできません。

※千葉科学大学の看護学部看護学科および航空技術危機管理学科(旧名称:工学技術危機管理学科)パイロットコースを第2志望学科とすることはできません。

(「第2志望学科合否判定申請書」を提出し、第2志望学科の判定を受けた場合は、判定を受けた大学の受験として扱います。)

追加合格(転科)

本入試では追加合格(転科)制度を設けています。志望した学科で不合格となった受験者が、他学科(倉敷芸術科学大学、千葉科学大学を含む)の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から追加合格対象者に電話連絡をします。追加合格対象の学科に入学意思がある場合に合格となります。なお、この場合、特待生としての合格はありません。

入試会場

受験地	会 場 名	受験地	会 場 名
岡 山	岡山理科大学	大 阪	新梅田研修センター
仙 台	東北福祉大学仙台駅東口キャンパス	姫 路	姫路商工会議所
水 戸	早稲田予備校 水戸校	倉 敷	倉敷芸術科学大学
銚 子	千葉科学大学(本部キャンパス)	広 島	並木学院高等学校
千 葉	京葉銀行文化プラザ	高 松	高松東急REIホテル
東 京	東京八重洲ホール	松 山	並木学院高等学校 松山学習センター
長 野	長野バスターミナル会館	福 岡	福岡商工会議所
名古屋	安保ホール	那 覇	沖縄県青年会館

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

一般入学試験

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

一般入学試験の概要と共通事項	63
一般入試前期SA方式[3科目型]	67
一般入試前期SAB方式[高得点2科目型]	71
センター試験利用入試C I	75
一般入試前期SB方式[高得点2科目型]	77
一般入試前期B1方式[1科目型]	81
センター試験利用入試C II	85
一般入試後期	87
センター試験利用入試C III	89

※試験名の表記について

本冊子、願書シート上で試験名を下記のように略記する場合があります。

一般入試前期SA方式	→ SA方式
一般入試前期SAB方式	→ SAB方式
一般入試前期SB方式	→ SB方式
一般入試前期B1方式	→ B1方式
一般入試後期	→ 一般後期
センター試験利用入試C I	→ センターC I
センター試験利用入試C II	→ センターC II
センター試験利用入試C III	→ センターC III

一般入学試験の概要と共通事項

概要

入試日程、選考方法、制度等に応じて、以下の種類の入学試験を実施します。

入試区分	入試日程	選考方法	入試待生制度	入学試験会場
一般入試前期SA方式	2月1日、2日	個別学力検査3科目による	145名	26会場
一般入試前期SAB方式	2月3日	個別学力検査必須1科目、選択1科目(選択は高得点科目を採用)による	52名	14会場
センター試験利用入試CI	—	平成29年度大学入試センター試験のうち必須2科目、選択2科目による	なし	—
一般入試前期SB方式	2月19日	個別学力検査必須1科目、選択1科目(選択は高得点科目を採用)による	22名	13会場
一般入試前期B1方式	2月19日	個別学力検査必須1科目による	なし	13会場
センター試験利用入試CII	—	平成29年度大学入試センター試験のうち必須1科目、選択2科目による	なし	—
一般入試後期	3月22日	個別学力検査選択2科目による	なし	9会場
センター試験利用入試CIII	—	平成29年度大学入試センター試験のうち選択2科目による	なし	—

出願資格

以下のいずれか1つを満たす者。

- ① 「高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)」又は「中等教育学校」を2017年3月卒業見込みの者
- ② 「高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)」又は「中等教育学校」を卒業した者
- ③ 「高等専門学校」第3学年を終了した者又は2017年3月修了見込みの者
- ④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2017年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2017年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の高等課程を卒業(修了)した者又は卒業見込み(修了見込み)の者(注1)
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
 - (1) 海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者又は2017年3月卒業見込みの者
 - (2) 国際バカロレア資格取得者(注2)、アビトゥア資格取得者(注3)、バカロレア資格(フランス共和国)資格取得者(注4)
 - (3) 国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者(注5)
 - (4) その他文部科学大臣の指定した者(旧制諸学校出身者等)(注6)
- ⑧ 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者
- ⑨ 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者

*科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、高等学校等で2017年3月31日までに修得見込みの者
- ⑩ 平成28年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
- ⑪ いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者)であって、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑫ 本学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者

(注1) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2017年3月31日までに修了見込みの者

(注2) 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で2017年3月31日までに18歳に達する者

(注3) ドイツ連邦共和国において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で2017年3月31日までに18歳に達する者

(注4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で2017年3月31日までに18歳に達する者

(注5) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は2017年3月31日までに修了見込みの者で、2017年3月31日までに18歳に達する者

(注6) 旧制の諸学校の出身者や小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和23年文部省告示第47号に指定された者

※センター試験利用入試は平成29年度大学入試センター試験の成績を利用します。過年度の成績は利用できません。

※上記の④の出願資格により出願した場合は、入学の際に経費支弁関係の書類を追加で提出いただけます。

詳細は出願の前に入試広報部までお問い合わせください。(TEL:086-256-8415)

※⑫の入学資格審査については、24ページを参照してください。

募集人員

7ページ参照

出題科目

各入試個別学力検査の出題科目は下記のとおりです。

入試区分	英語	数学	数学I・A	物理	化学	生物	地学	数Ⅲ	国語	日本史	世界史	地理	現社
一般入試前期SA方式	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
一般入試前期SAB方式	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
一般入試前期SB方式	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
一般入試前期B1方式	○	○		○	○	○			○				
一般入試後期	○	○	○	○	○	○			○				

※必須科目の指定、選択の可否は学科によって異なります。

※センター試験利用入試は本学独自の試験は課しません。

一般入試の出題範囲

一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式、B1方式、一般入試後期の出題範囲は次のとおりです。

試験科目	出題範囲	試験科目	出題範囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎、物理
		化 学	化学基礎、化学
数学I・A	数学Ⅰ、数学A	生 物	生物基礎、生物
数学Ⅲ	数学Ⅲ	地 学	地学基礎、地学
		日本史	日本史B
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	世界史	世界史B
		地 理	地理B
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)※	現代社会	現代社会

※一般入試前期SA方式、SAB方式、SB方式、B1方式においては、文系学部(教育学部/経営学部)は古文を出題範囲に含みます。

基準点

SA方式、SAB方式、SB方式、B1方式、一般後期においては、基準点を設けています。基準点は各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。ただし、SAB方式、SB方式で選択科目を2科目受験した場合は、高得点の科目の得点が基準点を上回っていれば問題はありません。

第2志望制度

SA方式、SAB方式、SB方式、B1方式、一般後期には第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格となった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度合格の判定を行う制度です。第2志望学科の判定を希望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。記入(選択)のない場合は、第1志望のみとなります。

第2志望学科の判定を受けるには、第2志望学科が指定している試験科目を受験していることが条件となります。出願後の学科追加・変更はできません。

なお、文系学部と理系学部との第2志望の組み合わせはできません。(26ページ参照)

入試会場

岡山以外の受験地では、同じ受験地名でも、入試区分(方式)および日程によって、入試会場が異なる場合があります。詳細を各入試のページで確認し、会場を間違えないようにしてください。

●は実施、－は実施しない

受験地	SA方式	SAB方式	SB方式・B1方式	一般後期
岡山	●	●	●	●
銚子	－	－	－	●
仙台	－	－	－	●
東京	●	●	●	●
金沢	●	－	－	－
静岡	●	－	－	－
名古屋	●	●	●	●
京都	●	●	●	－
大阪	●	●	●	●
神戸	●	●	－	－
姫路	●	●	●	－
豊岡	●	－	－	－
鳥取	●	－	－	－
松江	●	●	－	－
広島	●	●	●	●
福山	●	●	●	－
山口	●	－	－	－
徳島	●	－	●	－
高松	●	●	●	●
松山	●	●	●	－
高知	●	－	－	－
小倉	－	－	●	－
福岡	●	●	●	●
長崎	●	－	－	－
熊本	●	－	－	－
大分	●	－	－	－
宮崎	●	－	－	－
鹿児島	●	－	－	－
那覇	●	●	－	－
	26会場	14会場	13会場	9会場

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

MEMO

一般入試前期SA方式[3科目型]

概要

- ①SA方式は、本学で募集人員の最も多い入試です。
- ②3科目型の試験で、全国26会場において実施します。
- ③2日間の試験日自由選択制で、一方の日を受験するだけでなく、2日間連続で同じ学科を受験することも、異なる学科を受験することも可能です。
- ④SA方式は、2月3日に実施するSAB方式との併願も可能です。
- ⑤SA方式では、第1志望成績上位の合格者145名には、学業支援を目的とした入試特待生の特典が与えられます。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手 続 締 切 日
2017年 1月5日(木)～1月19日(木) <1月19日必着※>	2017年2月1日(水) 2月2日(木)	2017年2月10日(金) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2017年2月17日(金) 2次 2017年3月17日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、1月5日より受験票を発送します。

選考方法

個別学力検査3教科3科目で判定(各科目100点満点の3科目、計300点満点で判定)

学科別の出題科目は、下表の●で示す通りです。それぞれの時間の中で複数科目に●がついている場合は、そのうちから1科目のみ選択してください。

学部	試験科目 学科	1時間目 (90分)		2時間目 (60分)	3時間目 (60分)					4時間目 (60分)			
		数 学	地 理	英 語	物 理	化 学	生 物	地 学	国 語	日本史	世界史	現代社会	数学I・A
理学部	応用数学科	●		●	●	●	●	●					
	化学科	●		●	●	●	●	●					
	応用物理学科 物理学専攻	●		●	●	●	●	●					
	応用物理学科 臨床工学専攻	●		●	●	●	●	●					
	基礎理学科	●		●	●	●	●	●					
	生物化学科	●		●	●	●	●	●					
	臨床生命学科	●		●	●	●	●	●					
動物学科	●		●	●	●	●	●						
工学部	バイオ・応用化学科	●		●	●	●	●	●					
	機械システム工学科	●		●	●	●	●	●					
	電気電子システム工学科	●		●	●	●	●	●					
	情報工学科	●		●	●	●	●	●					
	知能機械工学科	●		●	●	●	●	●					
	生命医療工学科	●		●	●	●	●	●					
	建築学科	●		●	●	●	●	●					
	工学プロジェクトコース	●		●	●	●	●	●					
総合情報学部	情報科学科	●		●	●	●	●	●					
生物地球学部	生物地球学科	●	●	●	●	●	●	●					
教育学部	初等教育学科			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	中等教育学科 国語教育コース			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	中等教育学科 英語教育コース			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
経営学部	経営学科			●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※選択科目は、試験時に選択します。

出題範囲

試験科目	出題範囲	試験科目	出題範囲
数 学	数学I、数学II、数学A、 数学B(数列、ベクトル)	生 物	生物基礎、生物
		地 学	地学基礎、地学
数学I・A	数学I、数学A	日本史	日本史B
英 語	コミュニケーション英語I、II、III、 英語表現I、II	世界史	世界史B
		国 語	国語総合(古文、漢文を除く)※
物 理	物理基礎、物理	地 理	地理B
化 学	化学基礎、化学	現代社会	現代社会

※文系学部(教育学部、経営学部)は古文を出題範囲に含みます。

入試特待生の特典

種類	人数※	選出方法	特典内容	特典期間
特待生Ⅰ	29名	・人数は2日間・全学部合計数。 ・入試日に応じて、第1志望成績上位合格者から理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/生物地球学部)、文系学部(教育学部/経営学部)それぞれに選出。	学費全額(授業料・施設設備費・実験実習費)を右記の期間免除。ただし、入学金は除く。 [45ページ参照]	4年間
特待生Ⅱ	69名			2年間
特待生Ⅲ	47名			1年間

※理系学部と文系学部では出題科目が異なることから、各特待生の採用人数は理系学部と文系学部の受験者数の比率で按分し算出します。

学業成績が著しく低下したとき、特待生としてふさわしくない行為があったときは、資格を取り消すことがあります。

提出書類

- ①入学願書(シートNo.3:A票)もしくはネット出願提出シート、②写真、③調査書 (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27～28ページ参照

紙出願については、33～34ページ参照

提出方法については、26ページ参照

●出願パターン

SA方式は以下のパターンで出願することができます。

- ①SA方式のみ出願(複数日出願可能)
- ②SA方式とSAB方式の同時出願
- ③SA方式とセンターC Iの同時出願
- ④SA方式とSAB方式とセンターC Iの同時出願

入試時間割

試験室入室完了		9時30分
1時間目	数学、地理	9時50分～11時20分
試験室入室完了		12時10分
2時間目	英語	12時30分～13時30分
3時間目	物理、化学、生物、地学、国語	14時00分～15時00分
4時間目	日本史、世界史、現代社会、数学I・A	15時30分～16時30分

基準点

SA方式においては、基準点を設けています。基準点は各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。

第2志望制度

SA方式においては第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格となった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度合格の判定を行う制度です。第2志望学科の判定を希望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。記入(選択)のない場合は、第1志望のみとなります。

第2志望学科の判定を受けるには、第2志望学科が指定している試験科目を受験していることが条件となります。出願後の学科追加・変更はできません。

なお、文系学部と理系学部との第2志望の組み合わせはできません。(26ページ参照)

追加合格(転科)

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験生が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡を行います。追加合格対象の学科に入学意思を示した場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な納付金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

入試会場

会場は2月1日、2日ともに共通ですが、使用する教室が異なる場合があります。

また、SAB方式と同時出願する場合は、受験地にも注意してください。

受験地	会場名	受験地	会場名
岡山	岡山理科大学	福山	福山商工会議所
東京	東京八重洲ホール	山口	YICビジネスアート専門学校
金沢	金沢育英センター 金沢本部校	徳島	TEC予備校 南昭和本校(サトウ校舎)
静岡	ニッセイ静岡駅前ビル	高松	高松東急REIホテル
名古屋	河合塾名駅キャンパス	松山	愛媛県林業会館
京都	コープ.イン.京都	高知	土佐塾予備校
大阪	新梅田研修センター	福岡	福岡商工会議所
神戸	スペースアルファ三宮	長崎	NBCソシア別館
姫路	姫路商工会議所	熊本	TKPガーデンシティ熊本
豊岡	但馬地域地場産業振興センター	大分	府内学園
鳥取	ホテルモナーク鳥取	宮崎	宮崎市民プラザ
松江	松江テルサ	鹿児島	サンプラザ天文館
広島	広島YMCA 国際文化センター	那覇	沖縄県青年会館

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

一般入試前期SAB方式[高得点2科目型]

概要

- ① SAB方式は、2科目型の入学試験で、全国14会場において実施します。
- ② 試験時間割は4時間制で、最大で3科目の受験が可能ですが、合否判定は、必須科目1科目と選択科目1科目の2科目の合計点で行います。
- ③ 3科目をすべて受験した場合、受験した2科目の選択科目のうち高得点の科目を合否判定に採用します。
- ④ SAB方式は、2月1日、2日に実施するSA方式との併願も可能です。
- ⑤ また、SAB方式では、第1志望成績上位の合格者52名に、学業支援を目的とした入試特待生の特典が与えられます。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手続締切日
2017年 1月5日(木)～1月19日(木) <1月19日必着※>	2017年2月3日(金)	2017年2月10日(金) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2017年2月17日(金) 2次 2017年3月17日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、1月5日より受験票を発送します。

選考方法

個別学力検査必須1科目と選択1科目の2科目で判定(各科目100点満点の2科目、計200点満点で判定)
 学科別の出題科目は、下表の●および○で示すとおりで、学科の指定する必須科目(選択必須含む)は●、選択科目は○で示してあります。判定には、必須科目(選択必須含む)1科目と選択科目1科目以上の受験が必要で、3時間とも受験した場合は必須科目(選択必須含む)1科目と受験した選択科目2科目のうち高得点の1科目で判定します。
 それぞれの時間の中で複数科目に●または○がついている場合は、そのうちから1科目のみ選択してください。

学部	試験科目 学科	1時間目 (90分)		2時間目 (60分)		3時間目 (60分)				4時間目 (60分)			
		数 学	地 理	英 語	数 学 Ⅲ	物 理	化 学	生 物	国 語	日 本 史	世 界 史	現 代 社 会	数 学 Ⅰ A
理学部	応用数学科	●		○	○	○	○	○	○				
	化学科	○		○	○	●	●	●					
	応用物理学科 物理科学専攻	○		○	○	●	●	●					
	応用物理学科 臨床工学専攻	○		○	○	●	●	●					
	基礎理学科	○		○	○	●	●	●					
	生物化学科	○		○	○	●	●	●					
	臨床生命学科	○		○	○	●	●	●					
動物学科	○		○	○	●	●	●						
工学部	バイオ・応用化学科	○		○	○	●	●	●					
	機械システム工学科	○		○	○	●	●	●					
	電気電子システム学科	○		○	○	●	●	●					
	情報工学科	●		○	○	○	○	○	○				
	知能機械工学科	○		○	○	●	●	●					
	生命医療工学科	○		○	○	●	●	●					
	建築学科	○		○	○	●	●	●					
工学プロジェクトコース	○		○	○	●	●	●						
総合情報学部	情報科学科	●		○	○	○	○	○	○				
生物地球学部	生物地球学科	○	○	○	○	●	●	●	●				
教育学部	初等教育学科			●		○	○	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 国語教育コース			○					●	○	○	○	○
	中等教育学科 英語教育コース			●		○	○	○	○	○	○	○	○
経営学部	経営学科			●		○	○	○	○	○	○	○	○

※選択科目は、試験時に選択します。

出題範囲

試験科目	出題範囲	試験科目	出題範囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトル)	化 学	化学基礎、化学
		生 物	生物基礎、生物
数学Ⅰ・A	数学Ⅰ、数学A	日本史	日本史B
数 学 Ⅲ	数学Ⅲ	世界史	世界史B
		地 理	地理B
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	現代社会	現代社会
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)※		
物 理	物理基礎、物理		

※文系学部(教育学部、経営学部)は古文を出題範囲に含みます。

入試特待生の特典

種類	人数※	選出方法	特典内容	特典期間
特待生Ⅰ	6名	第1志望成績上位合格者から理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/生物地球学部)、文系学部(教育学部/経営学部)それぞれに選出。	学費全額(授業料・施設設備費・実験実習費)を右記の期間免除。ただし、入学金は除く。 [45ページ参照]	4年間
特待生Ⅱ	23名			2年間
特待生Ⅲ	23名			1年間

※理系学部と文系学部では出題科目が異なることから、各特待生の採用人数は理系学部と文系学部の受験者数の比率で按分し算出します。

学業成績が著しく低下したとき、特待生としてふさわしくない行為があったときは、資格を取り消すことがあります。

提出書類

- ① 入学願書(シートNo.3:A票)もしくはネット出願提出シート、② 写真、③ 調査書 (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については27～28ページ参照

紙出願については33～34ページ参照

提出方法については26ページ参照

●出願パターン

SAB方式は以下のパターンで出願することができます。

- ① SAB方式のみ出願
- ② SAB方式とSA方式の同時出願
- ③ SAB方式とセンターC I の同時出願
- ④ SAB方式とSA方式とセンターC I の同時出願

入試時間割

試験室入室完了		9時30分	
1時間目	数学、地理	9時50分～11時20分	
試験室入室完了		12時10分	2時間目から初めて受験する場合は、1時間目終了から12時10分までに入室を完了してください。
2時間目	英語、数学Ⅲ	12時30分～13時30分	
試験室入室完了		13時45分	3時間目から初めて受験する場合は、2時間目終了から13時45分までに入室を完了してください。
3時間目	物理、化学、生物、国語	14時00分～15時00分	
4時間目	日本史、世界史、現代社会、数学Ⅰ・A	15時30分～16時30分	

基準点

SAB方式においては、基準点を設けています。基準点は各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。ただし、選択科目を2科目受験した場合は、高得点の科目の得点が基準点を上回っていれば問題はありせん。

第2志望制度

SAB方式においては第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格となった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度合格の判定を行う制度です。第2志望学科の判定を希望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。記入(選択)のない場合は、第1志望のみとなります。

第2志望学科の判定を受けるには、第2志望学科が指定している試験科目を受験していることが条件となります。出願後の学科追加・変更はできません。

なお、文系学部と理系学部との第2志望の組み合わせはできません。(26ページ参照)

追加合格(転科)

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験生が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡を行います。追加合格対象の学科に入学意思を示した場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な学納金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

入試会場

SA方式と同時出願する場合は受験地に注意してください。

受験地	会場名	受験地	会場名
岡山	岡山理科大学	松江	松江テルサ
東京	東京八重洲ホール	広島	広島YMCA 国際文化センター
名古屋	河合塾名駅キャンパス	福山	福山商工会議所
京都	コープ.イン.京都	高松	高松東急REIホテル
大阪	新梅田研修センター	松山	愛媛県林業会館
神戸	スペースアルファ三宮	福岡	福岡商工会議所
姫路	姫路商工会議所	那覇	沖縄県青年会館

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

センター試験利用入試C I

概要

- ①センター試験利用入試CIは、平成29年度大学入試センター試験の得点を利用した入試で本学独自の個別学力検査は課しません。
- ②このうち、学科が指定する必須2科目と選択2科目の合計4科目を利用して判定します。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合格発表	手続締切日
2017年 1月5日(木)～1月19日(木) <1月19日必着※>	本学独自の試験は 実施しません。	2017年2月10日(金) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2017年2月17日(金) 2次 2017年3月17日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、1月5日より受験票を発送します。

選考方法

本学独自の個別学力検査を課さず、下表に示す平成29年度大学入試センター試験の出題科目から、各学科で指定した必須2科目と選択2科目の合計4科目により判定します。(各科目200点満点の4科目、計800点満点で判定)

CI (4科目型 必須2+選択2)

●:必須科目、◎:選択必須科目、○:選択科目

学部	学科	数 学						理 科 ①				理 科 ②				地 理 歴 史			公 民				
		数 学 I	数 学 I A	数 学 II	数 学 II B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	国 語	日 本 史 B	世 界 史 B	地 理 B	現 代 社 会	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済
理 学 部	応 用 数 学 科	●		●							○	○	○	○	○	○							
	化 学 科	○		○						○	○	●	○	○	○	○							
	応用物理学 物理科学専攻	○		○						○	○	○	○	○	○	○							
	応用物理学 臨床工学専攻	○		○						○	○	○	○	○	○	○							
	基 礎 理 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○							
	生 物 化 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	●							
	臨 床 生 命 科 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○	●						
動 物 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○	●							
工 学 部	バイオ・応用化学科	○		○						○	○	○	○	○	○	○							
	機械システム工学科	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	●							
	電気電子システム工学科	○		○						○	○	○	○	○	○	●							
	情 報 工 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	●							
	知 能 機 械 工 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	●							
	生 命 医 療 工 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○							
	建 築 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○	●						
工学プロジェクトコース	○		○						○	○	○	○	○	○	○	●							
総合情報学部	情 報 科 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○	●						
生物地球学部	生 物 地 球 学 科	○		○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 国語教育コース	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 英語教育コース	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経営学部	経 営 学 科	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 1)「理科」の科目のうち、基礎を付した科目①については、大学入試センター試験で解答した2科目の得点を合わせて、1科目として扱います。
- 2)教育学部 中等教育学科 国語教育コースの「国語」は古文を含みます。

【注意事項】

- ・平成29年度大学入試センター試験の成績により判定します。過年度の成績は利用できません。
- ・100点満点の科目は200点満点に換算します。
- ・教育学部 中等教育学科 国語教育コースの「国語」は近代以降の文章および古文を200点満点に換算します。その他の学科・コースは近代以降の文章(古文・漢文を除く)のみを200点満点に換算します。
- ・英語は筆記の得点(200点満点)のみを利用します。

【判定科目について】

- ① 「●必須科目」については、志望学科の指定した科目を必ず受験している必要があります。
- ② 「◎選択必須科目」については、志望学科の指定した各教科(数学、理科)ごとに、その中の最高得点の1科目を「●必須科目」の扱いとし、残りの科目は「○選択科目」の扱いとします。
- ③ 「○選択科目」については、「◎選択必須科目」で「○選択科目」に扱われた科目と合わせて、2科目以上受験している必要があります。3科目以上受験している場合は、高得点の2科目を採用します。

提出書類

- ① 入学願書(シートNo.3:A票)もしくはネット出願提出シート、② 写真、③ 調査書、④ 平成29年度センター試験成績請求票 (24ページ参照)

入学検定料

20,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27～28ページ参照

紙出願については、33～34ページ参照

提出方法については、26ページ参照

●出願パターン

センターC Iは以下のパターンで出願することができます。

- ① センターC Iのみ出願(複数学科出願可能)
- ② センターC IとSA方式の同時出願
- ③ センターC IとSAB方式の同時出願
- ④ センターC IとSA方式とSAB方式の同時出願

第2志望制度

第2志望制度はありませんが、複数の学科に同時出願できます。

一般入試前期SB方式 [高得点2科目型]

概要

- ①SB方式は、2科目型の入学試験で、全国13会場において実施します。
- ②試験時間割は4時間制で、最大で3科目の受験が可能ですが、合否判定は、必須科目1科目と選択科目1科目の2科目の合計点で行います。
- ③3科目をすべて受験した場合、受験した2科目の選択科目のうち高得点の科目を合否判定に採用します。
- ④SB方式は、1科目型のB1方式と同日、同会場、同一問題で実施します。B1方式との併願も可能です。
- ⑤SB方式では第1志望成績上位の合格者22名には、学業支援を目的とした入試特待生の特典が与えられます。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手 続 締 切 日
2017年 1月5日(木)～2月10日(金) <2月10日必着※>	2017年2月19日(日)	2017年2月27日(月) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2017年3月10日(金) 2次 2017年3月17日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

●受験票の発送

出願書類確認後、2月6日より受験票を発送します。

選考方法

個別学力検査必須1科目と選択1科目の2科目で判定(各科目100点満点の2科目、計200点満点で判定)

学科別の出題科目は、下表の●および○で示すとおりで、学科の指定する必須科目(選択必須含む)は●、選択科目は○で示してあります。判定には、必須科目(選択必須含む)1科目と選択科目1科目以上の受験が必要で、3時間とも受験した場合は必須科目(選択必須含む)1科目と受験した選択科目2科目のうち高得点の1科目で判定します。

それぞれの時間の中で複数科目に●または○がついている場合は、そのうちから1科目のみ選択してください。

学部	試験科目 学科	1時間目 (90分)		2時間目 (60分)		3時間目 (60分)				4時間目 (60分)			
		数 学	地 理	英 語	数 学 Ⅲ	物 理	化 学	生 物	国 語	日 本 史	世 界 史	現 代 社 会	数 学 Ⅰ A
理学部	応用数学科	●		○	○	○	○	○	○				
	化学科	○		○	○	●	●	●					
	応用物理学科 物理科学専攻	○		○	○	●	●	●					
	応用物理学科 臨床工学専攻	○		○	○	●	●	●					
	基礎理学科	○		○	○	●	●	●					
	生物化学科	○		○	○	●	●	●					
	臨床生命科学科	○		○	○	●	●	●					
動物学科	○		○	○	●	●	●						
工学部	バイオ・応用化学科	○		○	○	●	●	●					
	機械システム工学科	○		○	○	●	●	●					
	電気電子システム学科	○		○	○	●	●	●					
	情報工学科	●		○	○	○	○	○	○				
	知能機械工学科	○		○	○	●	●	●					
	生命医療工学科	○		○	○	●	●	●					
	建築学科	○		○	○	●	●	●					
工学プロジェクトコース	○		○	○	●	●	●						
総合情報学部	情報科学科	●		○	○	○	○	○	○				
生物地球学部	生物地球学科	○	○	○	○	●	●	●	●				
教育学部	初等教育学科			●		○	○	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 国語教育コース			○					●	○	○	○	○
	中等教育学科 英語教育コース			●		○	○	○	○	○	○	○	○
経営学部	経営学科			●		○	○	○	○	○	○	○	○

※選択科目は、試験時に選択します。

出題範囲

試験科目	出題範囲	試験科目	出題範囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトル)	化 学	化学基礎、化学
		生 物	生物基礎、生物
数学Ⅰ・A	数学Ⅰ、数学A	日本史	日本史B
数 学 Ⅲ	数学Ⅲ	世界史	世界史B
		地 理	地理B
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	現代社会	現代社会
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)※		
物 理	物理基礎、物理		

※文系学部(教育学部、経営学部)は古文を出題範囲に含みます。

入試特待生の特典

特待生Ⅱ、Ⅲともに、理系学部では理系学部第1志望合格者全体の成績上位30位以内であること、文系学部では文系学部第1志望合格者全体の成績上位6位以内であることが選出条件となります。

また、1つの学科から選出する特待生Ⅱ、Ⅲの合計数は理系学部では3名以内、文系学部では2名以内とします。

種類	人数※	選出方法	特典内容	特典期間
特待生Ⅱ	11名	第1志望合格者で各学科(またはコース)の最高得点者から理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/生物地球学部)、文系学部(教育学部/経営学部)それぞれに選出。	学費全額(授業料・施設設備費・実験実習費)を右記の期間免除。ただし、入学金は除く。 [45ページ参照]	2年間
特待生Ⅲ	11名	上記以外の第1志望合格者で各学科(またはコース)の最高得点者とその他成績上位合格者から理系学部(理学部/工学部/総合情報学部/生物地球学部)、文系学部(教育学部/経営学部)それぞれに選出。		1年間

※理系学部と文系学部では出題科目が異なることから、各特待生の採用人数は理系学部と文系学部の受験者数の比率で按分し算出します。

学業成績が著しく低下したとき、特待生としてふさわしくない行為があったときは、資格を取り消すことがあります。

提出書類

- 1 入学願書(シートNo.4:A票)もしくはインターネット出願提出シート、
- 2 写真、
- 3 調査書 (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については27～28ページ参照

紙出願については35～36ページ参照

提出方法については26ページ参照

●出願パターン

SB方式は以下のパターンで出願することができます。

- ①SB方式のみ出願
- ②SB方式とB1方式の同時出願
- ③SB方式とセンターCⅡの同時出願
- ④SB方式とB1方式とセンターCⅡの同時出願

入試時間割

試験室入室完了		9時30分
1時間目	数学、地理	9時50分～11時20分
試験室入室完了		12時10分
2時間目	英語、数学Ⅲ	12時30分～13時30分
試験室入室完了		13時45分
3時間目	物理、化学、生物、国語	14時00分～15時00分
4時間目	日本史、世界史、現代社会、数学I・A	15時30分～16時30分

2時間目から初めて受験する場合は、1時間目終了から12時10分までに入室を完了してください。

3時間目から初めて受験する場合は、2時間目終了から13時45分までに入室を完了してください。

基準点

SB方式においては、基準点を設けています。基準点は各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。ただし、選択科目を2科目受験した場合は、高得点の科目の得点が基準点を上回っていれば問題はありません。

第2志望制度

SB方式においては第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格となった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度合否の判定を行う制度です。第2志望学科の判定を希望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。記入(選択)のない場合は、第1志望のみとなります。

第2志望学科の判定を受けるには、第2志望学科が指定している試験科目を受験していることが条件となります。

出願後の学科追加・変更はできません。

なお、文系学部と理系学部との第2志望の組み合わせはできません。(26ページ参照)

追加合格(転科)

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験生が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡を行います。追加合格対象の学科に入学意思を示した場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な納付金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

入試会場

受験地	会場名	受験地	会場名
岡山	岡山理科大学	福山	福山商工会議所
東京	東京八重洲ホール	徳島	TEC予備校 南昭和本校(サトウ校舎)
名古屋	安保ホール	高松	高松東急REIホテル
京都	コープ.イン.京都	松山	並木学院高等学校 松山学習センター
大阪	天満研修センター	小倉	小倉興産KMMビル
姫路	姫路商工会議所	福岡	福岡商工会議所
広島	広島YMCA 国際文化センター		

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

一般入試前期B1方式[1科目型]

概要

- ①B1方式は、1科目型の入学試験で、全国13会場において実施します。
- ②合否判定は、志願した学科の指定する1科目で行います。
- ③2科目型のSB方式と同日、同会場、同一問題で実施します。SB方式との併願も可能です。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手 続 締 切 日
2017年 1月5日(木)～2月10日(金) <2月10日必着※>	2017年2月19日(日)	2017年2月27日(月) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2017年3月10日(金) 2次 2017年3月17日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

●受験票の発送

出願書類確認後、2月6日より受験票を発送します。

選考方法

個別学力検査1科目で判定(1科目100点満点で判定)

学科の指定科目により時間が異なりますので、十分確認して受験してください。

学科別の出題科目は、下表の●で示すとおりです。判定には、必須科目(選択必須含む)1科目の受験が必要です。

それぞれの時間の中で複数科目に●がついている場合は、そのうちから1科目のみ選択してください。

学部	試験科目 学科	1時間目 (90分)		2時間目 (60分)		3時間目 (60分)			
		数 学	地 理	英 語	数 学 Ⅲ	物 理	化 学	生 物	国 語
理学部	応用数学科	●							
	化学科					●	●	●	
	応用物理学科 物理学専攻					●	●	●	
	応用物理学科 臨床工学専攻					●	●	●	
	基礎理学科					●	●	●	
	生物化学科					●	●	●	
	臨床生命科学科					●	●	●	
工学部	動物学科					●	●	●	
	バイオ・応用化学科					●	●	●	
	機械システム工学科					●	●	●	
	電気電子システム学科					●	●	●	
	情報工学科	●							
	知能機械工学科					●	●	●	
	生命医療工学科					●	●	●	
	建築学科					●	●	●	
工学プロジェクトコース					●	●	●		
総合情報学部	情報科学科	●							
生物地球学部	生物地球学科					●	●	●	
教育学部	初等教育学科			●					
	中等教育学科 国語教育コース								●
	中等教育学科 英語教育コース			●					
経営学部	経営学科			●					

※選択科目は、試験時に選択します。

出題範囲

試験科目	出題範囲	試験科目	出題範囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎、物理
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	化 学	化学基礎、化学
国 語	国語総合(漢文を除く)	生 物	生物基礎、生物

提出書類

- ① 入学願書(シートNo.4:A票)もしくはネット出願提出シート、② 調査書 (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については27～28ページ参照

紙出願については35～36ページ参照

提出方法については26ページ参照

●出願パターン

B1方式は以下のパターンで出願することができます。

- ① B1方式のみ出願
- ② B1方式とSB方式の同時出願
- ③ B1方式とセンターC IIの同時出願
- ④ B1方式とSB方式とセンターC IIの同時出願

入試時間割

	試験室入室完了	9時30分	
1時間目	数学	9時50分～11時20分	
	試験室入室完了	12時10分	
2時間目	英語	12時30分～13時30分	2時間目を受験する場合は、1時間目終了から12時10分までに入室を完了してください。
	試験室入室完了	13時45分	
3時間目	物理、化学、生物、国語	14時00分～15時00分	3時間目を受験する場合は、2時間目終了から13時45分までに入室を完了してください。

基準点

B1方式においては、基準点を設けています。基準点は各科目とも配点の10%で、基準点未満であれば、不合格となります。

第2志望制度

B1方式においては第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格となった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度可否の判定を行う制度です。第2志望学科の判定を希望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。記入(選択)のない場合は、第1志望のみとなります。

第2志望学科の判定を受けるには、第2志望学科が指定している試験科目を受験していることが条件となります。

なお、文系学部と理系学部との第2志望の組み合わせはできません。(26ページ参照)

追加合格(転科)

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験生が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡を行います。追加合格対象の学科に入学意思を示した場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な納付金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

入試会場

受験地	会場名	受験地	会場名
岡山	岡山理科大学	福山	福山商工会議所
東京	東京八重洲ホール	徳島	TEC予備校 南昭和本校(サトウ校舎)
名古屋	安保ホール	高松	高松東急REIホテル
京都	コープ.イン.京都	松山	並木学院高等学校 松山学習センター
大阪	天満研修センター	小倉	小倉興産KMMビル
姫路	姫路商工会議所	福岡	福岡商工会議所
広島	広島YMCA 国際文化センター		

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

センター試験利用入試CⅡ

概要

- ①センター試験利用入試CⅡは、平成29年度大学入試センター試験の得点を利用した入試で本学独自の個別学力検査は課しません。
- ②このうち、学科が指定する必須1科目と選択2科目の合計3科目を利用して判定します。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合格発表	手続締切日
2017年 1月5日(木)～2月10日(金) <2月10日必着※>	本学独自の試験は 実施しません。	2017年2月27日(月) 午前10時 [41ページ参照]	1次 2017年3月10日(金) 2次 2017年3月17日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、2月6日より受験票を発送します。

選考方法

本学独自の個別学力検査を課さず、下表に示す平成29年度大学入試センター試験の出題科目から、各学科で指定した必須1科目と選択2科目の合計3科目により判定します。(各科目200点満点の3科目、計600点満点で判定)

CⅡ (3科目型 必須1+選択2)

●:必須科目、◎:選択必須科目、○:選択科目

学部	学科	数 学						理 科 ①				理 科 ②				地 理 歴 史			公 民					
		数 学 I	数 学 I A	数 学 I I	数 学 I I B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	国 語	日 本 史 B	世 界 史 B	地 理 B	現 代 社 会	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	
理 学 部	応 用 数 学 科		●		○						○	○	○	○	○	○								
	化 学 科		○		○						○	●	○	○	○	○								
	応用物理学 物理科学専攻		◎		◎						○	○	○	○	○	○								
	応用物理学 臨床工学専攻		◎		◎						○	○	○	○	○	○								
	基 礎 理 学 科		○		○						○	◎	◎	◎	◎	○								
	生 物 化 学 科		○		○						○	○	○	○	○	●								
	臨 床 生 命 科 学 科		○		○						○	○	○	○	○	●								
動 物 学 科		○		○						○	◎	◎	◎	◎	○									
工 学 部	バイオ・応用化学科		○		○					○	○	●	○	○	○	○								
	機械システム工学科	◎	◎	◎	◎					○	○	○	○	○	○	○								
	電気電子システム工学科	◎	◎	◎	◎					○	○	○	○	○	○	○								
	情報工学科	◎	◎	◎	◎					○	○	○	○	○	○	○								
	知能機械工学科	◎	◎	◎	◎					○	○	○	○	○	○	○								
	生命医療工学科	○	○	○	○						◎	◎	◎	◎	○	○								
	建 築 学 科	◎	◎	◎	◎						○	○	○	○	○	○								
工学プロジェクトコース	◎	◎	◎	◎						○	○	○	○	○	○									
総合情報学部	情 報 科 学 科		●		○					○	○	○	○	○	○									
生物地球学部	生 物 地 球 学 科		○		○					○	◎	◎	◎	◎	○			○	○	○	○	○	○	○
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 国語教育コース	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○
	中等教育学科 英語教育コース	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○
経営学部	経 営 学 科	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○

- 1)「理科」の科目のうち、基礎を付した科目①については、大学入試センター試験で解答した2科目の得点を合わせて、1科目として扱います。
- 2)教育学部 中等教育学科 国語教育コースの「国語」は古文を含みます。

【注意事項】

- ・平成29年度大学入試センター試験の成績により判定します。過年度の成績は利用できません。
- ・100点満点の科目は200点満点に換算します。
- ・教育学部 中等教育学科 国語教育コースの「国語」は近代以降の文章および古文を200点満点に換算します。その他の学科・コースは近代以降の文章(古文・漢文を除く)のみを200点満点に換算します。
- ・英語は筆記の得点(200点満点)のみを利用します。

【判定科目について】

- ① 「●必須科目」については、志望学科の指定した科目を必ず受験している必要があります。
- ② 「◎選択必須科目」については、志望学科の指定した各教科の最高得点の1科目を「●必須科目」の扱いとし、残りの科目は「○選択科目」の扱いとします。
- ③ 「○選択科目」については、「◎選択必須科目」で「○選択科目」に扱われた科目と合わせて、2科目以上受験している必要があります。3科目以上受験している場合は、高得点の2科目を採用します。

※科目選択について大学案内の入試ガイドのページ(148ページ)に誤植がありました。正しくは本要項に記載のとおりです。

提出書類

- ① 入学願書(シートNo.4:A票)もしくはネット出願提出シート、② 写真、③ 調査書、④ 平成29年度センター試験成績請求票 (24ページ参照)

入学検定料

20,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27～28ページ参照

紙出願については、35～36ページ参照

提出方法については、26ページ参照

●出願パターン

センターCⅡは以下のパターンで出願することができます。

- ① センターCⅡのみ出願(複数学科出願可能)
- ② センターCⅡとSB方式の同時出願
- ③ センターCⅡとB1方式の同時出願
- ④ センターCⅡとSB方式とB1方式の同時出願

第2志望制度

第2志望制度はありませんが、複数の学科に同時出願できます。

一般入試後期

概要

- ①一般入試後期は、2科目型の入学試験で、全国9会場において実施します。
- ②当該年度において最後に行われる入学試験です。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入 試 日	合 格 発 表	手続締切日
2017年 2月27日(月)～3月13日(月) <3月13日必着※>	2017年3月22日(水)	2017年3月25日(土) 午前10時 [41ページ参照]	2017年3月31日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、2月27日より受験票を発送します。

選考方法

個別学力検査2教科2科目で判定(各科目100点満点の2科目、計200点満点で判定)

学 部 ・ 学 科	試 験 科 目	試 験 時 間	配 点
理学部、工学部 総合情報学部 生物地球学部	英語、数学、理科(物理・化学・生物)、国語 のうち2科目選択(理科2科目は不可)	2科目 100分	各科目100点 合 計200点
教育学部 経営学部	英語、国語、数学I・A、理科(物理・化学・生物) のうち2科目選択(理科2科目は不可)		

※選択科目は、試験時に選択します。

出題範囲

試験科目	出 題 範 囲	試験科目	出 題 範 囲
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B(数列、ベクトル)	物 理	物理基礎、物理
数学Ⅰ・A	数学Ⅰ、数学A	化 学	化学基礎、化学
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、 英語表現Ⅰ、Ⅱ	生 物	生物基礎、生物
国 語	国語総合(古文、漢文を除く)		

提出書類

- ①入学願書(シートNo.5:A票)もしくはネット出願提出シート、②写真、③調査書 (24ページ参照)

入学検定料

35,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27～28ページ参照

紙出願については、37～38ページ参照

提出方法については、26ページ参照

●出願パターン

一般後期は以下のパターンで出願することができます。

- ①一般後期のみ出願
- ②一般後期とセンターCⅢの同時出願

入試時間割

試験室入室完了	9時40分
英語、数学、数学I・A、理科(物理・化学・生物)、国語	10時00分～11時40分

基準点

一般後期においては、基準点を設けています。基準点は各科目とも配点の10%で、1科目でも基準点未満であれば、合計得点に関係なく不合格となります。

第2志望制度

一般後期には第2志望制度を設けています。この制度は、第1志望学科で不合格となった場合でも、第2志望学科の選択があれば、その学科で再度合格の判定を行う制度です。第2志望学科の判定を希望する場合は、入学願書の第2志望記入欄に記入(インターネット出願(たんQ出願)の場合は選択)してください。記入(選択)のない場合は、第1志望のみとなります。

追加合格(転科)

本学では、入試区分によって追加合格(転科)を行う場合があります。これは志望した学科で不合格となった受験生が、他学科の合格ラインを上回っている場合、他学科での追加合格対象者とする制度です。発表日の翌日までに大学から対象者に電話連絡を行います。追加合格対象の学科に入学意思を示した場合に合格となります。なお、発表日の翌日までに連絡がつかない場合は、いかなる理由があっても追加合格対象者の資格を失います。

※入学手続きに必要な納付金および入学後の手続き等は他の合格者と同じです。

※追加合格およびその予定についての電話等による問い合わせには一切応じません。

入試会場

受験地	会場名	受験地	会場名
岡山	岡山理科大学	大阪	新梅田研修センター
仙台	ベルエア会館	広島	並木学院高等学校
銚子	千葉科学大学(本部キャンパス)	高松	高松東急REIホテル
東京	東京八重洲ホール	福岡	福岡商工会議所
名古屋	安保ホール		

会場案内図は97ページ以降の「入試会場案内図」を参照してください。

センター試験利用入試CⅢ

概要

- ①センター試験利用入試CⅢは、平成29年度大学入試センター試験の得点を利用した入試で本学独自の個別学力検査は課しません。
- ②このうち、高得点の2科目を利用する入試です。

出願資格

63ページ参照

募集人員

7ページ参照

入試日程

願書受付期間	入試日	合格発表	手続締切日
2017年 2月27日(月)～3月13日(月) <3月13日必着※>	本学独自の試験は 実施しません。	2017年3月25日(土) 午前10時 [41ページ参照]	2017年3月31日(金)

※紙出願の場合は、入金を完了しすべての提出書類がこの日までに到着している必要があります。インターネット出願(たんQ出願)の場合は、この日の23:59まで出願登録と入金完了している必要があります(提出書類は、この日の翌日の消印まで有効です)。

- 受験票の発送
出願書類確認後、2月27日より受験票を発送します。

選考方法

本学独自の個別学力検査を課さず、下表に示す平成29年度大学入試センター試験の出題科目から、各学科で指定した選択科目より高得点の2科目で判定します。

CⅢ (2科目型 選択2)

○:選択科目 △:条件付選択科目

学部	学科	数 学						理 科 ①				理 科 ②				英 語	国 語	地 理 歴 史			公 民								
		数 学 I	数 学 A	数 学 II	数 学 B	簿 記・会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学			日 本 史 B	世 界 史 B	地 理 B	現 代 社 会	政 治・経 済	倫 理 政 治・経 済						
理 学 部	応 用 数 学 科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	化 学 科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	応用物理学科 物理科学専攻		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	応用物理学科 臨床工学専攻		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	基礎理学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	生物化学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	臨床生命科学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
工 学 部	動物学科		○		○				○		○	○	○	○	○														
	バイオ・応用化学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	機械システム工学科	○	○	○	○				○		○	○	○	○	○	○													
	電気電子システム工学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	情報工学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	知能機械工学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
	生命医療工学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○													
建築学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○														
工学プロジェクトコース		○		○				○		○	○	○	○	○	○														
総合情報学部	情報科学科		○		○				○		○	○	○	○	○														
生物地球学部	生物地球学科		○		○				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育学部	初等教育学科								△		△	△	△	△	○	○	△	△	△										
	中等教育学科 国語教育コース														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	中等教育学科 英語教育コース														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
経営学部	経営学科	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

- 1)「理科」の科目のうち、基礎を付した科目①については、大学入試センター試験で解答した2科目の得点を合わせて、1科目として扱います。
- 2)教育学部 中等教育学科 国語教育コースの「国語」は古文を含みます。

【注意事項】

- ・平成29年度大学入試センター試験の成績により判定します。過年度の成績は利用できません。
- ・100点満点の科目は200点満点に換算します。
- ・教育学部 中等教育学科 国語教育コースの「国語」は近代以降の文章および古文を200点満点に換算します。その他の学科・コースは近代以降の文章(古文・漢文を除く)のみを200点満点に換算します。
- ・英語は筆記の得点(200点満点)のみを利用します。

【判定科目について】

○のついた科目を2科目以上受験している必要があります。3科目以上受験している場合は、高得点の2科目を採用します。

ただし、教育学部初等教育学科の△は、1教科につき最高得点の1科目を選択科目の対象とするため、○および△の中から2教科2科目以上受験している必要があります。

※科目選択について大学案内の入試ガイドのページ(148ページ)に誤植がありました。正しくは本要項に記載のとおりです。

提出書類

- ①入学願書(シートNo.5:A票)もしくはネット出願提出シート、
- ②写真、
- ③調査書、
- ④平成29年度センター試験成績請求票 (24ページ参照)

入学検定料

20,000円 (たんQ割、入学検定料割引制度については、25ページ参照)

出願方法

インターネット出願(たんQ出願)については、27～28ページ参照

紙出願については、37～38ページ参照

提出方法については、26ページ参照

●出願パターン

センターCⅢは以下のパターンで出願することができます。

- ①センターCⅢのみ出願(複数学科出願可能)
- ②センターCⅢと一般後期の同時出願

第2志望制度

第2志望制度はありませんが、複数の学科に同時出願できます。

MEMO

特別入試

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

帰国生徒入試 ————— 93

社会人入試 ————— 94

国際バカロレア入試 ————— 95

帰国生徒入試

帰国生徒入試は、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者を対象とし、面接を中心に選考する入学試験です。提出書類と面接を通じて、受験者の能力・適性や意欲、目的意識等を多面的に評価する入学試験です。

出願資格

保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を2年以上受けた者で、以下いずれかに該当する者。

- ① 学校教育における12年の課程のうち、外国において最終学年を含む課程に2年以上継続して在籍し、2015年4月1日から2017年3月31日までに卒業した者、および卒業見込みの者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在籍して教育を受けた期間は算入されません。
- ② 日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を2017年3月卒業見込みの者のうち、中・高等学校を通じて3年以上外国の学校に在籍し、かつ日本の高等学校在籍期間が2年未満の者。
- ③ 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア資格を有し、2017年3月31日までに18歳に達する者。

募集人員

全学科 若干名

入試日程および入試会場

	願書受付期間	入試日	合格発表	手続締切日	入試会場
前期	2016年 9月1日(木)～9月8日(木) <9月8日必着>	2016年 10月2日(日)	2016年 10月14日(金)	2016年 12月1日(木)	岡山理科大学
後期	2017年 1月5日(木)～1月19日(木) <1月19日必着>	2017年 2月19日(日)	2017年 2月27日(月)	2017年 3月10日(金)	

可否通知は合格発表日に文書にて通知(発送)します。

出願を希望する際には、事前に入試広報部まで連絡してください。(TEL086-256-8415)

選考方法

- ① 書類審査(下記の出願書類による)
- ② 面接(入学後に必要な基礎的な学力試験を含む)

提出書類

書類名	内容
(1) 入学願書	シートNo.2を使用します。 志望学科は推薦入試A方式(11月19日)の欄にコードで記入してください。
(2) 基礎資料	「学科を志望する理由(自己アピールも含む)」について、800～1200字で記入してください。 1) 自筆で、丁寧に記入してください。ワードプロセッサなどによる印字は認めません。 2) 市販の400字詰め原稿用紙(A4サイズ横書き)に記入してください。
(3) 成績証明書、調査書	高校3年間の成績証明書。
(4) 卒業証明書	最終学校の卒業証明書または卒業見込み証明書。
(5) 経歴書(巻末綴じ込み)	氏名、生年月日、現住所、現在所属ならびに12年間の在籍期間がわかるように記載してください。

外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を必ず添付してください。

入学検定料

35,000円 (25ページ参照)

第2志望制度

本入試では第2志望制度はありません。

社会人入試

社会人入試は、社会経験を積んだ者を対象に、提出書類と面接を通じて、能力・適性や意欲、目的意識等を多面的に評価する入学試験です。社会人とは、企業等の在職者、離職者、主婦など(夜間または通信制学校の在籍期間も社会人経験に含む)であり、本学において4年間にわたり勉学しようとする意欲のある者を募集します。

出願資格

2017年4月1日現在、満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者、かつ、本学において4年間にわたり勉学しようとする意欲のある者で、以下いずれか1つに該当する者。

- ① 高等学校を卒業した者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

募集人員

全学科 若干名

入試日程および入試会場

	願書受付期間	入試日	合格発表	手続締切日	入試会場
前期	2016年 9月1日(木)～9月8日(木) <9月8日必着>	2016年 10月2日(日)	2016年 10月14日(金)	2016年 12月1日(木)	岡山理科大学
後期	2017年 1月5日(木)～1月19日(木) <1月19日必着>	2017年 2月19日(日)	2017年 2月27日(月)	2017年 3月10日(金)	

合否通知は合格発表日に文書にて通知(発送)します。
出願を希望する際には、事前に入試広報部まで連絡してください。(TEL086-256-8415)

選考方法

- ① 書類審査(下記の出願書類による)
- ② 面接(入学後に必要な基礎的な学力試問を含む)

提出書類

書類名	内 容
(1) 入学願書	シートNo.2を使用します。 志望学科は推薦入試A方式(11月19日)の欄にコードで記入してください。
(2) 基礎資料	「学科を志望する理由(自己アピールも含む)」について、800～1200字で記入してください。 1) 自筆で、丁寧に記入してください。ワードプロセッサなどによる印字は認めません。 2) 市販の400字詰め原稿用紙(A4サイズ横書き)に記入してください。
(3) 卒業証明書	最終学校の卒業証明書または卒業見込み証明書。
(4) 経歴書(巻末綴じ込み)	氏名、生年月日、現住所、現在所属ならびに12年間の在籍期間および社会人歴がわかるように記載してください。

入学検定料

35,000円 (25ページ参照)

第2志望制度

本入試では第2志望制度はありません。

国際バカロレア入試

概要

国際バカロレア入試は、国際バカロレア有資格者を対象に、基礎資料と面接を中心に選考する入学試験です。基礎資料と面接を通じて、受験者の能力・適性や意欲、目的意識等を多面的に評価する入学試験です。

出願資格

2017年3月31日までに18歳に達するもので、国際バカロレア資格を取得、または2017年3月31日までに取得見込みのもの。

募集人員

全学科 若干名

入試日程および入試会場

	願書受付期間	入試日	合格発表	手続締切日	入試会場
前期	2016年 9月1日(木)～9月8日(木) <9月8日必着>	2016年 10月2日(日)	2016年 10月14日(金)	2016年 12月1日(木)	岡山理科大学
後期	2017年 1月5日(木)～1月19日(木) <1月19日必着>	2017年 2月19日(日)	2017年 2月27日(月)	2017年 3月10日(金)	

可否通知は合格発表日に文書にて通知(発送)します。
出願を希望する際には、事前に入試広報部まで連絡してください。(TEL086-256-8415)

選考方法

- 書類審査(基礎資料)
- 面接(入学後に必要な基礎的な学力試験を含む)

提出書類

書類名	内容
(1) 入学願書	シートNo.2を使用します。 志望学科は推薦入試A方式(11月19日)の欄にコードで記入してください。
(2) 基礎資料	「学科を志望する理由(自己アピールも含む)」について、800～1200字で記入してください。 1) 自筆で、丁寧に記入してください。ワードプロセッサなどによる印字は認めません。 2) 市販の400字詰め原稿用紙(A4サイズ横書き)に記入してください。
(3) 国際バカロレア資格証書	2016年11月にIB試験受験予定者は、高等学校が作成した「国際バカロレア資格の取得見込み証明書」

入学検定料

35,000円 (25ページ参照)

第2志望制度

本入試では第2志望制度はありません。

入試会場案内図 コード表

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

入試会場案内図	97
高等学校等コード表	104
予備校コード表	114
受験資格コード表	115
都道府県コード表	115

入試会場案内図

岡山会場(岡山理科大学)は本要項の裏表紙と見返しをご覧ください。

東北地方

- 仙台会場①
- 仙台会場②

仙台会場①

推薦入試K方式	12月11日	場所	東北福祉大学仙台駅東口キャンパス 仙台市宮城野区榴岡2-5-26
		交通	●JR仙台駅東口から徒歩1分

仙台会場②

一般入試(後期)	3月22日	場所	ベルエリア会館 仙台市青葉区一番町1-4-8
		交通	●JR仙台駅西口中央出口から徒歩12分 ●仙台市営地下鉄東西線青葉通一番町駅出口から徒歩5分

関東地方

- 水戸会場
- 千葉会場
- 銚子会場
- 東京会場

水戸会場

推薦入試K方式	12月11日	場所	早稲田予備校水戸校 水戸市宮町1-3-38
		交通	●JR水戸駅北口から徒歩1分

千葉会場

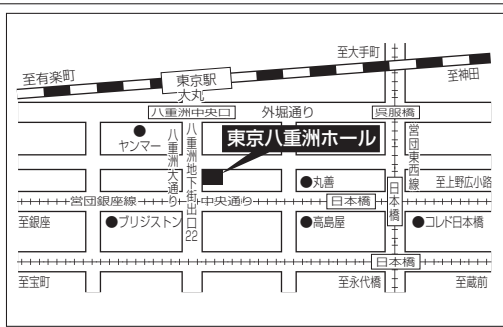
推薦入試K方式	12月11日	場所	京葉銀行文化プラザ 千葉市中央区富士見1丁目3-2
		交通	●JR千葉駅東口から徒歩3分

銚子会場

推薦入試K方式	12月11日	場所	千葉科学大学(本部キャンパス) 銚子市潮見町3
一般入試(後期)	3月22日	交通	●バスJR銚子駅から千葉科学大学行き約10分 千葉科学大学本部前下車(終点)

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

東京会場

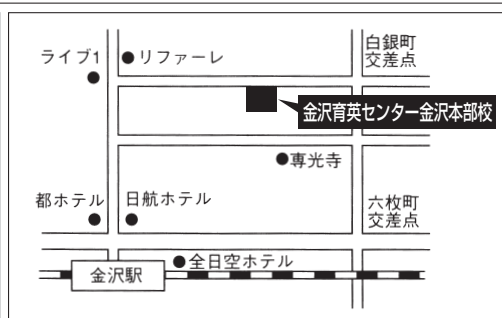


推薦入試K方式	12月11日	場所	東京八重洲ホール
一般入試(前期SA)	2月1・2日		中央区日本橋3-4-13
一般入試(前期SAB)	2月3日	交通	●JR東京駅から徒歩3分 (八重洲中央地下街、日本橋方面 出口22をご利用ください)
一般入試(前期SB)	2月19日		●地下鉄銀座線 日本橋駅、京橋駅から徒歩5分
一般入試(前期B1)	2月19日		●地下鉄東西線 日本橋駅から徒歩5分
一般入試(後期)	3月22日		

北陸・甲信越地方

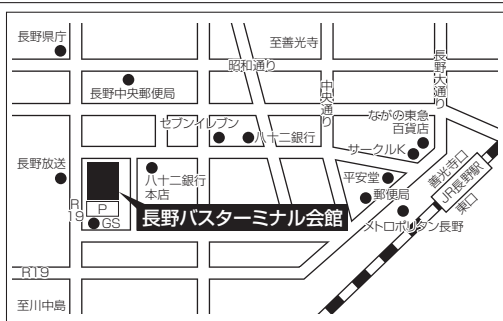
- 金沢会場
- 長野会場

金沢会場



一般入試(前期SA)	2月1・2日	場所	金沢育英センター金沢本館
			金沢市本町2-1-25
		交通	●JR金沢駅から徒歩5分

長野会場

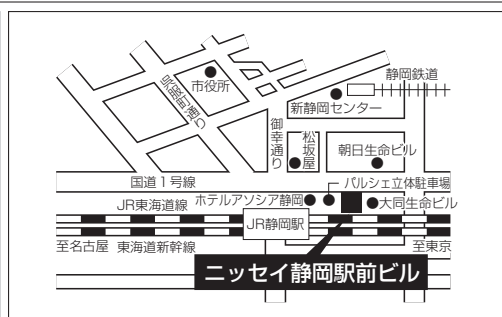


推薦入試K方式	12月11日	場所	長野バスターミナル会館
			長野市岡田178-2
		交通	●JR長野駅善光寺口から徒歩約8分

中部・東海地方

- 静岡会場
- 名古屋会場①
- 名古屋会場②
- 名古屋会場③

静岡会場



一般入試(前期SA)	2月1・2日	場所	ニッセイ静岡駅前ビル
			静岡市葵区黒金町59-7
		交通	●JR静岡駅から徒歩3分

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

名古屋会場 ①

推薦入試A方式 11月19・20日

場所 TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
名古屋市中村区名駅2-41-5

交通

- JR名古屋駅桜通口から徒歩5分
- 地下鉄各線名古屋駅1番出口から徒歩3分

名古屋会場 ②

推薦入試K方式 12月11日

一般入試(前期SB) 2月19日

一般入試(前期B1) 2月19日

一般入試(後期) 3月22日

場所 安保ホール
名古屋市中村区名駅3-15-9

交通

- JR名古屋駅から徒歩2分
- 私鉄名鉄・近鉄名古屋駅から徒歩4分
- 地下鉄各線名古屋駅から徒歩2分

名古屋会場 ③

一般入試(前期SA) 2月1・2日

一般入試(前期SAB) 2月3日

場所 河合塾名駅キャンパス
名古屋市中村区椿町2-1

交通

- JR名古屋駅太閤通口から徒歩1分
- 名鉄名古屋駅、近鉄名古屋駅、地下鉄名古屋駅から徒歩4分

近畿地方

- 京都会場①
- 京都会場②
- 大阪会場①
- 大阪会場②
- 神戸会場
- 豊岡会場
- 姫路会場

京都会場 ①

一般入試(前期SA) 2月1・2日

一般入試(前期SAB) 2月3日

一般入試(前期SB) 2月19日

一般入試(前期B1) 2月19日

場所 コープ・イン.京都
京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411

交通

- 阪急京都線烏丸駅から徒歩10分
- 地下鉄烏丸線四条駅から徒歩10分

京都会場 ②

推薦入試A方式 11月19・20日

場所 TKPガーデンシティ京都
京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路721-1
京都タワーホテル2階

交通

- JR京都駅から徒歩2分
- 近鉄京都線京都駅から徒歩2分
- 京都市営地下鉄京都線京都駅から徒歩2分

大阪会場 ①

推薦入試A方式 11月19・20日

推薦入試K方式 12月11日

一般入試(前期SA) 2月1・2日

一般入試(前期SAB) 2月3日

一般入試(後期) 3月22日

場所 新梅田研修センター
大阪市福島区福島6-22-20

交通

- JR大阪駅中央北口から徒歩10分
- 阪急・阪神梅田駅から徒歩10分
- 地下鉄御堂筋線 梅田駅5番出口から徒歩8分
- 地下鉄四ツ橋線 西梅田駅13番出口から徒歩10分

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

大阪会場②

一般入試(前期SB)	2月19日	場所 天満研修センター 大阪市北区錦町2-21
一般入試(前期B1)	2月19日	

交通

- JR天満駅から徒歩3分
- 地下鉄堺筋線 扇町駅1番出口から徒歩8分

神戸会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日	場所 スペースアルファ三宮 神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ6階
一般入試(前期SAB)	2月3日	

交通

- JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神・地下鉄・ポータルライナー「三宮」駅より徒歩約5分
- 地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅より徒歩約3分

豊岡会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日	場所 但馬地域地場産業振興センター 豊岡市大磯町1-79

交通

- JR豊岡駅から徒歩15分
- 市街地バス(コバス)じばさん前

姫路会場

推薦入試A方式	11月19-20日	場所 姫路商工会議所 姫路市下寺町43
推薦入試K方式	12月11日	
一般入試(前期SA)	2月1-2日	
一般入試(前期SAB)	2月3日	
一般入試(前期SB)	2月19日	
一般入試(前期B1)	2月19日	

交通

- JR姫路駅から徒歩15分
- 神姫バス、鹿島神社行、夕陽ヶ丘行、別所駅行坂田町下車

中国地方

- 鳥取会場
- 松江会場①
- 松江会場②
- 福山会場①
- 福山会場②
- 広島会場①
- 広島会場②
- 山口会場
- 倉敷会場

鳥取会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日	場所 ホテルモナーク鳥取 鳥取市永楽温泉町403

交通

- JR鳥取駅北口から徒歩5分

松江会場①

推薦入試A方式	11月19-20日	場所 松江予備校 松江市北堀町66

交通

- JR松江駅から徒歩20分
- 松江市営バス島大・西川津方面行北堀町下車徒歩5分

松江会場②

一般入試(前期SA)	2月1-2日	場所 松江テルサ 松江市朝日町478-18
一般入試(前期SAB)	2月3日	

交通

- JR松江駅から徒歩1分

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

福山会場 ①

推薦入試A方式 11月19・20日

場所 リッチモンドホテル福山駅前
福山市東桜町1-1

交通 ●JR福山駅南口から徒歩2分

福山会場 ②

一般入試(前期SA)	2月1・2日
一般入試(前期SAB)	2月3日
一般入試(前期SB)	2月19日
一般入試(前期B1)	2月19日

場所 福山商工会議所
福山市西町2-10-1

交通 ●JR福山駅から徒歩7分
●バス停西町一丁目から徒歩2分

広島会場 ①

推薦入試A方式 11月19・20日

推薦入試K方式 12月11日

一般入試(後期) 3月22日

場所 並木学院高等学校
広島市中区小町8-32

交通 ●路面電車で中電前から徒歩7分
●バス中電前から徒歩5分
●バス富士見町から徒歩3分

広島会場 ②

一般入試(前期SA)	2月1・2日
一般入試(前期SAB)	2月3日
一般入試(前期SB)	2月19日
一般入試(前期B1)	2月19日

場所 広島YMCA国際文化センター
広島市中区八丁堀7-11

交通 ●路面電車立町下車徒歩2分
●バス八丁堀下車徒歩2分、広島バスセンターから徒歩5分
●アストラムライン県庁前駅から徒歩5分
●JR広島駅から徒歩15分

山口会場

推薦入試A方式 11月19・20日

一般入試(前期SA) 2月1・2日

場所 YICビジネスアート専門学校
山口市小郡黄金町2-24

交通 ●JR新山口駅南口から徒歩2分

倉敷会場

推薦入試K方式 12月11日

場所 倉敷芸術科学大学
倉敷市連島町西之浦2640

交通 ●両備バスJR新倉敷駅から倉敷芸術科学大学行き下車(所要時間約20分)
●タクシーJR新倉敷駅から約15分

四国地方

- 高松会場①
- 徳島会場
- 高松会場②
- 高知会場
- 松山会場①
- 松山会場②

高松会場 ①

推薦入試A方式 11月19・20日

場所 穴吹コンピュータカレッジ／ビジネスカレッジ
高松市番町2-4-14

交通 ●JR高松駅から徒歩10分
●琴電高松築港駅から徒歩10分

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

高松会場 ②

推薦入試K方式	12月11日	場所 高松東急REIホテル 高松市兵庫町9-9
一般入試(前期SA)	2月1・2日	
一般入試(前期SAB)	2月3日	
一般入試(前期SB)	2月19日	
一般入試(前期B1)	2月19日	
一般入試(後期)	3月22日	交通 ●JR高松駅から徒歩7分 ●琴電高松築港駅から徒歩7分

松山会場 ①

推薦入試A方式	11月19-20日	場所 並木学院高等学校松山学習センター (旧)松山総合福祉専門学校 松山市衣山1-197-1
推薦入試K方式	12月11日	
一般入試(前期SB)	2月19日	
一般入試(前期B1)	2月19日	
一般入試(前期B1)	2月19日	
		交通 ●伊予鉄道高浜線衣山駅から徒歩5分 ●伊予鉄バス衣山駅前停留所から徒歩5分

松山会場 ②

一般入試(前期SA)	2月1・2日	場所 愛媛県林業会館 松山市三番町4-4-1
一般入試(前期SAB)	2月3日	
		交通 ●路面電車松山市駅から徒歩5分

徳島会場

推薦入試A方式	11月19-20日	場所 TEC予備校 南昭和本校(サトウ校舎) 徳島市南昭和町1-11-1 佐藤ビル2階
一般入試(前期SA)	2月1・2日	
一般入試(前期SB)	2月19日	
一般入試(前期B1)	2月19日	
一般入試(前期B1)	2月19日	
		交通 ●JR阿波富田駅から徒歩5分

高知会場

推薦入試A方式	11月19-20日	場所 土佐塾予備校 高知市はりまや町3-7-11
一般入試(前期SA)	2月1・2日	
一般入試(前期SA)	2月1・2日	
		交通 ●JR高知駅から徒歩5分

九州・沖縄地方

- 小倉会場
- 大分会場
- 福岡会場
- 宮崎会場
- 長崎会場
- 鹿児島会場
- 熊本会場
- 那覇会場

小倉会場

一般入試(前期SB)	2月19日	場所 小倉興産KMMビル 北九州市小倉北区浅野2-14-1
一般入試(前期B1)	2月19日	
		交通 ●JR小倉駅北口から徒歩2分

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

福岡会場

推薦入試A方式	11月19-20日
推薦入試K方式	12月11日
一般入試(前期SA)	2月1-2日
一般入試(前期SAB)	2月3日
一般入試(前期SB)	2月19日
一般入試(前期B1)	2月19日
一般入試(後期)	3月22日

場所 福岡商工会議所
福岡市博多区博多駅前2-9-28

交通

- JR博多駅博多口から徒歩10分
- 地下鉄祇園駅(5番出口)から徒歩5分

長崎会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日
------------	--------

場所 NBCソシア別館
長崎市上町1-35

交通

- JR長崎駅から徒歩7分

熊本会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日
------------	--------

場所 TKPガーデンシティ熊本
熊本県熊本市中央区下通1-7-18
ホテルザンレット熊本3F

交通

- 熊本市電花畑町駅から徒歩3分
- 阿蘇くまもと空港よりリムジンバス通町筋下車徒歩5分

大分会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日
------------	--------

場所 府内学園
大分市金池南1-8-5

交通

- JR大分駅南口から徒歩3分

宮崎会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日
------------	--------

場所 宮崎市民プラザ
宮崎市橋通西1-1-2

交通

- JR宮崎駅・南宮崎駅から徒歩30分
- 橋通1丁目バス停から徒歩3分
- 宮崎市役所隣

鹿児島会場

一般入試(前期SA)	2月1-2日
------------	--------

場所 サンプラザ天文館
鹿児島市東千石町2-30

交通

- JR鹿児島中央駅から徒歩20分
- 天文館電停・バス停から徒歩2分

那覇会場

推薦入試A方式	11月19-20日
推薦入試K方式	12月11日
一般入試(前期SA)	2月1-2日
一般入試(前期SAB)	2月3日

場所 沖縄県青年会館
那覇市久米2-15-23

交通

- タクシー那覇空港から10分
- バス那覇バスターミナルから徒歩10分
- モノレール旭橋駅から徒歩5分

会場周辺の施設・店舗は変更される場合があります。必ず各自で会場までの経路を確認の上、受験にあってください。

高等学校等コード表 (平成29年度大学入学センター試験高等学校等コード表より引用)

北海道、中等学校、高等学校、高等専門学校

ろう

Table with columns for school name, address, and phone number. Includes sections for Hokkaido, National, and Miyagi Prefecture schools.

種別	校名	所在地	学年	定員	備考
国立	京都府立第一高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第二高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第三高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第四高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第五高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第六高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第七高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第八高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第九高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
	京都府立第十高等学校	京都府京都市	普通科	2,500	
公立	京都市立第一中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第二中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第三中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第四中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第五中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第六中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第七中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第八中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第九中学校	京都市	普通科	1,000	
	京都市立第十中学校	京都市	普通科	1,000	
私立	同志社大学	京都市	文系	1,000	
	立命館大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	
	京都府立大学	京都市	文系	1,000	

受験資格コード表

受験資格	コード	内 容	備 考
高 卒	1	高等学校を卒業した者(2017年3月卒業見込みの者を含む)および通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者および2017年3月31日までに修了見込みの者を含む)	高等専門学校 養護学校高等科 等
高 認 大 検	2	高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第一号)により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格し、2017年3月31日までに18歳に達する者(2017年3月末までに合格する見込みの者)または大学入学資格検定合格者	
外 国	3	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2017年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者	
指 定	4	文部科学大臣の指定した者	専修学校高等課程 国際バカロレア資格 アビトゥア資格 等
認 定	5	その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者	
在外認定	6	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2017年3月31日までに修了見込みの者	

都道府県コード表

注) 上記受験資格コード表で、1の高卒以外の受験資格の者は、高校コード記入欄に以下の出身都道府県コードを左詰めで記入してください。

都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード
北海道	01	栃木県	09	石川県	17	滋賀県	25	岡山県	33	佐賀県	41
青森県	02	群馬県	10	福井県	18	京都府	26	広島県	34	長崎県	42
岩手県	03	埼玉県	11	山梨県	19	大阪府	27	山口県	35	熊本県	43
宮城県	04	千葉県	12	長野県	20	兵庫県	28	徳島県	36	大分県	44
秋田県	05	東京都	13	岐阜県	21	奈良県	29	香川県	37	宮崎県	45
山形県	06	神奈川県	14	静岡県	22	和歌山県	30	愛媛県	38	鹿児島県	46
福島県	07	新潟県	15	愛知県	23	鳥取県	31	高知県	39	沖縄県	47
茨城県	08	富山県	16	三重県	24	島根県	32	福岡県	40	外 国	48

2016年度 入学試験結果

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

2016年度 入学試験結果

1. 全入試結果

学部	学 科	募集人数	志願者数	女子	受験者数	女子	合格者数	女子	競争率
理 学 部	応 用 数 学 学 科	95	649	141	622	134	235	42	2.6
	化 学 学 科	70	296	52	285	49	195	35	1.5
	応用物理学科(物理科学専攻)	40	184	35	180	35	124	24	1.5
	応用物理学科(臨床工学専攻)	30	89	23	89	23	66	21	1.3
	基 礎 理 学 学 科	75	362	74	346	72	160	37	2.2
	生 物 化 学 学 科	85	410	119	397	115	243	83	1.6
	臨 床 生 命 科 学 学 科	85	409	228	393	222	237	148	1.7
動 物 学 学 科	40	351	144	346	142	105	50	3.3	
	小 計	520	2,750	816	2,658	792	1,365	440	1.9
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 学 科	75	425	98	403	96	206	51	2.0
	機 械 シ ス テ ム 工 学 学 科	85	454	7	435	7	240	3	1.8
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	70	266	14	257	14	154	9	1.7
	情 報 工 学 学 科	85	464	38	438	36	230	20	1.9
	知 能 機 械 工 学 学 科	55	153	7	150	7	112	3	1.3
	生 命 医 療 工 学 学 科	60	170	42	164	41	132	37	1.2
	建 築 学 学 科	70	388	63	376	62	159	23	2.4
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	20*	31	3	30	3	23	1	1.3
	小 計	500	2,351	272	2,253	266	1,256	147	1.8
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 学 科	80	257	29	246	27	160	10	1.5
	社 会 情 報 学 学 科	80	184	30	179	28	164	26	1.1
	小 計	160	441	59	425	55	324	36	1.3
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 学 科	120	1,071	254	1,041	242	302	74	3.4
	小 計	120	1,071	254	1,041	242	302	74	3.4
教 育 学 部	初 等 教 育 学 学 科	70	340	91	325	83	219	50	1.5
	中 等 教 育 学 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	30	107	34	103	31	94	28	1.1
	中 等 教 育 学 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	30	67	18	67	18	64	18	1.0
	小 計	130	514	143	495	132	377	96	1.3
	合 計	1430	7,127	1,544	6,872	1,487	3,624	793	1.9

■入試結果の合格者数には、第2志望合格者・追加合格者の数は含まれません。

■全入試結果には「私費外国人留学生入試」「社会人入試」「帰国生徒入試」「国際バカロレア入試」の結果が含まれます。

■工学プロジェクトコースの募集人数(各表の※印)は工学部の募集人数の内数です。

2. AO入試[専願制]

学 部	募集人数	エントリー	採択者数	志願者数	合格者数	競争率
理 学 部	全学部合わせて69名程度	130	82	80	80	1.0
工 学 部						
総 合 情 報 学 部						
生 物 地 球 学 部						
教 育 学 部						

3. 特別推薦入試[専願制]

学 部	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部	全学部合わせて239名程度	54	53	51	1.0
工 学 部		72	71	69	1.0
総 合 情 報 学 部		43	43	43	1.0
生 物 地 球 学 部		45	44	37	1.2
教 育 学 部		6	6	6	1.0
合 計		220	217	206	1.1

■特別推薦入試では「普通科選抜」「特定教科・科目選抜」のほか、「指定校推薦」「専門学科・総合学科指定校推薦」「附属高校・関連校推薦」をおこなっています。

4. 専門学科・総合学科特別推薦入試 I期・II期[専願制]

学 部	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部	全学部合わせて65名程度	9	9	7	1.3
工 学 部		12	12	12	1.0
総 合 情 報 学 部		7	7	7	1.0
生 物 地 球 学 部		3	3	2	1.5
教 育 学 部		0	0	0	—
合 計		31	31	28	1.1

5. 推薦入試A方式[2科目型・併願制]

学 部	学 科	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部	応 用 数 学 学 科	15	40	40	14	2.9
	化 学 学 科	10	19	18	14	1.3
	応用物理学科(物理科学専攻)	6	8	8	5	1.6
	応用物理学科(臨床工学専攻)	5	4	4	4	1.0
	基 礎 理 学 学 科	12	28	28	18	1.6
	生 物 化 学 学 科	13	60	60	38	1.6
	臨 床 生 命 科 学 学 科	14	37	36	34	1.1
動 物 学 学 科	8	46	46	17	2.7	
	小 計	83	242	240	144	1.7
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 学 科	15	37	36	31	1.2
	機 械 シ ス テ ム 工 学 学 科	17	35	34	26	1.3
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	13	19	19	19	1.0
	情 報 工 学 学 科	16	53	53	49	1.1
	知 能 機 械 工 学 学 科	7	15	15	14	1.1
	生 命 医 療 工 学 学 科	11	14	13	12	1.1
	建 築 学 学 科	12	35	35	13	2.7
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	3*	1	1	1	1.0
	小 計	91	209	206	165	1.2
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 学 科	15	35	34	23	1.5
	社 会 情 報 学 学 科	15	24	21	20	1.1
	小 計	30	59	55	43	1.3
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 学 科	20	104	102	21	4.9
	小 計	20	104	102	21	4.9
教 育 学 部	初 等 教 育 学 学 科	13	19	19	18	1.1
	中 等 教 育 学 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	6	3	3	3	1.0
	中 等 教 育 学 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	6	0	0	0	—
	小 計	25	22	22	21	1.0
	合 計	249	636	625	394	1.6

◆人数は1日目と2日目の合計数です。

◆募集人数は推薦入試A方式(11月14日・15日)および推薦入試K方式(入試特待生制度)(12月13日)の合計数です。

6. 推薦入試K方式(入試特待生制度)[1科目型]

学 部	学 科	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部	応 用 数 学 学 科	21	19	7	2.7
	化 学 学 科	16	16	14	1.1
	応用物理学科(物理科学専攻)	4	4	4	1.0
	応用物理学科(臨床工学専攻)	3	3	3	1.0
	基 礎 理 学 学 科	21	20	10	2.0
	生 物 化 学 学 科	12	12	11	1.1
	臨 床 生 命 科 学 学 科	19	16	15	1.1
動 物 学 学 科	16	15	9	1.7	
	小 計	112	105	73	1.4
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 学 科	19	18	17	1.1
	機 械 シ ス テ ム 工 学 学 科	9	9	7	1.3
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	7	7	6	1.2
	情 報 工 学 学 科	21	19	15	1.3
	知 能 機 械 工 学 学 科	5	5	4	1.3
	生 命 医 療 工 学 学 科	9	8	6	1.3
	建 築 学 学 科	19	18	13	1.4
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	0*	0	0	—
	小 計	89	84	68	1.2
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 学 科	14	14	14	1.0
	社 会 情 報 学 学 科	15	15	14	1.1
	小 計	29	29	28	1.0
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 学 科	47	47	10	4.7
	小 計	47	47	10	4.7
教 育 学 部	初 等 教 育 学 学 科	3	3	3	1.0
	中 等 教 育 学 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	1	1	1	1.0
	中 等 教 育 学 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	3	3	3	1.0
	小 計	7	7	7	1.0
	合 計	284	272	186	1.5

◆募集人員は推薦入試A方式(11月14日・15日)と推薦入試K方式(入試特待生制度)の合計数のため、掲載していません。

◆合格者数には転科合格を含みません。

7. 一般入試前期SA方式[3科目型]・SAB方式[高得点2科目型]

学部	学 科	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部	応 用 数 学 科	37	296	290	116	2.5
	化 学 科	24	129	126	110	1.1
	応用物理学科(物理科学専攻)	14	77	77	71	1.1
	応用物理学科(臨床工学専攻)	10	28	28	26	1.1
	基 礎 理 学 科	27	140	136	71	1.9
	生 物 化 学 科	30	156	154	120	1.3
	臨 床 生 命 科 学 科	30	173	171	142	1.2
	動 物 学 科	15	143	142	56	2.5
	小 計	187	1,142	1,124	712	1.6
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 科	27	159	155	100	1.6
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	31	186	183	130	1.4
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	24	90	87	75	1.2
	情 報 工 学 科	31	187	181	85	2.1
	知 能 機 械 工 学 科	19	46	45	33	1.4
	生 命 医 療 工 学 科	21	51	50	43	1.2
	建 築 学 科	24	161	160	68	2.4
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	6*	8	8	8	1.0
	小 計	177	888	869	542	1.6
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 科	26	82	82	65	1.3
	社 会 情 報 学 科	26	51	50	45	1.1
	小 計	52	133	132	110	1.2
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 科	45	454	449	139	3.2
	小 計	45	454	449	139	3.2
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	24	156	155	106	1.5
	中 等 教 育 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	10	31	31	31	1.0
	中 等 教 育 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	10	31	31	30	1.0
	小 計	44	218	217	167	1.3
	合 計	505	2,835	2,791	1,670	1.7

■人数は一般入試前期SA方式(1月30日・31日)およびSAB方式(2月1日)の合計数です。

9. 一般入試前期SB方式[高得点2科目型]・B1方式[1科目型]

学部	学 科	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部	応 用 数 学 科	8	109	94	22	4.3
	化 学 科	4	36	32	20	1.6
	応用物理学科(物理科学専攻)	2	20	19	8	2.4
	応用物理学科(臨床工学専攻)	2	7	7	7	1.0
	基 礎 理 学 科	5	45	38	9	4.2
	生 物 化 学 科	5	44	36	21	1.7
	臨 床 生 命 科 学 科	5	43	37	5	7.4
	動 物 学 科	2	34	31	2	15.5
	小 計	33	338	294	94	3.1
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 科	4	62	50	13	3.8
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	5	58	50	27	1.9
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	4	22	20	4	5.0
	情 報 工 学 科	5	62	53	29	1.8
	知 能 機 械 工 学 科	2	13	13	12	1.1
	生 命 医 療 工 学 科	4	22	20	15	1.3
	建 築 学 科	3	39	36	4	9.0
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	2*	0	0	0	—
	小 計	27	278	242	104	2.3
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 科	6	20	16	10	1.6
	社 会 情 報 学 科	5	6	6	5	1.2
	小 計	11	26	22	15	1.5
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 科	10	135	118	20	5.9
	小 計	10	135	118	20	5.9
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	4	37	27	23	1.2
	中 等 教 育 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	2	18	15	15	1.0
	中 等 教 育 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	2	7	7	7	1.0
	小 計	8	62	49	45	1.1
	合 計	89	839	725	278	2.6

■人数はSA方式およびB1方式の合計数です。

11. 一般入試後期[2科目型]

学部	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
理 学 部		94	74	16	4.6
工 学 部		96	63	18	3.5
総 合 情 報 学 部	全学部 合わせて 36名程度	22	15	4	3.8
生 物 地 球 学 部		27	22	3	7.3
教 育 学 部		17	12	4	3.0
合 計		256	186	45	4.1

13. 入試特待生合格者数・合格率

□推薦入試K方式(入試特待生制度) 入試特待生合格者数

種類	特典	人数	合格者数
特待生Ⅲ	入学後1年間の全学費を免除(入学金は除く)	最大10	11

■各大学の成績上位者から志願者数の10%以内で、最大10名を特待生Ⅲ合格としています。

□一般入試前期SA方式・SAB方式 入試特待生合格者数・合格率

種類	特典	人数	合格者数	合格点		
				SA方式1科目	SA方式2科目	SAB方式
特待生Ⅰ	入学後4年間の全学費を免除(入学金は除く)	30	36	266	254	179
特待生Ⅱ	入学後2年間の全学費を免除(入学金は除く)	80	100	236	233	169
特待生Ⅲ	入学後1年間の全学費を免除(入学金は除く)	60	79	230	228	161

■全合格者から入試成績上位30名を特待生Ⅰ合格、80名を特待生Ⅱ合格、60名を特待生Ⅲ合格としています。なお、特待生の判定は日程ごとに受験者数に応じておこなっています。

□一般入試前期SB方式 入試特待生合格者数

種類	特典	選出方法		合格者数
		教育学部を除く全学部 各学科最高得点者の 内、上位10名	教育学部 第1志望合格者の 内、上位1名	
特待生Ⅱ	入学後2年間の全学費を免除(入学金は除く)			11
特待生Ⅲ	入学後1年間の全学費を免除(入学金は除く)	上記以外の各学科最高得点 者との成績上位10名合格者	上記志望者は別学科で第 1志望合格者の最高得点者	11

■特待生Ⅱ、Ⅲの対象者は、合格者全体の成績上位30位以内であることとなります。また、1つの学科から選出する特待生Ⅱ、Ⅲの合計数は3名以内とします。したがって、特待生Ⅱは30位以内の学科の最高得点者を成績順に最高10名まで選出します。また、特待生Ⅲは、30位以内で、特待生Ⅱに選出されなかった学科の最高得点者とそれ以外の成績上位者から、1学科の特待生数が3名以内となるよう合計10名選出します。

8. センター試験利用入試CⅠ[4科目型]

学部	学 科	募集人数	志願者数	合格者数	競争率
理 学 部	応 用 数 学 科	4	99	27	3.7
	化 学 科	4	44	14	3.1
	応用物理学科(物理科学専攻)	2	32	19	1.7
	応用物理学科(臨床工学専攻)	2	18	10	1.8
	基 礎 理 学 科	4	57	18	3.2
	生 物 化 学 科	4	77	25	3.1
	臨 床 生 命 科 学 科	4	65	24	2.7
	動 物 学 科	2	62	13	4.8
	小 計	26	454	150	3.0
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 科	4	75	30	2.5
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	4	73	23	3.2
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	3	51	28	1.8
	情 報 工 学 科	4	70	30	2.3
	知 能 機 械 工 学 科	3	22	9	2.4
	生 命 医 療 工 学 科	3	28	17	1.6
	建 築 学 科	3	53	14	3.8
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	1*	5	2	2.5
	小 計	24	377	153	2.5
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 科	4	32	12	2.7
	社 会 情 報 学 科	4	19	14	1.4
	小 計	8	51	26	2.0
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 科	6	163	37	4.4
	小 計	6	163	37	4.4
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	4	69	46	1.5
	中 等 教 育 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	2	17	10	1.7
	中 等 教 育 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	2	9	7	1.3
	小 計	8	95	63	1.5
	合 計	72	1,140	429	2.7

10. センター試験利用入試CⅡ[3科目型]

学部	学 科	募集人数	志願者数	合格者数	競争率
理 学 部	応 用 数 学 科	4	28	9	3.1
	化 学 科	4	16	12	1.3
	応用物理学科(物理科学専攻)	2	20	12	1.7
	応用物理学科(臨床工学専攻)	2	11	9	1.2
	基 礎 理 学 科	4	25	9	2.8
	生 物 化 学 科	4	33	14	2.4
	臨 床 生 命 科 学 科	4	29	4	7.3
	動 物 学 科	2	20	2	10.0
	小 計	26	182	71	2.6
工 学 部	バ イ オ ・ 応 用 化 学 科	4	34	6	5.7
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	4	30	8	3.8
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科	3	32	6	5.3
	情 報 工 学 科	4	21	13	1.6
	知 能 機 械 工 学 科	3	15	11	1.4
	生 命 医 療 工 学 科	3	16	13	1.2
	建 築 学 科	3	19	3	6.3
	工 学 プ ロ ジ ェ ク ト コ ー ス	1*	6	3	2.0
	小 計	24	173	63	2.7
総 合 情 報 学 部	情 報 科 学 科	4	12	4	3.0
	社 会 情 報 学 科	4	11	10	1.1
	小 計	8	23	14	1.6
生 物 地 球 学 部	生 物 地 球 学 科	6	54	12	4.5
	小 計	6	54	12	4.5
教 育 学 部	初 等 教 育 学 科	4	23	18	1.3
	中 等 教 育 学 科 < 国 語 教 育 コ ー ス >	2	22	20	1.1
	中 等 教 育 学 科 < 英 語 教 育 コ ー ス >	2	7	7	1.0
	小 計	8	52	45	1.2
	合 計	72	484	205	2.4

12. センター試験利用入試CⅢ[2科目型]

学部	募集人数	志願者数	合格者数	競争率
理 学 部		92	17	5.4
工 学 部		120	33	3.6
総 合 情 報 学 部	全学部 合わせて 34名程度	25	12	2.1
生 物 地 球 学 部		21	3	7.0
教 育 学 部		29	13	2.2
合 計		287	78	3.7

□センター利用入試CⅠ特待生合格者数

学 科	人 数
初等教育学科	15
中等教育学科<国語教育コース>	6
中等教育学科<英語教育コース>	3
合 計	24

□センター利用入試CⅡ特待生合格者数

学 科	人 数
初等教育学科	1
中等教育学科<国語教育コース>	4
中等教育学科<英語教育コース>	0
合 計	5

受付
番号

岡山理科大学 推薦書
特別推薦入学試験
専門学科・総合学科特別推薦入学試験
(試験日11月3日)

2016年 月 日

岡山理科大学学長殿

高等学校名

学校長名

印

下記の生徒を、貴学の特別推薦入学試験志願者として推薦します。

記

フリガナ		志望学科 (専攻・コース)【注1】	
氏名			
推薦する 区分	該当する選抜区分を○で囲んでください。		
	特別推薦入試 (公募制)	・普通科選抜 ・特定教科・科目選抜	
	専門学科・総合学科 特別推薦入試(公募制)	・Ⅱ期	
	特別推薦入試 (関連校・教育提携校)	・関連校選抜 ・教育提携校	
推薦理由			
記載責任者			

この用紙は試験日が11月3日の出願者用です。本推薦書は調査書と同封可能です。

【注1】 応用物理学科は専攻名までご記入ください。

工学プロジェクトコースは工学プロジェクトコースとご記入ください。

中等教育学科はコース名までご記入ください。

受付 番号	
----------	--

岡山理科大学 推薦書
推薦入学試験A方式(併願制)
(試験日11月19日・20日)

2016年 月 日

岡山理科大学学長殿

高等学校名

学校長名

印

下記の生徒を、貴学の推薦入学試験A方式の志願者として推薦します。

記

フリガナ
氏 名

作成上の注意

- 1) この用紙は、試験日が11月19日・20日の出願者用です。
- 2) 調査書と同封可能です。
- 3) 複数日受験する場合は、推薦書・調査書とも1通で構いません。

受付 番号	
----------	--

推薦入学試験K方式(入試特待生制度)推薦書

(試験日：12月11日)

2016年 月 日

入学試験実施大学 学 長 殿

高等学校名

学校長名

印

下記の生徒を、貴学の推薦入学試験K方式(入試特待生制度)の志願者として推薦します。

記

フリガナ
氏 名

作成上の注意

- 1) この用紙は、試験日が12月11日の出願者用です。
- 2) 調査書と同封可能です。

受付
番号

推薦入学試験K方式(入試特待生制度)
第2志望学科合否判定申請書
(試験日：12月11日)

第1志望学科以外に、以下の大学・学部・学科の合否判定を申請します。

受験者本人署名欄

第2志望学科

大学名：

学部名：

学科・専攻：
コース名：

次の中から選んでください

倉敷芸術科学大学

【芸術学部】

デザイン芸術学科
メディア映像学科

【危機管理学部】

危機管理学科(設置届出中)

千葉科学大学

【薬学部】

薬学科
生命薬科学科

【危機管理学部】

危機管理システム学科
環境危機管理学科
医療危機管理学科
航空技術危機管理学科
(旧名称：工学技術危機管理学科)
パイロットコースを除く注2
動物危機管理学科

この申請書は、第1志望大学以外の他大学の学科を志望する場合のみ、第1志望大学の出願書類とともに送ってください。なお、第2志望学科の合否判定には、第1志望学科で受験した試験科目が適用されますので、科目の選択には注意してください(判定対象外の科目を受験していた場合は、第2志望学科は不合格となります)。

注1 倉敷芸術科学大学の健康科学科を志望される場合は、健康科学専攻か鍼灸専攻のいずれかを記入してください。

注2 千葉科学大学の航空技術危機管理学科 パイロットコースを志望される場合は、千葉科学大学のホームページ「パイロットコース入試要項」を御覧ください。

※記入はすべて黒インクまたは、黒ボールペンを使用してください(消えるボールペンは使用できません)。

大学記入欄

第1志望

番号	
----	--

岡山理科大学
経 歴 書

フリガナ		男・女	生年月日	(西暦) 年 月 日生				
氏名								
現住所	〒			電話				
保護者 またはこれに 代わる者	氏名			続柄				
	住所	〒			電話			
学 校 歴 (小学校入学 から最終の 学校まで記 入すること。)	学校所在地	フ	リ	校	ガ	ナ	(西暦) 年 月 (該当語句を ○で囲むこと)	年 齢
							入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
							入学・編入学 卒業・転学等	
職 歴 (社会人入試 対象)	会社所在地	フ	会	リ	社	ガ	ナ	(西暦) 年 月
								から まで
								から まで
								から まで
							から まで	
資格・免許等								

注) (1) 学校歴または職歴の欄が不足する場合には、裏面に記入してください。
 (2) 提出書類に虚偽があった場合は、合格後でも合格を取り消します。
 (3) 所在地は市町村名を記入してください。

学 校 歴	学校所在地	フ学 リ 校 ガ ナ 名	(西暦) 年 月 (該当語句を ○で囲むこと)	年 齢
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
			入学・編入学 卒業・転学等	
職 歴	会社所在地	フ会 リ 社 ガ ナ 名	(西暦) 年 月	
				から まで
				から まで
				から まで
				から まで

受付
番号

岡山理科大学 入学資格審査申請書

年 月 日

岡山理科大学学長殿

フリガナ
氏 名

⑩

生年月日

年

月

日生

現住所

私は、2017年度岡山理科大学一般入学試験を受験したいので、必要書類を

添えて入学資格の審査を申請します。

63ページの出願資格⑫に該当する一般入試の受験生は、事前に本学において入学資格の審査を行います。各入試の願書受付開始日1ヶ月前までに、以下の提出書類を入試広報部に提出してください。

(主な対象者)

2017年3月31日までに18歳に達し、各種学校などでの学習歴および社会での実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者。

(提出書類)

- ①入学資格審査申請書（本用紙）
- ②経歴書（巻末に綴込みのもの）
- ③各種学校などでの学習歴および社会での実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類
- ④最終学歴の卒業証書の写し又は卒業見込証明書

なお、提出された書類は返却いたしません。

(入学資格審査の方法とその基準)

入学資格審査は、申請書類により、申請者の学習歴および社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

申請書類は必ず書留郵便として、封筒表面に「大学入学資格審査申請」と朱書してください。

審査結果は文書で通知します。

照会・申請先：岡山理科大学 入試広報部

TEL 086-256-8415 〒700-0005 岡山市北区理大町1-1

岡山会場案内図

A1号館2階 入試広報部
願書受付窓口

A1号館

第25号館
特別推薦入試
入学試験会場

第10号館
推薦、一般入試
入学試験会場

附属高校・中学校

正門

スカイテラス
受験生、保護者控室

エスカレーター

岡山理科大学バス停
バス停より誘導に従い
入場してください。

駐輪場

岡山大学

交通機関の案内

- ◎JR:津山線 法界院駅下車徒歩約20分
- ◎バス:岡電バス JR岡山駅運動公園口(西口)より岡山理科大学線(約20分)岡山理科大学下車

バス時刻表			
月曜から金曜		土曜・日曜・祝日	
岡山駅運動公園口(西口)発	岡山理科大学着	岡山駅運動公園口(西口)発	岡山理科大学着
7:20	7:40	7:20	7:40
7:35	7:57	7:40	8:00
7:55	8:17	8:00	8:20
8:08	8:30	8:20	8:40
8:25	8:45	8:40	9:00
8:45	9:05	9:00	9:20
9:02	9:22	9:20	9:40
9:18	9:38	9:45	10:05

(平成28年4月現在)

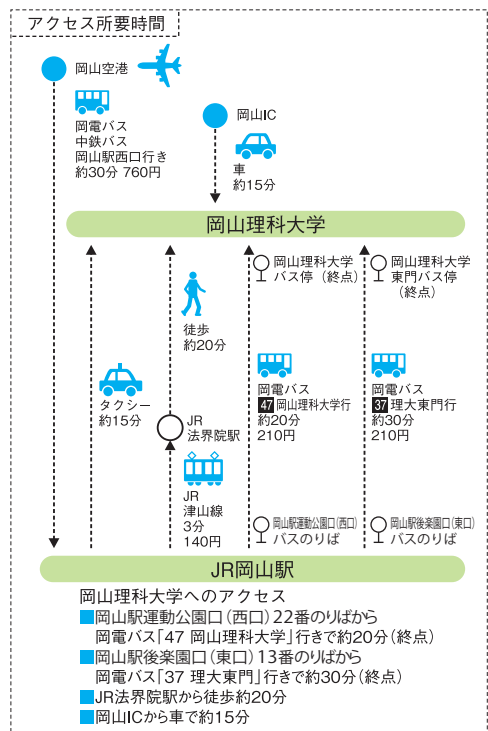
- 上記以外の時間もほぼ20~30分ごとに運行されます。
- 問合せ先:岡電バス津高営業所 086-253-7678

※試験会場は変更する場合があります。当日の指示に従ってください。

本学会場は各入試日とも**午前8:40**に試験室を開場する予定です。

(バスアクセス)

大学へのアクセス



お問い合わせ先

岡山理科大学 入試広報部

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1

(受験生ホットライン) 0800-888-1124(フリーコール 平日9:00~17:00)

(TEL) 086-256-8415

(携帯) <http://www.ous.ac.jp/jei/>

(URL) <http://www.ous.ac.jp>

(Mail) nyushi@office.ous.ac.jp



岡山理科大学は、大学基準協会による総合評価および認証評価の結果、同協会の定める大学基準に適合していると認定されました。